取扱説明書

S42HW

はじめに

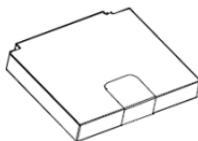
この度は、携帯電話S42HW（以下、本機）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。不明な点がございましたら、お問い合わせ先（P.13-20）までご連絡ください。

ご利用いただくにあたって

- 本機はイー・モバイルの提供するサービスエリア、および国際ローミングのサービスエリアにおいてご使用になれます。
  This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the international roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ビルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。
- 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなります。あらかじめご了承ください。
- 本機は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。留意してご利用ください。
- 本機は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- EM chipを取り付けていない状態では使用できません。
- 本書および本書に記載された製品の使用によって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは登録している情報が消失するおそれがありますが、当社は一切の責任を負いません。
- 本機に登録した情報は必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

お買い上げ品の確認

S42HW

ACアダプタ（PCS42HWZ10）

電池パック（PBS42HWZ10）

- S42HW取扱説明書
- S42HWかんたんガイド
- 保証書（本体、ACアダプタ）
- microSDカード（試供品）
- USBケーブル（PGS42HWZ10）

お知らせ

- その他のオプション品につきましては、お問い合わせ先（ P.13-20）までご連絡ください。
- 本機は、microSDカード／microSDHCカード（以降、「microSDカード」と表記）を利用できます。お買い上げ時、microSDカード（試供品）は、S42HW本体に装着されています。

携帯電話・PHS端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さまの情報（連絡先、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

目　次

1 ご使用前の確認

2 電話

3 連絡先の管理

4 オンラインアカウントの管理

5 SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

6 メール

7 接続

8 Googleマップ

9 カメラとマルチメディア

10 その他のアプリケーション

11 本機の設定と管理

12 オプションサービス

13 付録

本書の検索方法／見かた

検索方法

本書では、次の方法で知りたい機能やサービスなどの説明が記載されている箇所を検索できます。

■ 索引を利用する

画面に表示される機能や利用するサービス名から、説明が記載されている箇所を検索できます。

■ 目次から

説明項目のタイトルから、説明が記載されている箇所を検索できます。

本書の説明の見かた

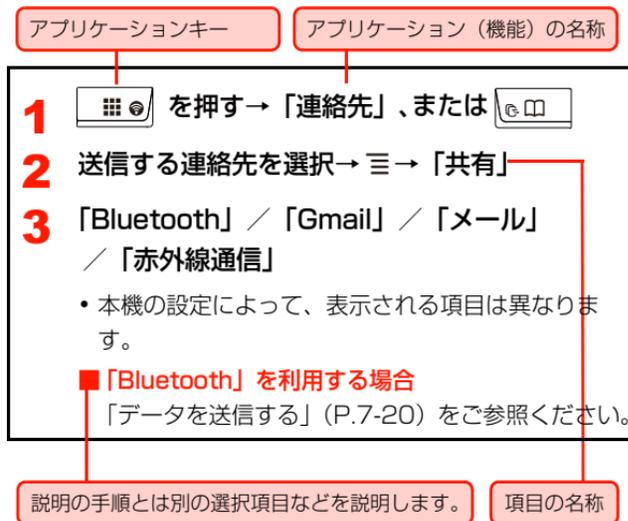
本書では、P.9のように機能やサービスについて説明しています。

操作手順やメニューの説明は、次のようなルールで記載しています。

■ 項目／アイコンなどを選択する操作手順の説明

本書では、□で画面上のメニュー項目／アイコンなどにカーソルを移動して□を押す操作、または画面上のアイコンなどを直接タップする操作を、次のように表記しています。

- 「(項目などの名称)」
- 「(項目などの名称)」を選択
- 「(項目などの名称)」をタップ

例として、ホーム画面のアプリケーションアイコン（P.1-21）からアプリケーション（機能）を呼び出す場合は、次のように記載します。

■ メニューの説明

機能の設定や操作中に ≡ などを押して呼び出す画面の項目のことを「メニュー」と呼びます。また、画面や項目上をロングタッチすると、その画面や項目で操作できるメニューが表示されることがあります。
本書ではメニューを表示する説明を主に ≡ を押す操作で次のように記載します。

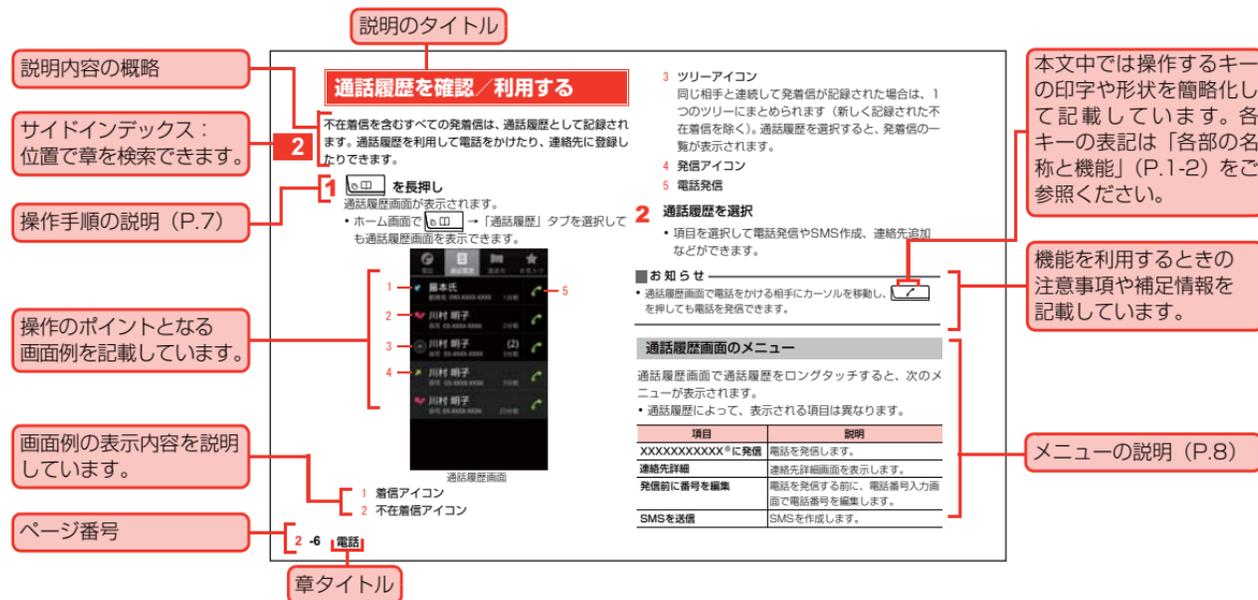
連絡先一覧画面のメニュー

連絡先一覧画面で ≡ を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
検索	連絡先を検索します（P.3-5）。

■ 長押し／ロングタッチの説明

などのキーや ⌂ などを、約１秒以上押すことを「長押し」と呼びます。
また、画面上のアイコンや項目を、約１秒以上押すことを「ロングタッチ」と呼びます。

■ ページ内の記載内容

• 本項目の説明記載、およびページはサンプルです。本書の実際の記載とは、内容が異なります。

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、必要なときにご覧になれるよう大切に保管してください。
- 以下の注意事項は、ご使用になる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容が記載されていますので、よくお読みの上、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通話や通信が困難となり、お客さま、または第三者の方が受けられた損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 絵表示の説明

絵表示とその意味は次のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

⚠危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の意味

禁止	してはいけないことを表しています。
指示	しなければならないことを表しています。
⚠	気をつける必要があることを表しています。

S42HWの取り扱いについて

⚠警告

必ず専用の機器をご使用ください。
指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。

車両の運転中に本機を使用しないでください。
交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。

歩行中の使用は、注意力が散漫になりやすいので、周囲には十分ご注意ください。

航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電源を切り、本機の使用を控えてください。
電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。

医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では電源を切り、本機を使用しないでください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電源を切り、本機を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの措置を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

  ※ 影響を受けるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

本機について、次のことをお守りください。
発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

- 分解、改造をしないでください。なお本機の改造は電波法違反になります。
- 直射日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。本機が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
- ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。
- 濡れた手で触らないでください。
- 浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。
- コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。
- 水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。
- 強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- 本機に無理な力を加えないでください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.13-20）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

万が一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプタをコンセントから抜き、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.13-20）にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってください。
落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。
安全走行を損なうおそれがあります。

長時間の連続使用などで本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

故障の原因となりますので、ほこりや湿気の少ない場所に保管してください。

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

クレジットカードなどを本機に近づけないでください。クレジットカードなどの磁気カードデータが消えるおそれがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を止め、医師の診断を受けてください。お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

本機は以下に記載の材料の使用や表面処理を施されております。

使用箇所	材料、表面処理
外装ケース／リアカバー	PC+20%GF、PC1414、塗装
microUSB端子／充電端子	銅合金、金メッキ
ディスプレイ表面	保護シート+ガラス
スクロールキー（周囲)／通話キー／終話キー／テンキー／メニューキー	P+R
サイドキー／カメラキー／電源キー／microSDカードスロットカバースクリュー	PC+TPU
スクリューカバー	PC1414、塗装
赤外線ポート	PC(SABIC LEXAN 121)
カメラレンズ	PMMA、裏面印刷
電池パック端子	リン青銅、金メッキ
EM chipスロット	銅合金、金メッキ
microSDカードスロット	銅合金、金メッキ
ネジ	AISI 1018、亜鉛鍍金（白亜鉛メッキ）

電池パックの取り扱いについて

電池パック（リチウムイオン電池パック）について、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂や感電の原因になります。

⚠危険

直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所に放置しないでください。

針を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。

分解、改造、ハンダ付けをしないでください。

水や火の中に投入したり、加熱したりしないでください。

端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発のおそれがある場所では電源を切ってください。

電池パックから漏れた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。失明するおそれがあります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

⚠警告

この電池パック（PBS42HWZ10）を使用できるのはS42HWのみです。本機以外で使用しないでください。

装着するとき、電池パックの向きが決められています。本機にうまく装着できないときは、無理をしないでください。電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

充電には、付属のACアダプタ（PCS42HWZ10）およびUSBケーブル（PGS42HWZ10）以外のものを使用しないでください。また、電池パックは指定機器以外の機器には使用しないでください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

濡れた手で触らないでください。

コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。

水や海水につけたり、雨滴などで濡らしたりしないでください。万が一、濡れた場合には、直ちに使用をやめてください。

電池パックから液が漏れたり、異臭がしたりするときには、直ちに使用をやめて火気より遠ざけてください。

液漏れ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。

充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.13-20）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

⚠注意

充電は必ず周囲温度0～45℃の範囲で行ってください。充電方法については、本書をよくお読みください。

電池パック内部の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

電池パックを本機に装着する際に、サビ、異臭、発熱その他異常と思われたときは、電池パックを本機に装着しないでお問い合わせ先（P.13-20）にご連絡ください。

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児が本機から電池パックを取り出さないように注意してください。誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

ACアダプタの取り扱いについて

⚠危険

お客さまによる改造や分解・修理はしないでください。

⚠警告

このACアダプタ（PCS42HWZ10）を使用できるのはS42HWのみです。本機以外で使用しないで用ください。

付属のACアダプタはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本機から外しておいてください。

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常な状態の場合は、すぐにACアダプタをコンセントから抜き、パソコンとUSBケーブルで接続中の場合はパソコンから取り外し、本機の電源を切り、電池パックを外し、お問い合わせ先（P.13-20）にご連絡ください。そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因になります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

ACアダプタ：100-240V

濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

ACアダプタを水やその他の液体につけたり、濡らしたりしないでください。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

ACアダプタに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

ACアダプタのコネクタを針金などの導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）でショートさせないでください。
感電、故障、発火の原因となります。

落雷のおそれがあるときは、落雷による感電、火災の防止のため、本機の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

長期間使用されないときには、安全のため、ACアダプタをコンセントおよび本機から外しておいてください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

⚠注意

ACアダプタを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

周囲温度0～40℃、湿度5～90%の範囲でご使用ください。

直射日光の当たる場所で使用および放置しないでください。

ほこりの多い場所に置かないでください。

落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。

重いものを載せないでください。

電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。

布などでくるまないでください。

USBケーブルの取り扱いについて

⚠危険

分解、改造をしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障、発熱、発火の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

⚠警告

コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

USBケーブルは、対応機種以外にはご使用にならないでください。
指定の機器以外のものを接続した場合、破損の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
故障や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
故障や火災の原因となります。

端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

雷が鳴り出したら、USBケーブルには触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

⚠注意

コードの根元部分を無理に曲げないでください。

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込むなど、事故やけがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用や保管はしないでください。
故障の原因となります。

USBケーブルを取り外す場合は、コードを引っ張らずにコネクタを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

USBケーブルのコードの上に重いものを載せたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

EM chip（USIMカード）の取り扱いについて

⚠警告

EM chipを本機へ取り付けや取り外す際、手や指を傷つける可能性があります。また、取り付け、取り外しの際に過剰な力を加えますと故障の原因になりますので、ご注意ください。

⚠注意

EM chipのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触はお避けください。

分解や改造はしないでください。データの消失や故障の原因となります。故障した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

火のそばやストーブのそばなど高温の場所での使用および放置はしないでください。
溶解、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

EM chipは当社が指定した機器にてご使用ください。指定機器以外で使用した場合、データの消失や故障の原因となることがあります。なお、当該要因による不具合が発生した場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機を使用中、EM chip自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

落としたり、濡らしたり、曲げたり、衝撃を与えたり、重いものを載せたりすることは、変形、破損、故障の原因となります。

高温・低温・多湿・ほこりの多いところでの保管は避けてください。
故障の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧となる容器にEM chipを入れないでください。
溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因になります。

小児が使用する際には、保護者が本書の内容を教え、また、使用の途中においても、本書どおりに使用しているかどうか注意してください。感電やけがの原因となります。

小児や乳幼児が誤ってEM chipを飲み込むなどの事故やけがを防止するため、EM chipは小児や乳幼児の手が届かないところに保管してください。

その他、本来の用途以外の方法での使用はデータ消失や故障の原因となりますので、ご注意ください。

ご利用上のお願いとご注意

共通

- 本機は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
- 次のような極端な温度環境での使用は避けてください。
  - 直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。
  - 冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
- エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしないでください。落としたり、重い物の下敷きにしたり、変な持ち方をして曲げるなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。

● 汚れたり、水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
● 湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
● 無理な力がかかるような場所に置かないでください。
● 荷物のつまったカバンに入れるときは、重いものの下にならないようご注意ください。
● 一般の電話機やテレビ·ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

S42HW

● 使用中に本機が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。そのままお使いください。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
● お客さまご自身で本機に登録された情報内容などは、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
● ズボンやスカートの後ろポケットなどに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。またカバンの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
● 本機を直射日光の当たる所に放置しないでください。変色を起こす場合があります。
● 画面を強く押さえたり、爪や硬いもの、先のとがったもので操作したりしないでください。画面などを傷めることがあります。
● 本機の上に書類などを載せないでください。誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
● 突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落としたりするなど）によっては、破損の原因となります。
● 使用中に、強い磁石を近づけないでください。故障の原因となります。

電池パック

- 電池パックは消耗品です。使用状況などにより異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。長時間使用しないときは、使い切った状態で本機から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。
- 電池パックの角はとがっていますので、取り扱いには十分ご注意ください。

ACアダプタ

- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、コネクタ、端子、プラグを変形させないでください。

EM chip

- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お客さまご自身でEM chipに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうようなことがあっても、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- EM chipを本機に取り付けるときや取り外しのときに注意してください。必要以上の力をかけると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となります。
- EM chipは当社指定のものを使用してください。指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。
- IC部は傷つけたり、ショートさせたりしないでください。故障の原因となります。
- 本機を使用中、EM chip自体が温かくなることがありますが、手で触れることのできる温度であれば、異常ではありませんので、そのままご使用ください。

カメラ

- カメラに直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- 大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。
- お客さまが本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条令（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。
- 販売されている書籍類や撮影の許可されていない文字情報の記録には使用しないでください。

ストラップ

- ストラップ取り付け穴には、携帯電話用などに販売されている市販のストラップを取り付けることができます。ストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ストラップを取り付けた状態でストラップを持って振り回したり、ストラップを強く引っぱるなどストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

microUSB端子

- microUSB端子にゴミやほこり・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記録内容の消失の原因となります。

液晶表示

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯するものがあります。これらはカラー液晶ディスプレイの構造によるもので故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 画面や本機に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。

スマートフォンの自動通信について

- スマートフォンは最新のソフトウェアやアプリケーションを確認するための通信、データの同期をするための通信など、一部自動的に通信を行う仕様となっています。
- データを自動で同期することで常に最新のデータを確認したり、より便利にご利用いただくことができますが、自動で通信が行われた場合もデータ通信料が発生します。

注意事項

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

本書では内容の正確さを期するためにあらゆる努力をしておりますが、本書に記載されているすべての記述、情報、および推奨事項は、明示、黙示を問わず、内容を一切保証するものではありません。

無線機器を正しく安全にご使用いただくために、「安全上のご注意」および「ご利用上のお願いとご注意」「Bluetoothおよび無線LAN使用に関するご注意」をよくお読みください。

Bluetooth および無線LAN使用に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電化製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、混信回避のための処置（例えば、パーティションの設置など）を行うか、使用場所を変更してください。

周波数帯域について

本機のBluetoothおよび無線LAN搭載機器が使用している周波数帯は、本機に以下の表記で記載されています。

2.4FH1/DS4/OF4
■■■ ■■■ ■■■

2.4：周波数2400MHz帯を使用する無線装置であることを示します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■ ■■■ ■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できることを示しています。

- 利用可能なチャンネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- 無線LANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限される場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件をご確認のうえ、ご利用ください。

良好な通信のために

- 他のBluetooth機器とは見通しの良い場所で通信してください。障害物や建物の構造によっては通信距離が短くなる場合があります。
- 電子レンジからの影響を受けやすいので、少なくとも3m以上離れた場所でご使用ください。また、AV機器・OA機器などの電気製品からは2m以上離して通信をしてください。正常に通信できなかったり、テレビ、ラジオなどの受信障害（映像や音声にノイズが発生するなど）の原因になったりする場合があります。
- 他の無線機や、放送局の近くでは正常に通信ができない場合があります。このような場合には通信場所を変更してください。
- 他のBluetooth機器との間に金属物や、鉄筋、コンクリートなどがある場合には電波が届かずに通信できない場合があります。

無線LANに関するお願い

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

無線LANとBluetoothとの干渉について

802.11b/g/nの無線LAN機器と、本機などBluetooth機器は同一の2.4GHz帯を使用するため、近い場所に無線LANのアクセスポイントや端末があり、運用されている場合は、Bluetooth機器との間で電波障害が発生し、通信速度の低下や接続不良になる場合があります。このような場合は、本機を離れた場所でお使いいただくか、または使用していない機器の電源を切るなどにより電波障害による干渉を防ぐようにしてください。

セキュリティに関するご注意

- 本機のBluetooth通信機能には、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティシステムを採用していますが、設定内容によってはセキュリティが十分機能しない場合があります。Bluetoothによる通信を行うときは十分ご注意ください。
- Bluetoothを使用した通信からデータや情報が漏洩したとしても、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合以下のような問題が発生する可能性があります。
  - 通信内容を盗み見られる
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に進入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

免責事項について

- 洪水、地震などの自然災害および当社責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を失ったために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した静止画、動画データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがございますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 連絡先など、お客さまが登録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。登録された内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容はあらかじめメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

著作権等について

著作権について

動画、音楽、絵画、写真、プログラム、その他のデータベースなどは、著作権法により、その著作物及び著作権者の権利が保障されています。このような著作物は、個人的に、又は家庭内のみにおいて使用する目的の場合のみ複製することができます。このような目的以外で権利者の了解なくこれらを複製（データ形式の変換を含む）、複製の譲渡、改変、ネットワーク上での配信などを行う場合、著作権侵害や、著作者人格権侵害として刑事処罰や損害賠償の請求を受けることがあります。

肖像権について

肖像権は、他人が無断で写真を撮ったり、撮った写真を無断で公表したり、利用しない様に主張できる権利です。肖像権には誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。従って、勝手に他人やタレントの写真を撮影したり、公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、本機のカメラ機能の適切なご使用を心がけてください。

商標・その他

- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- EMnet の名称はイー・アクセス株式会社の登録商標または商標です。
- イー・アクセス及び EMOBILE の名称、ロゴはイー・アクセス株式会社の登録商標または商標です。
- Pocket WiFiの商標およびロゴは、イー・アクセス株式会社の商標または登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Androidマーケット」、「Android マーケット」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Latitude」、「Google Checkout」、「Google トーク」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Twitter」の名称とロゴはTwitter, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 「FSKAREN」は、富士ソフト株式会社の登録商標です。
- Wikipedia® はWikimedia Foundation, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe PDFは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft® Wordは米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、ActiveSync®、Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

● 本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 Starter、Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 Professional、Microsoft® Windows® 7 Ultimateの略称です。
Windows Vistaは、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Ultimate、Windows Vista® Businessの略称です。
Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating system または、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略称です。
● その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種S42HWの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific AbsorptionRate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機S42HWのSARは1.66W/kgです。
この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele. soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
イー・モバイルのホームページ
http://emobile.jp/

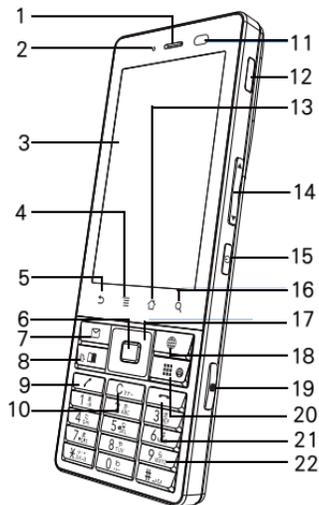
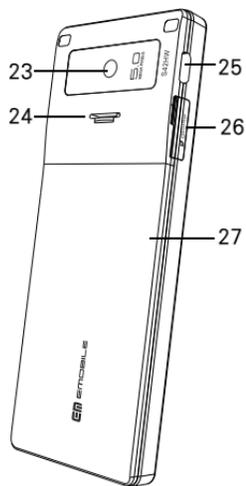
※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

輸出管理規制について

海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

1 ご使用前の確認

各部の名称と機能

■前面

■背面

■下側面

■お知らせ

- アンテナが本機の上部、右側に内蔵されています。より良い条件で通話、通信などをするためには、手などで覆わないようにしてください。

1 受話口
- 通話相手の声がここから聞こえます。

2 通知ランプ
- 本機の状態を通知します（P.1-25）。

3 ディスプレイ（タッチパネル）
- 指で直接触れて操作します。使いかたについては「ディスプレイの使いかた」（P.1-13）をご参照ください。

4 メニュー
- 各画面でメニューを表示するときに使用します。

5 戻る
- 前画面に戻るか、メニューまたは通知パネルを閉じます。
- キーボードを開いているときに押すと、キーボードを閉じます。

6 センターキー
- メニュー項目などの選択の決定に使用します。
- 画面ロックがかかったとき、センターキーまたは電源キーを押し、画面を点灯させます。センターキーを長押し（約1秒以上）すると、画面ロックを解除します。

7 EMnetメールキー
- 待受画面からメールメニューを呼び出すことができます。
- 待受画面で長押し（約1秒以上）すると、メール新規作成の画面が表示されます。

8 連絡先キー
- 待受画面から**連絡先**メニューを呼び出すことができます。
- 待受画面で長押し（約1秒以上）すると、通話履歴が表示されます。

9 通話キー
- 電話をかけるときや受けるときに使用します。
- 待受画面から電話番号を入力する画面を表示します。

10 クリアキー
- 文字、電話番号入力時にカーソルの前にある文字、数字を削除します。
- 文字、電話番号入力時に長押し（約1秒以上）すると、入力した文字、電話番号をすべて削除します。
- 待受画面で長押し（約1秒以上）すると、マナーモードを設定／解除します。

11 近接センサー
- 通話中に顔など近づいたことを感知します。

12 赤外線ポート
- 赤外線を使用して、連絡先などのデータを送受信します。

13 ホーム
- ホーム画面に戻ります。
- 長押しすると、最近使用したアプリケーションが表示されます（P.1-42）。

14 音量キー
- 着信音量や通話音量、音楽の再生音量などを調節します。

15 電源キー
- 画面ロックをかけます。
- 本機の電源が切れた状態で長押しすると、電源が入ります。
- 本機の電源が入った状態で長押しすると、マナーモードや機内モードを設定したり、電源を切ったりできます。

16 検索
- クイック検索ボックスを起動します。本機内やウェブページの情報を検索できます（P.1-40）。
- 長押しすると、音声検索ができます（P.1-41）。

17 スクロールキー
- メニューのスクロールやカーソルの移動に使用します。

18 ブラウザキー
- 待受画面から**ブラウザ機能**を呼び出すことができます。

19 カメラキー
- カメラの撮影時などに使用します。

20 アプリ一覧キー
- アプリ一覧が表示されます。
- 待受画面で長押し（約1秒以上）すると、Pocket WiFi 機能のON/OFFを設定できます。

21 終話キー
- 通話を終了します。
- 操作を終了して、ホーム画面に戻ります。

22 テンキー
- 電話番号や文字を入力するときなどに使用します。

23 カメラ
- カメラの撮影時などに使用します。

24 スピーカー
- 着信音や再生中の音楽などがここから流れます。

25 microUSB端子／充電端子
- 付属のUSBケーブルを接続します(P.1-12、P.1-13)。

26 microSDカードカバー
- microSDカードの取り付け／取り外しをします。

27 電池カバー

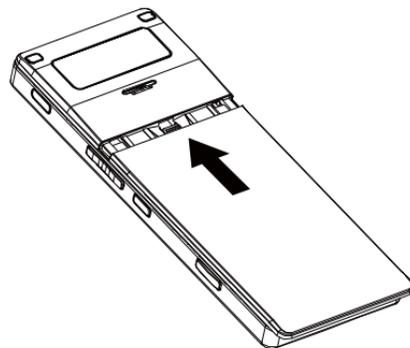
28 送話口
- 通話相手に自分の音声をここから送ります。

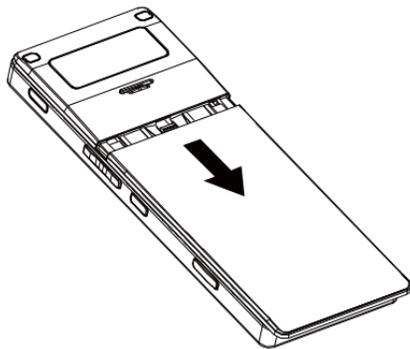
29 ストラップ取り付け穴
- ストラップを取り付けます。

電池カバーの取り付けかた／取り外しかた

- 電池カバーの取り付け／取り外しを行う前に、電源を切ってください（P.1-16）。
- 電池カバーに無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 取り付け／取り外しの際は、電池カバーの周囲部分にご注意ください。手や指などを傷つける可能性があります。

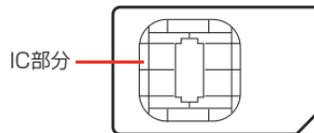
取り付けかた

1 **図のように矢印の方向にパチッと音がするまでスライドさせて取り付ける**

取り外しかた

1 電池カバーを矢印の方向にパチッと音がするまでスライドさせて取り外す

EM chipのお取り扱い

EM chipは、お客さまの電話番号や情報などが記録されたICカードです。EM chip対応のイー・モバイル携帯電話または機器に取り付けて使用します。
EM chipが取り付けられていないときは、日本国内における電話の発着信など3Gネットワークによる通信機能が利用できません。

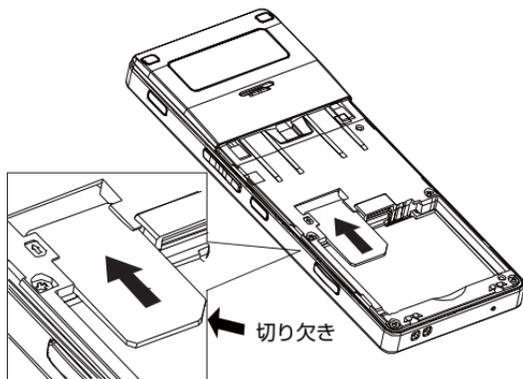
EM chipをご利用になる前に

- EM chipの詳しい取り扱いにつきましては、EM chipの台紙に記載されている注意事項、および取扱説明をご覧ください。
- 他社製品のICカードリーダーなどにEM chipを挿入して故障したときは、お客さまご自身の責任となり、当社では責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分は、いつもきれいな状態でご使用ください。
- IC部分を破損したり、ショートさせたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- EM chipにラベルやシールなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

- EM chipは、当社が指定するネットワーク以外では使用できません。
- EM chipの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、盗難時などEM chipの再発行は有償となります。また解約時は当社にご返却ください。
- EM chipの仕様、性能は予告無しに変更となる場合があります。
- お客さま自身でEM chipに登録された情報内容などは、メモなどに控えておいてください。万が一、登録された内容が消失した場合、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- EM chipやEM chip装着済み本機を紛失・盗難された場合には、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きについては、お問い合わせ先（P.13-20）までご連絡ください。

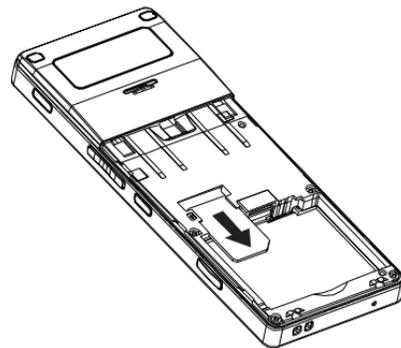
EM chipの取り付けかた／取り外しかた

EM chipの取り付け／取り外しを行う前に、電源を切り（P.1-16）、電池カバーの取り外し（P.1-5）、電池パックの取り外し（P.1-11）を行ってください。

取り付けかた

1 EM chipのIC部分を下にして、EM chipの切り欠きの部分を右側にして、EM chipの表面を押しながら、矢印の方向にEM chipが固定されるまでゆっくりと差し込む

取り外しかた

1 EM chipをスライドさせながら、矢印の方向にゆっくりと引き抜く

1

PIN

EM chipには、PIN／PIN2と呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、他人に知られないように十分ご注意ください。
また、PIN／PIN2の入力を続けて3回間違えた場合は、間違えた方の暗証番号がロックされ、使用できなくなります(PINロック状態)。ロックを解除するには、PINロック解除コード（PUK）の入力が必要になります。
※ 本機では、PIN2は利用できません。

PIN

PINとは、第三者による本機、またはEM chipの無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。お買い上げ時は、「9999」に設定されています。PINの変更については、「PINを変更する」（P.1-44）をご参照ください。
EM chipのPINを有効にすると、電源を入れたときなどにPINを入力しないと本機を使用できなくなります（P.1-44）。

PIN2

PIN2とは、EM chipに記録されている情報を変更する場合などに入力する4～8桁の暗証番号です。お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コード（PUK／PUK2）は、PINロック状態を解除するために入力する暗証番号です。変更はできません。PINロック状態の解除にはPUK、PIN2ロック状態の解除にはPUK2を入力します。
PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（P.13-20）までご連絡ください。

お知らせ

- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えた場合は、EM chipがロックされ、使用できなくなります（EM chipロック）。EM chipがロックされた場合は、ロックを解除する方法はありませんので、新たなEM chipと交換する必要があります。また、手続きにともない所定の手数料が請求される場合があります。手続きの詳細については、お問い合わせ先（P.13-20）までご連絡ください。
- 買い増しなどにより、別のイー・モバイル携帯電話やEM chip対応機器にご利用中のEM chipを取り付けてご使用になる場合は、ご利用中のEM chipに設定されているPIN／PIN2が有効となります。

microSDカード

本機ではmicroSDカード（microSDHCカードを含む）を利用できます。本機で撮影した静止画や動画、音楽やダウンロードしたファイルなどを、microSDカードに保存できます。

microSDカードをご利用になる前に

本機では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。

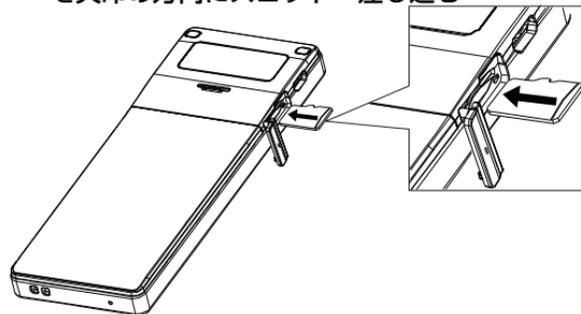
- microSDカードのメモリの空き容量がわずかになると、本機の動作が不安定になることがあります。不要なデータやアプリケーションを削除するか、microSDカードを取り替えてください。

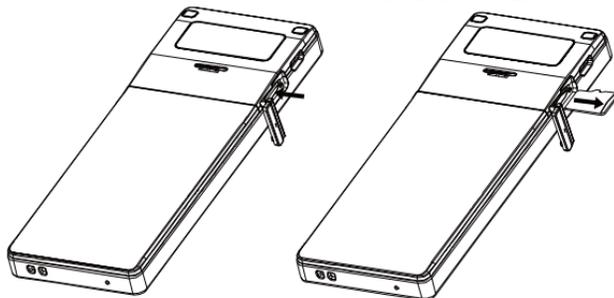
microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

microSDカードの取り付け／取り外しを行う前に、電源を切ってください。（P.1-16）

- 電源が入った状態でmicroSDカードの取り付け／取り外しを行うと、microSDカードが破損したり、データが破壊されるおそれがあります。

取り付けかた

1 接続端子がある面を下にして、microSDカードを矢印の方向にスロットへ差し込む

取り外しかた

1 microSDカードを軽く押し込み、でてきたmicroSDカードをスライドさせて取り出す

電池パックを取り付けて充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。はじめてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。

電池パックを充電する前に

電池パックを充電するときは、次の内容にご注意ください。

- 電池パック単体では充電できません。必ず本機に電池パックを取り付けた状態で充電してください。
- 充電には、本機付属のACアダプタおよびUSBケーブルを使用してください。
- 使用していない状態でも電池パックは放電します。長期間使用しなかった場合は、充電してから使用してください。
- 充電時間／使用時間の目安

充電時間※1	ACアダプタ充電：約130分 USB充電：約220分
連続待受時間※2	約400時間
連続通話時間※2	3Gモード：約320分

※1：充電完了までの時間は、周囲の温度や電池パックの使用期間などによって異なります。

※2：使用環境や電波状況などにより変動します。

- 電池パックの利用可能時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。正しい手順で電池パックを充電しても利用可能時間が短い場合は、同じ種類の新しい電池パックに交換してください。

電池残量の表示について

電池パックの電池残量は、ステータスバーのステータスアイコン（P.1-24）で確認できます。

- 電池残量が約5%未満になると、 電池残量がわずかな旨のメッセージが表示されます。
- 電池残量が約2%未満になると、通知音とともに「電池の容量が残り少なくなっています。バッテリー残量が不足でシステムをシャットダウンします。」と注意が表示され、自動的に本機の電源が切れます。本機を再起動する場合は、充電してから電源を入れてください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

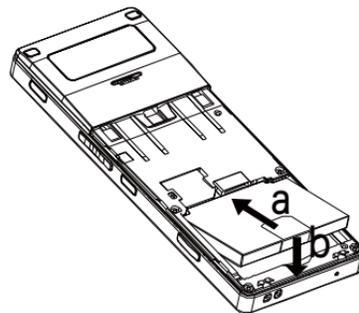
電池パックの取り付け／取り外しを行う前に、電源を切り（P.1-16）、電池カバーの取り外し（P.1-5）を行ってください。また、電池パックの取り付け／取り外しは手で持って行ってください。電源を切らずに電池パックを取り外した場合、本機が破損することがあります。

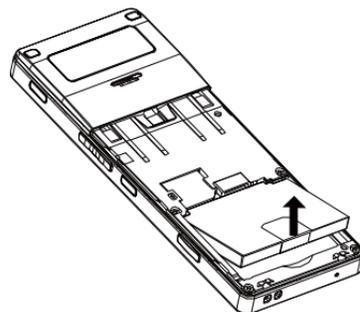
- 電池パックを無理に取り付けようとすると、本機の電池パック端子が壊れる場合がありますので、ご注意ください。

お知らせ

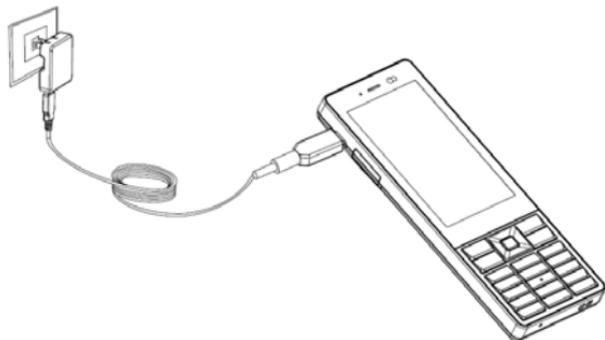
- 電池パックを持ち上げる際は、爪を傷つけないようにご注意ください。
- 電池パックを取り付ける場合は、引くタブが電池パックの上に出るようにします。

取り付けかた

1 電池パックと本機の端子が合うようにaの方向に押しながら、bの方向にパチッと音がするまで押し込む

取り外しかた

1 電池パックを取り外す場合は、引くタブを持ち上げる

ACアダプタで充電する

付属のACアダプタとUSBケーブルを使用して充電します。

- 充電を開始する前に、電池パックが本機に正しく取り付けられていることを確認してください。

1 本機のmicroUSB端子／充電端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

2 ACアダプタのUSBコネクタにUSBケーブルのUSBプラグを差し込む

3 ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む

充電が開始され、ステータスバーに が表示されます。
充電が完了すると、ステータスバーに が表示されます。

4 充電が完了したら、家庭用ACコンセントからACアダプタのプラグを抜き、USBケーブルを本機とACアダプタから抜く

■お知らせ

- ACアダプタは、家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。
- ACアダプタのプラグは日本国内仕様です。
- USB ケーブルを使用して本機とパソコンを接続しても、本機を充電できます（P.1-13）。ただし、一部の機種を除いて、パソコンの電源を切った状態では充電できません。

本機とパソコンなどの外部機器を接続する

USBケーブルを使用して、本機とパソコンなどの外部機器を接続します。

- 本機と接続可能なパソコンの動作環境は次のとおりです。

項目	説明
パソコン本体	USBポートを搭載したPC-AT互換機
OS	Windows 7（32ビットおよび64ビット）、Windows Vista（32ビットおよび64ビット）、Windows XP（SP3以降／32ビット）の各日本語版
メモリ容量※	64Mバイト以上（128Mバイト以上を推奨）
ハードディスクの空き容量※	64Mバイト以上

※：動作に必要なメモリ容量、ハードディスクの空き容量です。

1 **本機のmicroUSB端子にUSBケーブルのmicroUSBプラグを差し込む**

2 **パソコンなどの外部機器のUSBコネクタにUSBケーブルのUSBプラグを差し込む**

ディスプレイの使いかた

ディスプレイは、指で直接触れて操作します。触れかたによってさまざまな操作ができます。

ディスプレイをご利用になる前に

- ディスプレイは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先がとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はディスプレイ触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールを貼っての操作

1

タップ／ダブルタップ

項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。

スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

スワイプ

画面を指ですばやくはらうように操作します。

ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

ピンチ

Webページや静止画などの表示中に、画面を2本指で開くと表示を拡大、つまむと表示を縮小することができます。

ロングタッチ

アイコンやキーに触れた状態を保ちます。

画面ロックがかかったときは

本機を操作しない状態が一定時間続くと、画面ロックがかかります。ロックを解除するには、 または を押して画面を点灯させ、 を右方向にドラッグするまたは を長押し（約1秒以上）すると、画面ロックを解除できます。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

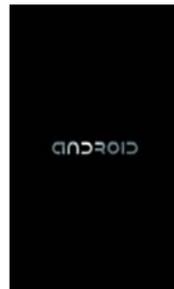
アプリケーションによっては本機の縦／横の向きを感知して、自動的にディスプレイの表示方向を切り替えます。

お知らせ

- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリケーションもあります。
- 表示方向が自動的に切り替わらないようにも設定できます（P.11-4）。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 を長押し

起動画面

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（P.1-16）。

■ 画面ロックがかかっている場合

を右方向にドラッグして、ロックを解除します。

お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
- 画面ロックの解除方法は、設定により異なります（P.1-43）。

1

電源を切る

1 ⏻を長押し

携帯電話オプション画面

2 「電源を切る」→「OK」

初期設定

はじめて電源を入れたときや、「データの初期化」(P.1-45)を行った後は、初期設定としてGoogleアカウントなどの設定を行います。電源を入れてしばらくすると、Androidのマークが表示されます。

- ここでは、EM chipが取り付けられた状態で、はじめて電源を入れたときの初期設定を説明します。
- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。

1 Androidのマークをタップ

- 「言語変更」を選択すると、画面に表示される言語を変更できます。お買い上げ時は、「日本語」に設定されています。

2 Googleアカウントの設定

- Googleアカウントをお持ちでない場合
  「作成」を選択してアカウントを作成できます。
- Googleアカウントをすでにお持ちの場合
  「ログイン」を選択して、お持ちのアカウントを入力し、「ログイン」を選択します。
- Googleアカウントを後で設定する場合
  「スキップ」を選択します。Googleアカウントの設定をスキップした場合は、Google位置情報サービスの利用を設定し、ホーム画面が表示されます。

3 Google位置情報サービスの利用を設定

- 位置情報サービスを設定し、「次へ」を選択します。

4 データのバックアップ※を行うかどうかを設定

- データのバックアップを設定し、「次へ」を選択します。

※：Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどを、クラウドにバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

5 「セットアップを完了」

「セットアップを完了」を選択し、初期設定が完了します。

ホーム画面について

ホーム画面は、アプリケーションを使用するためのスタートポイントです。ホーム画面をカスタマイズして、アプリケーションやショートカット、ウィジェット、フォルダのアイコンを表示させることができます。

ホーム画面

1 ステータスバー
通知アイコンやステータスアイコンを表示します（P.1-23）。

2 クイック検索ボックス

3 ショートカット
アプリケーションを起動したり、本機の設定項目を表示したりします。

4 フォルダ

5 ウィジェット（例：アナログ時計）
ウィジェットの起動や操作を行います。ウィジェットのアイコンは追加できます（P.1-19）。

6 アプリケーション
アプリケーション画面を表示します（P.1-21）。

7 拡張ホーム画面
拡張ホーム画面の数を示しています（P.1-18）。ホーム画面で左／右にスワイプするか、を選択すると拡張ホーム画面を表示します。

お知らせ

- アプリケーションを起動中にを押すと、ホーム画面に戻ります。

拡張ホーム画面を利用する

ホーム画面で左／右にスワイプするか、ホーム画面下部のを選択すると、拡張ホーム画面を表示します。拡張ホーム画面は4つあり、広いスペースでショートカットやウィジェットの追加などができます。

拡張ホーム画面（左側）　　ホーム画面　　拡張ホーム画面（右側）

お知らせ

- 拡張ホーム画面でまたはを押すと、ホーム画面に戻ります。
- をロングタッチすると、ホーム画面（拡張ホーム画面を含む）の状態が、画面下部にサムネイル表示されます。

ホーム画面のメニュー

ホーム画面（拡張ホーム画面を含む）で ☰ を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
追加	ホーム画面にアイコンを追加したり、壁紙を変更したりします（P.1-19、P.1-20）。
アプリの管理	本機にインストール済みのアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。（P.10-11）
壁紙	ホーム画面の壁紙を変更します（P.1-20）。
検索	本機内やウェブページの情報を検索します（P.1-40）。
通知	通知パネルを開きます（P.1-25）。
設定	設定画面を表示します（P.11-2）。

ホーム画面をカスタマイズする

ホーム画面（拡張ホーム画面を含む）のアイコンの設定を変更したり、壁紙を変更したりできます。

ホーム画面にアイコンを追加する

ホーム画面にショートカット、ウィジェット、フォルダのアイコンを追加できます。

1 **ホーム画面で、画面上の何もない場所をロングタッチ**

2 **追加する項目を選択**

項目	説明
ショートカット	アプリケーションを起動したり、本機の設定項目を表示したりするショートカットを追加します。
ウィジェット	アプリケーションを利用するためのツールを追加します。
フォルダ	「新しいフォルダ」を作成したり、連絡先のフォルダなどを追加します。 • 新しいフォルダにはショートカットをまとめて格納できます。格納するには、ショートカットのアイコンをロングタッチします。本機が振動したらフォルダの上までドラッグし、画面から指を離します。

■ お知らせ

• ホーム画面にアプリケーションのショートカットをすばやく追加するには、アプリケーション画面（P.1-21）でアイコンをロングタッチします。本機が振動したら、ホーム画面の空いている場所までアイコンをドラッグし、画面から指を離します。

アイコンを移動する

1 **ホーム画面で移動するアイコンをロングタッチ**

本機が振動してアイコンが拡大表示されます。

2 **そのままアイコンをドラッグし、移動先で指を離す**

■ お知らせ

- ホーム画面から拡張ホーム画面にアイコンを移動するには、操作1の後にホーム画面の左端または右端までドラッグして拡張ホーム画面を表示してから指を離します。

フォルダ名を変更する

1 **ホーム画面でフォルダを選択**

2 **フォルダのタイトルバーをロングタッチ**

キーボードが表示されます。

3 **フォルダ名を入力→「OK」**

アイコンを削除する

1 **ホーム画面で削除するアイコンをロングタッチ**

本機が振動してアイコンが拡大表示されます。

2 **そのままアイコンを画面下部のゴミ箱までドラッグ**

3 **アイコンが赤色に変わったら指を離す**

壁紙を変更する

1 **ホーム画面で、画面上の何もない場所をロングタッチ→「壁紙」**

2 **項目を選択**

項目	説明
ギャラリー	ギャラリーに保存されている画像から選択します。 • 画面上のカメラアイコンを選択するとカメラが起動し、静止画を撮影できます。撮影した静止画を選択すると、壁紙に設定できます。
ライブ壁紙	アニメーション画像から選択します。
壁紙	お買い上げ時に本機に登録されている画像から選択します。

アプリケーション画面について

アプリケーション画面からさまざまな機能を呼び出すことができます。Androidマーケットなどからダウンロードしてインストールしたアプリケーションは、アプリケーション画面に追加されます。

1 ［アプリケーションキー］**を押す**

アプリケーション画面が表示されます。

- 上下にスワイプして画面をスクロールできます。

アプリケーション画面

■ **お知らせ**

- アプリケーション画面で、アプリケーションのアイコンの位置は変更できません。ご了承ください。

登録されているアプリケーション一覧

アイコン	アプリケーション	説明
	BookLive! Reader for EM	「BookLive!」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。
	EMnetメール	EMnetメールの送受信ができます。
	Facebook	Facebookを利用できます。
	Gmail	Gmailの送受信ができます。
	GREE	「GREE」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。
	Latitude	Google Latitudeを利用できます。
	Mobage	「mobage」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。
	Refills試用版	Refills試用版を利用できます。
	Twitter	Twitterを利用できます。
	YouTube	動画の再生・投稿ができます。
	アプリ	Androidマーケットの中から人気・話題のアプリケーションを紹介します。
	カメラ	静止画や動画を撮影できます。
	カレンダー	カレンダーを利用できます。
	ギャラリー	静止画や動画などを再生できます。
	ダウンロード	ダウンロードしたファイルを管理できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	トーク	Googleトークでチャットができます。
	ナビ	Googleマップナビで目的地までの経路を確認できます。
	ニュースと天気	ニュースと天気を確認できます。
	ハンゲーム ショートカット	「ハンゲーム」のアプリ紹介サイトにアクセスします。
	ビデオマーケット	「VideoMarket」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。
	ビデオ録画	ビデオを録画することができます。
	ブラウザ	ウェブページを閲覧できます。
	プレイス	現在地周辺の店などの情報を検索できます。
	マーケット	Androidマーケットからアプリケーションをダウンロードできます。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。
	メール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。
	音楽	音楽を再生できます。
	音声レコーダー	音声を録音できます。
	音声検索	音声を入力してGoogle検索が行えます。
	芸能ニュース	「オリコン芸能ニュース」にアクセスします。
	検索	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	時計	時刻の確認やアラームの設定などができます。
	設定	本機の各種設定ができます。
	電卓	電卓を利用して計算ができます。
	電話	電話の発信、通話履歴／連絡先の確認などができます。
	連絡先	連絡先の登録・管理ができます。

アプリケーション画面のメニュー

アプリケーション画面で ☰ を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
アプリの管理	本機にインストール済みのアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。（P.10-11）
検索	本機内やウェブページの情報を検索します（P.1-40）。
通知	通知パネルを開きます（P.1-25）。
設定	設定画面を表示します（P.11-2）。

本機の状態と通知について

ステータスバーや通知ランプから本機の状態を確認できます。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部にあります。ステータスバーの左側には通知アイコン、右側にはステータスアイコン（本機のステータス）を表示しています。

通知アイコン

アイコン	状態
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着EMnetメールあり
	新着チャット（Googleトーク）あり
	新着留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	予定（カレンダー）の通知あり
	音楽再生中
	同期トラブルなどのエラーあり
	本機内のメモリがいっぱい
	Wi-FiがONかつWi-Fiネットワークが利用可能
	Pocket WiFi設定中
	USBテザリング設定中
	Pocket WiFi設定中かつUSBテザリング設定中
	VPN接続中
	USBケーブルでコンピュータに接続中
	USBデバッグ接続中
	非表示の通知あり（数字は件数）
	発信中／通話中
	不在着信あり
	保留中

アイコン	状態
	着信転送設定中（「常に転送」のみ）
	Bluetoothでデータ受信あり
	データのアップロード中
	データのダウンロード中
	アプリケーションのインストール完了

ステータスアイコン

アイコン	状態
	3G接続中
	3G使用中
	GPRS接続中
	GPRS使用中
	HSPA接続中
	HSPA使用中
	Wi-Fiネットワーク接続中
	Bluetooth ON
	Bluetoothデバイスに接続中
	機内モード ON
	アラーム設定中
	ハンズフリー通話中
	データ同期中

アイコン	状態
	電波レベル
	ローミング中
	圏外
	EM chip未挿入
	マナーモード
	ミュート（音声入力不可）
	要充電
	電池パック残量が少ない • 残量が少なくなると、電池アイコンが緑色→黄色→赤色に変化します。
	電池パック残量十分
	電池パック充電中
	GPS ON
	GPS測位中

通知パネル

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときは、ステータスバーを下向きにスライドして通知パネルを開くと確認できます。

通知パネル

1 通知が表示されます。選択すると、通知の確認や各機能の操作が行えます。
2 上方向にスライドして通知パネルを閉じます。
3 選択すると、すべての通知を消去します。

お知らせ

- ホーム画面またはアプリケーション画面で ≡ →「通知」を選択しても通知パネルを開くことができます。
- ⮌を押しても通知パネルを閉じることができます。

通知ランプ

通知ランプは受話口の左側にあり、本機の状態を通知します。

ランプの状態	通知内容
点灯（緑）	電池パック満充電
点灯（赤）	電池パック充電中
点滅（赤）	充電エラー
点滅（青）※1	新着メールや不在着信など未確認の通知あり

※1：画面が消灯している場合に点滅します。

着信音や通知音、バイブレーションなどを設定する

着信音／通知音の種類や各種の音量、バイブレーションなどを設定できます。

着信音／通知音を設定する

電話の着信音や、新着通知を受信したときなどに鳴る通知音を設定します。

1 ホーム画面で ☰→「設定」

2 「音」→「着信音」／「通知音」

3 着信音／通知音を選択→「OK」

音量を調節する

着信音量やメディア音量などを個別に調節できます。

- 着信音：電話の着信音
- メディア：動画／音楽などの再生音
- アラーム：アラームの鳴動音
- 通知：SMS／メール受信時などの通知音

1 ホーム画面で ☰→「設定」

2 「音」→「音量」

3 音量バーのスライダーを左／右にドラッグ→「OK」

- 「通知音にも着信音量を適用」のチェックを外すと、下に「通知」の音量バーが表示され、着信音量とは別に通知音量を調節できます。

お知らせ

- 着信音量は、画面表示中に▲（音量上）／▼（音量下）を押しても調節できます。動画／音楽再生中など一部の画面では調節できない場合があります。着信音量が最小のときに▼（音量下）を押すと、マナーモードに設定されます。
- 動画／音楽再生中に▲（音量上）／▼（音量下）を押すと、メディア音量を調節できます。
- C マナー を長押し、または ⏻ を長押し→「マナーモード」を選択すると、マナーモードを設定／解除できます。

バイブレーションを設定する

着信／通知時の本機のバイブレーション動作を設定します。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「音」→「バイブ」

3 項目を選択

項目	説明
常に使用	バイブレーション動作を設定します。
なし	バイブレーション動作の設定を解除します。
マナーモードでのみ	マナーモードに設定しているときのみ、バイブレーション動作を設定します。
マナーモードでないときのみ	マナーモードに設定していないときのみ、バイブレーション動作を設定します。

お知らせ

- SMS受信時、メール受信時、カレンダーの予定の通知時にバイブレーション動作を設定するには、「なし」以外に設定し、合わせて各機能のバイブレーション動作を設定する必要があります。

マナーモードを設定する

動画／音楽の再生音やアラーム音以外の音を鳴らさないようにして、公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑にならないようにします。

1 ⎗ または C マナー を長押し

2 「マナーモード」

ステータスバーに が表示されます。

- 「バイブ」（P.1-27）を「なし」「マナーモードでないときのみ」に設定している場合は、ステータスバーに が表示されます。

■ マナーモードを解除する場合

C マナー を長押し、または ⎗ を長押し→「マナーモード」

お知らせ

- 動画／音楽の再生音やアラーム音の音量調節は、「音量を調節する」（P.1-26）をご参照ください。
- ホーム画面で ≡→「設定」→「音」→「マナーモード」にチェックを付けても、マナーモードを設定できます。
- 画面ロック中は を左方向にドラッグして、マナーモードを設定できます。マナーモードを解除する場合は、 または を左方向にドラッグします。

画面の明るさを調整する

1 ホーム画面で ≡ →「設定」

2 「表示」→「画面の明るさ」

3 スライダーを左／右にドラッグ→「OK」

文字を入力する

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボード（ソフトキーボード）またはハードキーボードを利用します。

キーボードには、次の2種類があります。

- Androidキーボード
- FSKAREN

お知らせ

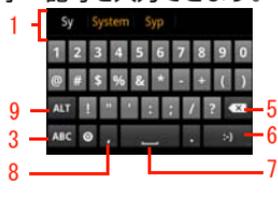
- 初期設定はFSKARENでキーボードタイプはハードキーボードとなっています。
- 日本語を入力するときはFSKARENをご利用ください。Androidキーボードでは日本語を入力できません。
- 使用状況によって各キーボードの表示や動作が異なる場合があります。また、利用するアプリケーションや機能によっては、専用のキーボードが表示される場合があります。

キーボード（入力方法）を変更する

1 文字入力欄をロングタッチ

2 「入力方法」→「Androidキーボード」／「FSKAREN」

Androidキーボードで文字を入力する

パソコンのキーボードと同様のキー配列のQWERTYキーボードです。半角英字や半角数字・記号を入力できます。

半角英字入力　　半角数字・記号入力

1 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
   - オレンジ色で表示されている候補は、入力が予測される候補、またはユーザー辞書に登録されている単語（P.1-36）です。候補をタップするか、スペースキーまたはピリオドキーをタップすると入力します（オートコンプリート機能）。

2 小文字／大文字／大文字固定を切り替えます。

3 入力モードを半角英字入力／半角数字･記号入力に切り替えます。

4 Androidキーボードの設定変更（P.1-38）、入力方法の変更（P.1-28）ができます。

5 カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

6 入力を決定したりカーソルを移動したりします。
- 「:-)」が表示されているときは、ロングタッチするとAndroidの絵文字一覧が表示されます。入力する絵文字をタップして入力します。
- 「次へ」が表示されているときは次の入力欄にカーソルを移動します。
- 「実行」「完了」が表示されているときは入力を決定します。
- ↵が表示されているときは改行します。

7 スペースを入力します。

8 音声入力を使ったり、カンマを入力したりします。
- 🎤が表示されているときは、音声で文字を入力できます。
- ,が表示されているときは、カンマを入力できます。

9 記号などの種類を切り替えます。

お知らせ
- キーによってはロングタッチすることで、別の文字を表示して入力することができます。
- 文字を入力した後に文字入力欄をロングタッチすると、「辞書に「XXX」を追加」と表示される場合があります（「XXX」には入力した文字列が表示されます）。
- 「辞書に「XXX」を追加」→「OK」を選択すると、XXXをユーザー辞書に登録できます（P.1-36）。

FSKARENで文字を入力する

FSKARENでは、ハードキーボードとソフトキーボード（10キー、QWERTY、手書き）を利用できます。
- 初期設定はハードキーボードとなっています。
- ハードキーボードからソフトキーボードに変更する場合は「ハードキーボード」（P.1-32）をご参照ください。

■ 10キー

一般の携帯電話のように、複数の文字が各キーに割り当てられています。スワイプして文字を入力するフリック入力､目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップするトグル入力､2タッチ入力の3種類から選択できます。
- フリック入力とは、入力する文字の行が割り当てられているキーをタップしたまま、上／下／左／右にスワイプして、入力する文字を選択します。キーに触れたときに、キーの上にポップアップが表示されますので、入力する文字が表示されている方向にスワイプします。ポップアップの中央に表示されている文字は、キーをタップするだけで入力できます。

  （例）「を」を入力する場合

  「わ」のキーをタップしたままで、「を」が表示されている方向（左）にスワイプします。

1 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補にカーソルを移動しを押すか、変換候補欄の上を左／右にスワイプします。
- 変換候補表示中にキーボード上を上にスワイプすると、入力した文字の各キーに割り当てられている別の組み合わせの変換候補を表示します。

2 トグル入力時、キーに割り当てられている1 つ前の文字に戻ります。

3 カーソルを左／右に移動します。

4 文字入力モードを変更します。

5 キーボードの種類を変更します。
- 右にスワイプすると、カーソル画面が表示され、カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付け／削除したりできます。
- 文字未入力時にロングタッチすると、キーボード種類の変更や「区点入力」などを利用できます。

6 文節変換を行います。
- 「文節縮小」が表示されているときは、変換範囲を1文字縮小します。
- 「通常入力」が表示されているときは､変換前に戻ります。
- 「Undo」が表示されているときは、確定前に戻ります。

7 入力中の文字の大文字／小文字、濁点／半濁点などを切り替えます。

8 英数字やカタカナなどに変換します。
- 「記号」が表示されているときは、記号を入力します。
- 「文節拡大」が表示されているときは、変換範囲を1文字拡大します。
- 「通常入力」が表示されているときは､変換前に戻ります。

9 カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

10 スペースの入力、または文字の変換を行います。

11 入力中の文字を決定、または改行します。

12 変換候補の表示を拡大します。表示拡大時はをタップします。
- が表示されているときは、キーボードを閉じます。再度キーボードを表示するには文字入力欄をタップします。

13 句読点などを入力します。

14 「記号」「顔文字」「定型文」の利用、「FSKAREN設定」が行えます。
- 入力中にタップすると「ワンタッチ変換」「単漢字」「姓名優先」「ひらがな」「全角カタカナ」「半角カタカナ」「半角英数」「全角英数」の変換が利用できます。

■ QWERTY

パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。

1 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補にカーソルを移動しを押すか、変換候補欄の上を左／右にスワイプします。
- 変換候補表示中にキーボード上を上にスワイプすると、入力した文字の各キーに割り当てられている別の組み合わせの変換候補を表示します。

2 カーソルを左／右に移動します。

3 英字の大文字／小文字を切り替えます。
- Alt が表示されているときは、記号などの種類を切り替えます。

4 キーボードの種類を変更します。
- 右にスワイプすると、カーソル画面が表示され、カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付け／削除したりできます。
- 文字未入力時にロングタッチすると、キーボード種類の変更や「区点入力」などを利用できます。

5 文節変換を行います。
- 「文節縮小」が表示されているときは、変換範囲を1文字縮小します。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。
- 「Undo」が表示されているときは、確定前に戻ります。

6 文字入力モードを変更します。

7 英数字やカタカナなどに変換します。
- 「記号」が表示されているときは、記号を入力します。
- 「文節拡大」が表示されているときは、変換範囲を1文字拡大します。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。

8 カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

9 入力中の文字を決定、または改行します。

10 変換候補の表示を拡大します。表示拡大時は をタップします。
- が表示されているときは、キーボードを閉じます。再度キーボードを表示するには文字入力欄をタップします。

11 「記号」「顔文字」「定型文」の利用、「FSKAREN設定」が行えます。
- 入力中にタップすると「単漢字」「姓名優先」「ひらがな」「全角カタカナ」「半角カタカナ」「半角英数」「全角英数」の変換が利用できます。

12 スペースの入力、または文字の変換を行います。

■ ハードキーボード

ハードキーボードを利用して文字を入力します。

ソフトキーボードからハードキーボードに変更する場合は、をロングタッチし、「ハードキーボード」を選択してください。

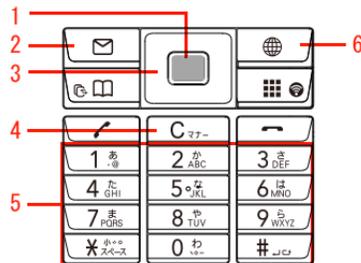
1 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 変換候補の表示を切り替えるときは、変換候補にカーソルを移動しを押すか、変換候補欄の上を左／右にスワイプします。
- 変換候補表示中にを押すと、入力した文字の各キーに割り当てられている別の組み合わせの変換候補を表示します。

2 記号を入力します。
- 「文節変換」が表示されているときは、文節変換を行います。
- 「文節縮小」が表示されているときは、変換範囲を1文字縮小します。

3「ひらがな」「半角カタカナ」「全角カタカナ」「数字」「全角英数」「半角英数」の変換が利用でき、またパーソナルモードを選択できます。

4 ソフトキーボードを表示します。
- 「かな英数」が表示されているときは、英数字やカタカナなどに変換します。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。
- 「文節拡大」が表示されているときは、変換範囲を1文字拡大します。

5「記号」「顔文字」「定型文」の利用、「FSKAREN設定」が行えます。
- 入力中にタップすると「ワンタッチ変換」「単漢字」「姓名優先」「ひらがな」「全角カタカナ」「半角カタカナ」「全角英数」の変換が利用できます。

- ハードキーボードでの文字入力方法

1 **センターキー**

入力中の文字を確定します。

2 EMnetメールキー
記号を入力します。
文字入力中に押すと、文節候補を表示します。

3 スクロールキー
カーソルを移動します。
文字入力中、[□] で変換候補にカーソルを移動します。

4 クリアキー
カーソルの左側にある文字を削除し、長押しすると文字を連続して削除します。

5 テンキー
[1] ～ [0]：文字を切り替え、文字を入力します。
[＊]：スペースを入力します。変換時は、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、ひらがな／カタカナ入力中は、濁点／半濁点をつけたりできます。
[＃]：カーソル位置で改行します。同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。

6 ブラウザキー
ソフトキーボードを表示します。

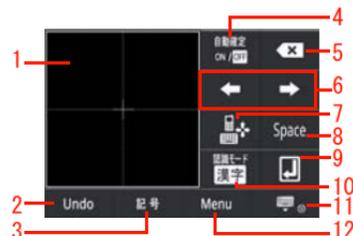
<例>「学校」を入力する

1 文字入力画面で、[2] [＊] を押します。
2 [4] を6回押します。
3 [2] を5回押します。
4 [1] を3回押します。
5 [□] で変換候補から「学校」を選択し、[□] を押します。

■ 手書き

手書きで文字を入力します。

- タッチパネルの認識状態や文字の形状によっては、正確に認識できない場合があります。

手書き入力前

手書き入力後

1 手書きで文字を入力します。
2 確定前に戻ります。
- 「文節変換」が表示されているときは、文節変換を行います。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。
- 「文節縮小」が表示されているときは、変換範囲を1文字縮小します。

3 記号を入力します。
- 「文節拡大」が表示されているときは変換範囲を1文字拡大します。
- 「通常入力」が表示されているときは、変換前に戻ります。

4 自動確定のON／OFFを切り替えます。自動確定をONにすると、手書きで入力した文字を自動で確定します。
5 カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
6 カーソルを左／右に移動します。
7 キーボードの種類を変更します。
- 右にスワイプすると、カーソル画面が表示され、カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付け／削除したりできます。
- 文字未入力時にロングタッチすると、キーボード種類の変更や「区点入力」などを利用できます。

8 スペースの入力、または文字の変換を行います。
9 入力中の文字を決定、または改行します。
10 文字認識モードを変更します。
- ロングタッチすると、文字種、パーソナルモードを変更できます。

11 キーボードを閉じます。再度キーボードを表示するには文字入力欄をタップします。
12「記号」「顔文字」「定型文」の利用、「FSKAREN設定」が行ます。
- 入力中にタップすると「単漢字」「姓名優先」の変換が利用できます。

13 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
14 手書きで入力した文字の認識候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- 「ページ→」／「←ページ」をタップすると、認識候補のページが切り替わります。

15 1画前の状態に戻ります。ロングタッチすると、手書きした文字がすべて消去されます。
16 変換候補の表示を拡大します。表示拡大時は をタップします。

キーボードの種類を変更する

1 キーボード表示中に をロングタッチ

2 「10キー」／「QWERTY」／「手書き」／「ハードキーボード」

文字入力モードを変更する

1 キーボード表示中に をタップ

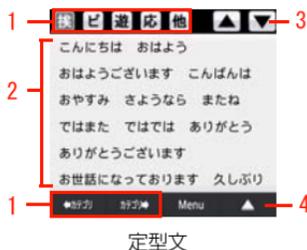
アイコン	ステータスバー	説明
	あ	漢字ひらがな入力モード
	a	半角英字小文字入力モード
	1	半角数字入力モード

記号／顔文字／定型文を利用する

1 キーボード表示中に Menu

2 「記号」／「顔文字」／「定型文」

記号　　顔文字

定型文

1 カテゴリを切り替えます。
2 タップして入力します。
3 前／後のページに切り替えます。
4 画面を閉じます。

文字変換モードを変更する

文字変換モードを変更すると、文字入力時に表示される変換候補を変更できます。

1 キーボード表示中に [icon] をロングタッチ

2 アイコンをタップ

アイコン	説明
[icon]	ノーマルモード（通常の変換候補を表示します。）
[icon]	男性モード（男性向けの変換候補を表示します。）
[icon]	女性モード（女性向けの変換候補を表示します。）
[icon]	ビジネスモード（ビジネス向けの変換候補を表示します。）

区点コードで入力する

区点コード（4桁の数字）を使って、かな漢字変換で表示されない漢字や記号などを入力できます。

1 キーボード表示中に [icon] をロングタッチ

2 「区点入力」→区点コードを入力

文字列の選択／切り取り／コピー／貼り付けをする

入力した文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付けして利用できます。

1 文字入力欄をロングタッチ

2 項目を選択

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
すべて選択	入力した文字列をすべて選択します。
語句を選択	入力した文字列の一部を、ドラッグして選択します。
切り取り※	選択した文字列を切り取ります。
コピー※	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。

※：切り取り／コピーできる件数は1件のみです。

ユーザー辞書（Androidキーボード）を利用する

単語を登録しておくと、文字入力時に変換候補としてオレンジ色で表示されます。

単語をユーザー辞書に登録する

1 ホーム画面で☰→「設定」

2 「言語とキーボード」→「ユーザー辞書」

3 ☰→「追加」→単語を入力→「OK」

ユーザー辞書を編集する

1 ホーム画面で☰→「設定」

2 「言語とキーボード」→「ユーザー辞書」

3 目的の編集を行う

■ 登録内容を編集する場合

1 編集する項目を選択→「編集」

2 内容を変更→「OK」

■ 登録内容を削除する場合

1 削除する項目を選択→「削除」

ユーザー辞書（FSKAREN）を利用する

よく使う言葉をユーザー辞書に登録する

特殊な読みかたをする漢字や、よく使う略語などを登録しておくと便利です。登録した単語を呼び出すには、文字入力画面でユーザー辞書に登録した見出し語を入力し、変換します。

1 ホーム画面で☰→「設定」

2 「言語とキーボード」→「FSKAREN」

3 「辞書設定」→「ユーザー辞書」→「新規登録」

4 単語・見出し語を入力し、品詞を選択→「登録」

5 「OK」→「閉じる」

ユーザー辞書を編集する

1 ホーム画面で ☰→「設定」

2 「言語とキーボード」→「FSKAREN」

3 「辞書設定」→「ユーザー辞書」→目的の編集を行う

■ 登録内容を編集する場合

1 編集する項目を選択→「編集」

2 内容を変更→「決定」→「OK」

■ 登録内容を削除する場合

1 削除する項目にチェックを付ける

2 「削除」→「OK」→「OK」

■ 登録内容をユーザー変換辞書として登録する場合

1 「変換」→「OK」

- ユーザー辞書に登録した単語をまとめて、1つの辞書（ユーザー変換辞書）として登録できます。登録しておくと、辞書ごとに使い分けることができます（P.1-37）。

■ microSDカードに登録内容を保存する

1 「保存」→「OK」

■ microSDカードに保存した登録内容を復元する場合

1 「復元」→復元する項目を選択

2 「復元」→「OK」→「閉じる」

■ microSDカードに保存した登録内容を削除する場合

1 「復元」→削除する項目を選択

2 「削除」→「OK」→「OK」→「閉じる」

ユーザー変換辞書を利用する

ユーザー辞書から登録したユーザー変換辞書を、文字入力時に使用するかどうかを設定します。

1 ホーム画面で ☰→「設定」

2 「言語とキーボード」→「FSKAREN」

3 「辞書設定」→「ユーザー変換辞書」→使用する辞書にチェックを付ける

ユーザー変換辞書を確認／編集する

1 ホーム画面で ☰→「設定」

2 「言語とキーボード」→「FSKAREN」

3 「辞書設定」→「ユーザー変換辞書」→確認／編集する辞書を選択

4 目的の確認／編集を行う

■ 辞書を確認する場合

1 「表示」

■ 辞書名を変更する場合

1 「辞書名変更」

2 辞書名を変更→「OK」→「OK」

■ 辞書を削除する場合

1 「削除」→「OK」→「OK」

定型文／顔文字を追加／編集／リセットする

お買い上げ時に本機に登録されている定型文や顔文字を追加／編集／リセットします。

- FSKARENの場合に利用できます。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「言語とキーボード」→「FSKAREN」

3 「辞書設定」→「定型文」→目的の追加／編集を行う

■ 追加する場合

1 カテゴリを選択→「追加」

2 文字を入力→「OK」→「OK」

■ 変更する場合

1 カテゴリを選択→変更する項目を選択→「変更」

2 内容を変更→「OK」→「OK」

■ 削除する場合

1 カテゴリを選択→削除する項目を選択→「削除」

■ 定型文／顔文字を標準状態に戻す場合

1 「初期化」→「OK」→「OK」

キーボードの設定を変更する

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「言語とキーボード」→「Androidキーボード」／「FSKAREN」

3 項目を設定

■ Androidキーボードの場合

項目	説明
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
キー操作音	キーをタップしたときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
キー押下時ポップアップ	オフにすると、各キーをタップしたとき、キーの拡大画像が（指の下から飛び出すように）キーの上に表示されなくなります。
タップして語句を修正	オフにすると、キーボードで単語をタップしたときに他の入力候補が考えられるケースで、テキストフィールドの単語に下線が表示される機能を無効にできます。
自動大文字変換	英字入力時、文頭文字を大文字にするかどうかを設定します。

項目	説明
設定キーを表示	キーボードに設定キーを自動的に表示する、表示または非表示に設定できます。
音声入力	音声入力キーを表示するキーボードを設定します。
入力言語	入力する言語を選択します。選択した言語は、キーボードのスペースキーを左／右にスライドすると切り替えられます。
入力候補を表示	文字入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。
オートコンプリート	入力が予測される候補をオレンジ色で表示して、入力できるようにするかどうかを設定します。

■ FSKARENの場合

項目		説明
キーボード設定	**テーマ**	キーボードのデザインを設定します。
	キーボードタイプ	縦画面で使用するキーボードの種類を設定します。
	変換候補の行数	縦画面で変換候補を表示する行数を設定します。
	キーボードタイプ	横画面で使用するキーボードの種類を設定します。
	10キー入力方式	10キー利用時の入力方式を「フリック入力」／「トグル入力」／「2タッチ入力」から設定します。
	フリック入力設定	10キー利用時、入力方式を指をスワイプして入力する方式（フリック入力）に設定中にトグル入力を有効にするかどうかや、スワイプ入力の感度を設定します。
	トグル入力設定	10キー利用時、文字入力後にカーソルを自動で右に移動させるかどうかや、カーソルを移動させるまでの時間を設定します。
	画面タイプ	手書き利用時の画面タイプを設定します。
	自動確定	手書き利用時に、自動確定するかどうかを設定します。
	自動確定時間	手書き利用時、自動確定するまでの時間を設定します。
キー操作設定	**バイブレーション**	キーをタップしたときに振動させるかどうかを設定します。
	効果音	キーをタップしたときに効果音を鳴らすかどうかを設定します。
	キーポップアップ	キー操作時にキーをポップアップ表示するかどうかを設定します。
	Enterキーで改行	連携予測候補を表示中、[↵]キーで改行するかどうかを設定します。
	Spaceキーで候補選択	連携予測候補を表示中、Spaceキーで変換候補を選択するかどうかを設定します。

項目		説明
変換設定	近似予測	予測変換候補として表示する優先候補を設定します。
	英語予測	英語の予測変換候補を表示するかどうかを設定します。
	連携予測	確定した文字から予測して、入力候補を表示するかどうかを設定します。
	顔文字連携	確定した文字から予測して、顔文字の入力候補を表示するかどうかを設定します。
	英語連携	確定した文字から予測して、英語の入力候補を表示するかどうかを設定します。
	1文字学習	1文字入力して文節変換を行ったときに、1文字学習で記憶した候補を表示するかどうかを設定します。 • 1文字学習とは、以前に入力した文字列を1文字で記憶することです。
辞書設定	ユーザー辞書	ユーザー辞書（FSKAREN）を利用します（P.1-36）。
	ユーザー変換辞書	ユーザー変換辞書を利用します（P.1-37）。
	定型文	定型文／顔文字を追加／編集／リセットします（P.1-38）。
リセット	学習リセット	FSKARENで記憶された学習内容を消去します。
	設定リセット	FSKARENの設定項目をリセットします。

項目	説明
コミュニティサイト	FSKARENのコミュニティサイトにアクセスします。

本機内やウェブページの情報を検索する

クイック検索ボックスを利用して、本機内やウェブページの情報を検索できます。

- ウェブページの情報を検索する場合は、あらかじめインターネットへ接続できる状態にしてください（P.7-2）。

1　**検索対象**

選択すると、検索対象を変更できます。⚙を選択すると、詳細設定ができます。

2 テキスト入力エリア
選択するとキーボードが表示され、検索する文字列を入力できます。

3 音声検索
タップすると、検索する文字列を音声で入力できます。

■お知らせ
- ホーム画面で ☰ →「検索」を選択しても利用できます。
- 🔍を押しても利用できます。ただし、起動中の機能や画面によって、検索する対象が異なる場合やクイック検索ボックスが起動できない場合があります。

文字を入力して検索する

1 **クイック検索ボックスのテキスト入力エリアをタップ**

検索画面が表示されます。

2 **検索する文字列を入力して検索**

- 検索ボックスの下に表示される検索候補を選択しても、検索できます。

音声を入力して検索する（音声検索）

- 音声の入力状況によって、正確に変換できないことがあります。あらかじめご了承ください。

1 **🔍 を長押し**

2 **検索する文字列を音声で入力**

■お知らせ
- [キー]を押す→「音声検索」を選択しても利用できます。

音声を入力して検索する（音声検索）

1 **検索画面で ☰→「検索設定」**

2 **項目を設定**

項目		説明
Google検索の設定	入力候補の表示	検索する文字列を入力したときに、検索ボックスの下にGoogleの検索候補を表示するかどうかを設定します。
	Googleと共有する	Googleが本機の位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。
	検索履歴	本機に設定しているGoogleアカウントで管理している検索履歴を、検索ボックスの下に表示するかどうかを設定します。
	検索履歴の管理	本機に設定しているGoogleアカウントのウェブ検索履歴を管理します。
検索対象		検索する対象を設定します。
ショートカットを消去		検索ボックスの下に表示される、本機で最近検索した結果へのショートカット（履歴）を消去します。

自分の電話番号を確認する

本機に取り付けられているEM chipに記録されている自分の電話番号（自局電話番号）を確認します。

1 **ホーム画面で ☰→「設定」**

2 **「端末情報」→「端末の状態」**

「電話番号」の下に自分の電話番号が表示されます。

最近使用したアプリケーションを起動する

各画面から最近使用したアプリケーション（8つまで）を起動できます。

1 **各画面で ⌂ を長押し**

最近使用したアプリケーションが表示されます。

2 **起動するアプリケーションを選択**

画面ロックを使う

画面ロックを設定する

本機の操作ができないように、画面をロックします（画面ロック）。カバンやポケットに入れているときなど、誤動作を防ぐことができます。

1 本機起動中に

画面ロックがかかります。

- ロックを解除するには、 またはを押して画面を点灯させ、を右方向にドラッグします。

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックを解除するときの操作を設定できます。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「現在地情報とセキュリティ」→「画面ロックの設定」／「画面ロックの変更」

- 解除方法を「なし」以外に設定している場合は、設定中の解除方法を入力してから操作3に進みます。

3 項目を設定

項目	説明
なし	画面ロックの解除セキュリティを無効に設定します。
パターン※	パターンの入力で画面ロックを解除するように設定できます。 • 画面の指示に従って、パターンを設定してください。
暗証番号※	暗証番号の入力で画面ロックを解除するように設定できます。 • 画面の指示に従って、暗証番号を設定してください。
パスワード※	パスワードの入力で画面ロックを解除するように設定できます。 • 画面の指示に従って、パスワードを設定してください。

※：設定したパターン／暗証番号／パスワードは必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

お知らせ

- 「なし」に設定した場合、画面ロックを解除時にを長押し（1秒以上）して、画面ロックを解除することもできます。
- 「暗証番号」「パスワード」に設定した場合は、画面ロックを解除するときに、まずを右方向にドラッグして解除してから操作を行う必要があります。
- 「パターン」に設定した場合、画面ロック解除時に指でなぞった軌跡を表示するかどうかを設定できます。ホーム画面で≡→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」→「指の軌跡を線で表示」にチェックを付けます。

1

- 「なし」以外に設定した場合、画面ロック解除の入力時にバイブレーション動作をするかどうかを設定できます。ホーム画面で☰→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」→「入力時バイブレーション」にチェックを付けます。
- 「なし」以外に設定した場合、「データの初期化」(P.1-45)を行うときにロック解除の入力が必要になります。
- 画面ロックの暗証番号は、EM chipのPINとは異なります。

EM chipロックを設定する

EM chipが不正に使用されることを防ぐため、電源を入れたときなどにPINを入力して認証するかどうかを設定できます。設定すると、電源を入れたときなどにPINの入力画面が表示されます。

- PINの入力を続けて3回間違えた場合は、暗証番号がロックされ使用できなくなります(PINロック状態)ので、設定したPINは必ず別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。また、ロックを解除するには、PINロック解除コード(PUK)の入力が必要になります。PINについては、「PIN」(P.1-8)をご参照ください。

1 ホーム画面で☰→「設定」

2 「現在地情報とセキュリティ」→「SIMカードロック設定」

3 「SIMカードをロック」→PINを入力→「OK」

■ 設定を解除する場合

1 「SIMカードをロック」のチェックを外す
2 PINを入力→「OK」

PINを変更する

1 ホーム画面で☰→「設定」

2 「現在地情報とセキュリティ」→「SIMカードロック設定」

3 「SIMカードをロック」→PINを入力→「OK」

「SIM PINの変更」が有効になります。

4 「SIM PINの変更」

5 現在のPINを入力→「OK」

6 新しいPINを入力→「OK」→新しいPINを再入力→「OK」

■お知らせ

- EM chipのPINは、画面ロックの暗証番号とは異なります。

本機をリセットする

本機に設定したGoogleアカウントや、ダウンロードしたアプリケーションを含む本機内のすべてのデータを消去し、はじめて電源を入れる前の初期状態にリセットします。

- データの初期化を行う前に、重要なデータはバックアップしてください。
- リセットしても、microSDカード内のデータは消去されません。

1 **ホーム画面で ≡ →「設定」**

2 **「プライバシー」→「データの初期化」**

3 **「端末をリセット」→「すべて消去」**

データを消去し、本機を再起動します。

- 画面ロックの解除方法（P.1-43）を「なし」以外に設定した場合は、設定中の解除方法の入力が必要です。

電話

2

電話をかける

2

- 通話中の操作については、「通話中の操作」（P.2-5）をご参照ください。

1 を押す→「電話」タブ

電話番号入力画面が表示されます。

- を押す→「電話」を選択しても、電話番号入力画面を表示できます。

電話番号入力画面

1 タブ
「電話」タブ
「通話履歴」タブ（P.2-6）
「連絡先」タブ（P.3-3）
「お気入り」タブ（P.3-6）

2 電話番号表示欄
入力した電話番号が表示されます。

3 留守番電話（ボイスメール）（P.12-4）
留守番電話センターに接続します。

4 電話発信

5 削除
カーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、入力した番号をすべて削除できます。

2 電話番号（市外局番を含む全桁）を入力

3

- を押しても発信できます。

4 通話が終わったら または

■お知らせ

- 通話履歴や連絡先から相手の電話番号を選択して、電話をかけることもできます（P.2-6、P.3-7）。

電話番号入力画面のメニュー

電話番号入力画面で番号を入力した後に ≡ を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
連絡先に追加	入力中の番号を連絡先に追加できます。
2秒間の停止を追加	「,」を入力します。電話番号の後ろに「,」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながって約2秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
待ち時間を追加	「;」を入力します。電話番号の後ろに「;」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながった後に「送信」を選択して番号をプッシュ信号として送信できます。

電話番号を通知して電話をかける

発信者番号を通知に設定している場合は、相手にお客さまの番号が通知されます（P.12-8）。

日本国内から国際電話をかける

イー・モバイル国際電話のサービスを利用して、日本国内から国際電話をかけることができます。特別な手続きは必要ありません。

- 相手先電話番号が「0」から始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力します（一部の国・地域を除く）。

1 **電話番号入力画面で「010」－「相手先の国番号」－「相手先電話番号」を入力**

- 例えば、イタリア（国番号39）のローマ（06-＊＊＊-＊＊＊＊）に電話をかける場合は、010-39-6-＊＊＊-＊＊＊＊を入力します。

2

- を押しても発信できます。

3 **通話が終わったら または**

■ お知らせ

- 海外の滞在先で電話をかける／受けることもできます（P.12-11）。

2

電話を受ける

- 通話中の操作については、「通話中の操作」（P.2-5）をご参照ください。

2

1 電話がかかってくる

電話着信画面が表示されます。

2 を右方向にドラッグ

- を押しても、電話に出ることができます。

3 通話が終わったら またはは

■ お知らせ

- 着信中に ▲（音量上）／▼（音量下）／ を押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。
- を押して着信音やバイブレーションを停止した場合は、画面が消灯します。画面を点灯するには、 または を押します。

着信を拒否する

電話がかかってきたとき、着信を拒否できます。

- 「着信転送」の「通話中の着信時に転送」（P.12-3）で設定した内容に従います。お買い上げ時は、転送先の電話番号は留守番電話センターに設定されています。

1 電話着信画面で を左方向にドラッグ

- を押しても、着信を拒否できます。

通話中の操作

通話中画面の見かた

通話中画面

1 **画像**
連絡先に登録されている画像が表示されます（P.3-2)。

2 **名前**
連絡先に登録されている名前が表示されます。連絡先に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。

3 **終了**
通話を終了します。

4 **通話を追加**
通話を保留にして、別の相手に電話をかけます（P.12-7）。

5 **Bluetooth**
Bluetooth機器と接続して、ハンズフリーで通話します。

6 **ミュート**
自分の声が相手に聞こえないようにします。

7 **通話時間**

8 **ダイヤルキー**
タップすると、ダイヤルキーが表示されます。

9 **スピーカー**
相手の声をスピーカーから出力し、ハンズフリーで通話します。

通話を保留にする

「割込通話」（P.12-6）をお申し込みいただいているときは、通話を保留できます。保留中の相手には、アナウンスと保留音が流れます。

1 通話中画面で [II]

通話が保留になります。

- 通話を再開する場合は、[▶]をタップします。

■お知らせ

- 保留中でも、発信側には通話料金がかかります。

通話音量を調節する

相手の声の音量を調節できます。

1 通話中に▲（音量上）／▼（音量下）

■ 相手の声を大きくする場合

1 ▲（音量上）を押す

■ 相手の声を小さくする場合

1 ▼（音量下）を押す

通話履歴を確認／利用する

不在着信を含むすべての発着信は、通話履歴として記録されます。通話履歴を利用して電話をかけたり、連絡先に登録したりできます。

1 [電話帳キー]を長押し

通話履歴画面が表示されます。

- ホーム画面で[電話帳キー]→「通話履歴」タブを選択しても通話履歴画面を表示できます。

通話履歴画面

1 着信アイコン
2 不在着信アイコン
3 ツリーアイコン
同じ相手と連続して発着信が記録された場合は、1つのツリーにまとめられます（新しく記録された不在着信を除く）。通話履歴を選択すると、発着信の一覧が表示されます。
4 発信アイコン
5 電話発信

2 通話履歴を選択

- 項目を選択して電話発信やSMS作成、連絡先追加などができます。

■お知らせ
- 通話履歴画面で電話をかける相手にカーソルを移動し、[発信キー]を押しても電話を発信できます。

通話履歴を消去する

1 通話履歴画面で消去する通話履歴をロングタッチ

2 「通話履歴から消去」

■お知らせ
- 通話履歴をすべて消去するには、通話履歴画面で☰→「通話履歴を全件消去」→「OK」を選択します。

通話履歴画面のメニュー

通話履歴画面で通話履歴をロングタッチすると、次のメニューが表示されます。
- 通話履歴によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
XXXXXXXXXXX※に発信	電話を発信します。
連絡先詳細	連絡先詳細画面を表示します。
発信前に番号を編集	電話を発信する前に、電話番号入力画面で電話番号を編集します。
SMSを送信	SMSを作成します。
連絡先に追加	連絡先に追加します。
通話履歴から消去	通話履歴を消去します。

※：XXXXXXXXXXXには、電話番号が表示されます。

緊急通報について

- 機内モード設定中は、緊急通報できません。
- 海外で現地の緊急電話をかける場合、無線ネットワークや無線信号、本機の機能設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。

緊急通報位置通知について

緊急通報位置通知とは、本機から緊急通報を行った場合に、発信した際の位置情報を緊急通報受理機関※1に通知するシステムです。

通知する位置情報は、基地局測位情報※2です。

※1：警察、消防・救急、海上保安本部

※2：基地局測位情報の精度は、数100m～10km程度です。遠方の基地局電波を受信した場合などは、実際の位置とは異なる位置情報が通知される場合があります。

お知らせ

- 緊急通報位置通知機能は、接続先となる緊急通報受理機関が、位置情報を受信できるシステムを導入した後にご利用いただけるようになります。
- 発信場所や電波の受信状況により、正確な位置が通知されない場合があります。緊急通報の際に必ず口頭で発信場所や目標物をお伝えください。
- 緊急通報番号の前に「184」を付けてダイヤルした場合などは、緊急通報受理機関に位置情報は通知されません。ただし、緊急通報受理機関が人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、同機関が発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 申込料金、通信料は一切必要ありません。

3

連絡先の管理

連絡先を登録する

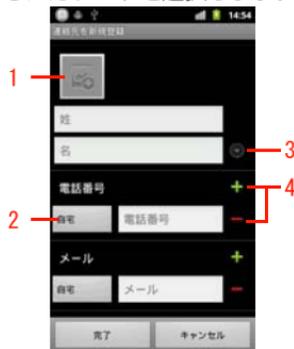
よく使う電話番号やメールアドレスなどを連絡先に登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを作成したりできます。また、登録した連絡先をウェブ上のGoogleアカウントなどと同期することもできます。

1 [ボタン] を押す→「連絡先」、または [ボタン]

連絡先一覧画面が表示されます。

2 ≡→「連絡先を新規登録」

連絡先新規登録画面が表示されます。

- アカウント選択画面が表示された場合は、連絡先を作成するアカウントを選択します。

連絡先新規登録画面

1 **画像**
画像を登録できます。

2 **ラベル**
入力内容のラベル（種類）を選択できます。

3 **詳細情報入力**
敬称や読み仮名など詳細情報を登録できます。

4 **入力欄追加／削除**
入力欄を追加／削除できます。

3 必要な項目を入力

4 「完了」

■お知らせ

- 連絡先を削除するには、連絡先一覧画面で削除する連絡先をロングタッチし、「連絡先を削除」→「OK」を選択します。
- アカウントの設定（P.4-2）後に新規作成する連絡先は、設定したアカウントにのみ作成できます。また、アカウント設定前に本機に保存していた連絡先は、最初に設定したアカウントの連絡先に変更されます。

連絡先を確認／編集する

連絡先の登録内容を確認する

連絡先一覧画面では、連絡先を一覧で確認できます。また、簡単な操作で電話をかけたり、メールを作成したりできます。

1 [キー]を押す→「連絡先」、または[キー]

連絡先一覧画面が表示されます（P.3-3）。

2 確認する連絡先を選択

連絡先詳細画面が表示されます（P.3-4）。

お知らせ

- 連絡先詳細画面で☰→「オプション」→「着信音」を選択すると、連絡先ごとに着信音を設定できます。

連絡先一覧画面の見かた

連絡先一覧画面

1 画像

タップすると、クイックコンタクトアイコンが表示されます。

2 クイックコンタクトアイコン

アイコンを選択すると、電話発信やメール作成などができます。表示されるアイコンは連絡先の登録内容によって異なります。

3 連絡先

選択すると、連絡先詳細画面が表示されます。ロングタッチすると、メニューが表示されます（P.3-4）。

連絡先詳細画面の見かた

連絡先詳細画面

1 **画像**
タップすると、クイックコンタクトアイコンが表示されます（P.3-3）。

2 **電話発信**
電話を発信できます。基本電話番号の後ろにはチェックマークが表示されます（P.3-6）。

3 **メール作成**
メールを作成できます。基本メールアドレスの後ろにはチェックマークが表示されます（P.3-6）。

4 **スター**
（グレー）／（黄色）をタップすると、お気に入りに追加／お気に入りから削除できます（P.3-6）。

5 **SMS作成**
SMSを作成できます。

連絡先一覧画面のメニュー

連絡先一覧画面で ☰ を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
検索	連絡先を検索します（P.3-5）。
連絡先を新規登録	連絡先を新規登録します（P.3-2）。
赤外線送信	赤外線を使って連絡先情報送信します。
表示オプション	電話番号が登録されている連絡先や、登録しているアカウントの任意の連絡先のみを表示するように設定します。
アカウント	アカウントと同期の設定をします（P.4-3）。
インポート／エクスポート	連絡先をインポート／エクスポートします（P.3-8）。

連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチすると、次のメニューが表示されます。
• 連絡先の登録内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
連絡先詳細	連絡先詳細画面を表示します。
連絡先に発信	電話を発信します。
連絡先にSMS	SMSを作成します。
お気に入りに追加	お気に入りに追加します（P.3-6）。
お気に入りから削除	お気に入りから削除します（P.3-6）。
連絡先を編集	連絡先を編集します（P.3-5）。
連絡先を削除	連絡先を削除します。

連絡先を検索する

連絡先に登録されている名前などの一部を入力して、目的の連絡先を検索できます。

1 **連絡先一覧画面／連絡先詳細画面で 🔍**

2 **検索ボックスに名前などの一部を入力**

検索結果が表示されます。確認する連絡先を選択すると、連絡先詳細画面が表示されます。

- 「すべての連絡先を検索」を選択すると、「表示オプション」（P.3-4）の設定で連絡先一覧画面に表示していない連絡先も検索対象に加えて再検索します。

連絡先を編集する

1 **連絡先一覧画面で編集する連絡先をロングタッチ**

2 **「連絡先を編集」**

連絡先編集画面が表示されます。

3 **入力内容を編集**

4 **「完了」**

お知らせ

- 連絡先編集画面／連絡先新規登録画面で ☰→「統合」を選択すると、統合する連絡先の候補が表示されます。統合する連絡先を選択すると、登録内容を統合できます。「すべての連絡先を表示」が表示された場合は、選択するとすべての連絡先が表示されます。
- 連絡先編集画面／連絡先新規登録画面で ☰→「分割」→「OK」を選択すると、統合前の連絡先に分割されます。

基本電話番号を設定する

基本電話番号は、クイックコンタクトアイコンを選択したり、連絡先一覧画面で連絡先をロングタッチして電話をかけたりするときに優先的に使用されます。

3

1 連絡先詳細画面で、基本電話番号として使う電話番号をロングタッチ

2 「メインの番号に設定する」

電話番号の後ろにチェックマークが表示されます。

連絡先詳細画面で、他の電話番号をロングタッチし、「メインの番号に設定する」を選択すると、電話番号はメインの番号に設定され、前回メインの番号に設定された電話番号が自動的に解除されます。

基本メールアドレスを設定する

基本メールアドレスは、クイックコンタクトアイコンを選択するなどしてメールを作成するときに優先的に使用されます。

1 連絡先詳細画面で、基本メールアドレスとして使うメールアドレスをロングタッチ

2 「既定のメールに設定」

メールアドレスの後ろにチェックマークが表示されます。

連絡先詳細画面で、他のメールアドレスをロングタッチし、「既定のメールに設定」を選択すると、メールアドレスは既定のメールに設定され、前回既定のメールに設定されたメールアドレスが自動的に解除されます。

連絡先をお気に入りに追加する

お気に入りに追加した連絡先は、「お気入り」タブで確認できます。

1 連絡先一覧画面でお気に入りに追加する連絡先をロングタッチ

2 「お気に入りに追加」

連絡先がお気に入りに追加されます。

連絡先詳細画面の名前の横にある☆（グレー）が☆（黄色）になります。

お知らせ

- お気に入りから削除するには、連絡先一覧画面でお気に入りに登録している連絡先をロングタッチ→「お気に入りから削除」を選択します。
- お気に入りに登録していない連絡先と電話などのやり取りがあると、「お気入り」タブの「よく使う連絡先」欄に連絡先が自動追加されます。ただし、お気に入りに登録している連絡先がない場合は、「よく使う連絡先」欄のタイトル部分は表示されません。

連絡先を利用する

連絡先から電話をかける

1 [キー]を押す→「連絡先」、または[キー]

■ お気に入りを利用する場合

1 [キー]を押す→「連絡先」→「お気に入り」タブ

2 連絡先を選択

3 対象の電話番号を選択

電話がかかります。

お知らせ

- 連絡先一覧画面で電話をかける相手にカーソルを移動し、[キー]を押しても電話を発信できます。

連絡先からメールを作成する

1 [キー]を押す→「連絡先」、または[キー]

■ お気に入りを利用する場合

1 [キー]を押す→「連絡先」→「お気に入り」タブ

2 連絡先を選択

3 対象のメールアドレスを選択

選択した連絡先を宛先としたメール作成画面が表示されます。

以降の操作については、「EMnetメールを作成／送信する」（P.6-3）／「Eメールを作成／送信する」（P.6-15）／「Gmailを利用する」（P.6-13）をご参照ください。

- 複数のアプリケーションのメールアカウントを登録している場合は、アプリケーションを選択します。

3

連絡先からSMSを作成する

1 [キー]を押す→「連絡先」、または[キー]

■ お気に入りを利用する場合

1 [キー]を押す→「連絡先」→「お気に入り」タブ

2 連絡先を選択

3 対象の携帯電話番号の[アイコン]をタップ

選択した連絡先を宛先としたSMS作成画面が表示されます。

以降の操作については、「SMSを作成／送信するする」（P.6-10）をご参照ください。

連絡先をインポート／エクスポートする

EM chipやmicroSDカードからインポートする

EM chipやmicroSDカードに保存された連絡先を、本機の連絡先に追加できます。

1 [キー]を押す→「連絡先」、または[キー]

2 ≡→「インポート／エクスポート」

3 「SIMカードからインポート」／「SDカードからインポート」

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

- アカウント選択画面が表示された場合は、連絡先をインポートするアカウントを選択します。

■ お知らせ

- EM chipからインポートできる連絡先は、名前と電話番号（1件）のみです。
- インポートできる連絡先は、vCard形式（拡張子：vcf）のみです。

microSDカードにエクスポートする

本機に保存された連絡先を、microSDカードにバックアップできます。

1 [≡ ◎] を押す→「連絡先」、または [📖]

2 ≡→「インポート／エクスポート」

3 「SDカードにエクスポート」

4 「OK」

■ お知らせ

- 連絡先は、vCard形式（拡張子：vcf）でエクスポートされます。
- 連絡先は、EM chipにエクスポートできません。

連絡先を送信する

Bluetooth、メール、赤外線などを利用して、連絡先を送信できます。

1 [≡ ◎] を押す→「連絡先」、または [📖]

2 送信する連絡先を選択→≡→「共有」

3 「Bluetooth」／「Gmail」／「メール」／「赤外線通信」

- 本機の設定によって、表示される項目は異なります。

■「Bluetooth」を利用する場合

「データを送信する」（P.7-20）をご参照ください。

■「Gmail」を利用する場合

「Gmailを利用する」（P.6-13）をご参照ください。

■「メール」を利用する場合

「Eメールを作成／送信する」（P.6-15）をご参照ください。

■「赤外線通信」を利用する場合

「赤外線を使って送信する」（P.7-20）をご参照ください。

4 オンラインアカウントの管理

本機にアカウントを設定する

Google、Facebook、Twitterなどオンラインサービスのアカウントを本機に設定し、本機と各種サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

4 Googleアカウントを設定する

「初期設定」(P.1-16)でGoogleアカウントの設定をスキップした場合は、GmailやAndroidマーケットなどGoogleサービスの初回利用時に、Googleアカウントの設定画面が表示されます。
GoogleアカウントをGoogleアカウントを設定すると、GmailやAndroidマーケットなどGoogleが提供するオンラインサービスを利用できます。

1 Googleアカウントの設定画面で「次へ」

2 アカウントを設定

■ Googleアカウントをお持ちでない場合
「作成」を選択してアカウントを作成できます。

■ Googleアカウントをすでにお持ちの場合
「ログイン」を選択して、お持ちのアカウントを入力し、「ログイン」を選択します。
- Gmailを使用していない場合は、Gmailの設定画面が表示されます。

■ モバイルネットワークの設定を行う場合
≡→「ワイヤレス設定」を選択して、モバイルネットワークの設定が行えます(P.11-2)。

■ ブラウザからログインする場合
≡→「ブラウザログイン」→「次へ」を選択して、ブラウザからGoogleアカウントを入力してログインできます。

3 データのバックアップ※を行うかどうかを設定

※:Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどを、クラウドにバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。

4 「次へ」

5 「セットアップを完了」

アカウントを追加する

オンラインサービスのアカウントを本機に追加します。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「アカウントと同期」→「アカウントを追加」

3 追加するアカウントのサービスを選択

以降の操作については、画面の指示に従ってください。

アカウントと同期の設定をする

オンラインサービスのアカウントと同期の設定をします。

- データの同期など、一部自動的に通信を行う仕様となっており、通信料がかかる場合があります。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「アカウントと同期」

3 項目にチェックを付ける

項目	説明
バックグラウンドデータ	アプリケーションがデータをいつでも同期、送信、受信するように設定します。
自動同期	アプリケーションが自動的にデータを同期するように設定します。

Googleアカウントの同期を設定する

Googleアカウントにログインすると、本機とウェブの間でGmail（連絡先やメール）、Googleカレンダーを同期させることができます。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

4

2 「アカウントと同期」→同期するGoogleアカウントを選択

3 同期する項目にチェックを付ける

お知らせ

- Google以外のサービスのアカウントも、同様の操作を行い操作3で項目にチェックを付けると、同期を設定できます。

アカウントを手動で同期する

1 ホーム画面で ≡ →「設定」

2 「アカウントと同期」→同期するアカウントを選択

3 ≡→「今すぐ同期」

アカウントを削除する

本機からオンラインサービスのアカウントや、メッセージ、連絡先、設定情報などを削除します。

- 本機からアカウントを削除しても、ウェブ上から情報は削除されません。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「アカウントと同期」→削除するアカウントを選択

3 「アカウントを削除」→「アカウントを削除」

お知らせ

- アカウントを他のアプリケーションで使用していて削除できない場合は、「データの初期化」（P.1-45）を行うとアカウントを削除できます。ただし、はじめて電源を入れる前の初期状態にリセットされるため、ダウンロードしたアプリケーションを含む本機内のすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）について

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）とは、インターネットを利用して、テキストメッセージや画像などのデータをやり取りして、他のユーザーとコミュニケーションできるサービスです。
お買い上げ時は、Facebook、Twitter、Google トークを利用するためのアプリケーションが本機にインストールされています。これらのアプリケーションを利用して、SNSをお楽しみいただけます。

5

SNSをご利用になる前に

- 各サービスのご利用には、アカウント登録が必要です。登録を行ってからご利用ください。
- 各サービスの詳細については、各オンラインヘルプをご確認ください。
- 各サービスによって、提供する内容が異なりますのでご注意ください。

Facebookを利用する

Facebookとは、会員制の情報共有サイトで、プロフィールを公開することで友達とコミュニケーションできるサービスです。詳細については、Facebookのオンラインヘルプなどをご確認ください。

1 を押す→「Facebook」

初回利用時は、画面の指示に従ってログインしてください。

お知らせ

- Facebookのトップ画面で☰→「設定」を選択すると、更新間隔やお知らせの設定などができます。

Twitterを利用する

Twitterとは、つぶやき（ツイート）と呼ばれる最大140文字までのメッセージを投稿したり、他のユーザーのつぶやきを閲覧したりできるサービスです。
お買い上げ時は、「Twitter」がインストールされています。

Twitterを使用する

1 **を押す→「Twitter」**

初回利用時は、画面の指示に従ってログインしてください。

お知らせ

- Twitterのトップ画面で☰→「設定」を選択すると、同期の設定や更新間隔の設定などができます。

Googleトークを利用する

Googleトーク（Android向け）とは、会員同士でテキストチャットができるサービスです。携帯電話やウェブサイトで、Googleトークを利用している他のユーザーとチャットができます。

- Googleトークを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（P.4-2）を行ってください。

Googleトークにログインする

1 **を押す→「トーク」**

お知らせ

- Googleトークの画面で☰→「設定」を選択すると、ログインの設定や通知の設定などができます。
- Googleトークの詳細については、Googleトークの画面で☰→「設定」→「利用規約とプライバシー」→「Help Center」を選択してTalk Help（英語で表示）をご確認ください。

5

6
メール

メールについて

本機で使用できるメールには次の種類があります。

■ EMnetメール

EMnetメールは、EMnetメールのアドレス（@emnet.ne.jp）を使用して、イー・モバイル携帯電話だけでなく他社の携帯電話やパソコンなどとメールの送受信ができます。

■ SMS

SMS（テキストメッセージ）は、SMSに対応した携帯電話との間で、携帯電話番号を宛先としたメッセージの送受信ができます。SMSは全角70文字、半角160文字まで送信できます。

■ Gmail

Gmailは、Googleのウェブメールサービスです。同期設定によって、本機のGmailとウェブ上のGmailを自動で同期できます（P.4-3）。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。

■ Eメール

パソコンで使用されているEメール（POP3／IMAP4）に対応しており、会社や自宅のパソコンと同じEメールを送受信できます。また、添付ファイルにも対応しています※。

※：すべての添付ファイルについて動作を保証するものではありません。

- Eメールを使用するには、事前にEメールアカウントを設定する必要があります（P.6-13）。
- 本機でEメールを送受信すると、本機とメールサーバーとで同期が行われ、「受信トレイ」などをメールサーバーと同じ状態に保つように動作します。

お知らせ

- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定することで、擬似的にメールを自動受信できますが、サーバーに接続するたびに料金がかかる場合があります。
- Eメールは、送信するときもメールサーバーとの同期が必要です。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。
- 通信料金については、お問い合わせ先（P.13-20）までご連絡ください。

EMnetメールを利用する

EMnetメールのアドレス（@emnet.ne.jp）を使用して、メッセージや画像などの送受信ができます。絵文字やデコレーションメールも利用できます。
EMnetメールアプリケーションを利用すると、EMnetメール／SMSを送受信でき、統合されたメールボックスで管理できます。

- EMnetメールを利用するには別途EMnetへの加入が必要です。ただし、SMSのみを利用の場合はその限りではありません。

お知らせ

- 別途パケット通信料がかかります。

EMnetメールを作成／送信する

1 [キー] を押す→「EMnetメール」→「MMS作成」

MMS作成画面が表示されます。

2 「To」欄をタップ→メールアドレスを入力

- 名前やメールアドレスなどの一部を入力すると、一致する連絡先が表示されます。表示された連絡先をタップすると、宛先に追加できます。
- 複数の相手に送信する場合は、メールアドレスをカンマ（,）で区切ります。

■ 連絡先／送信履歴／受信履歴から宛先を選択する場合

1 [アイコン] →「連絡先から選択」／「送信履歴から選択」／「受信履歴から選択」→送信する連絡先をタップ

3 件名欄をタップ→件名を入力

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

5 「送信」

- 「保存」をタップすると作成中のメールを下書きとして保存します。「破棄」をタップすると削除されます。

EMnetメール作成画面のメニュー

EMnetメール作成画面で ≡ を押すと、次のメニューが表示されます。

- カーソルの位置によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
Ccを追加	Ccを追加します。
Bccを追加	Bccを追加します。
添付	添付ファイルを選択してメールに添付します。 •「画像」／「動画」／「オーディオ」を選択した場合は、「ギャラリー」、プリセットされたオーディオからファイルを選択します。 •「写真撮影」／「ムービー撮影」を選択し、静止画／動画を撮影→「OK」で撮影した写真や動画を添付できます。 •「音声録音」→「音声レコーダー」を選択し、音声録音して、「この録音を保存」をタップすると、録音したデータを添付できます。 •「音声録音」→「音楽トラックを選択」を選択し、音楽トラックを選択→「OK」で音楽トラック添付できます。 •「スライドショー」を選択し、スライドを編集して、添付できます。
絵文字を挿入	件名や本文に絵文字を挿入します。
破棄	作成中のメールを破棄します。

6

送受信したEMnetメールを確認／利用する

EMnetメールを確認する

1 **を押す→「EMnetメール」**

メールボックス画面が表示されます。

2 **目的のフォルダをタップ**

EMnetメール一覧画面

5 確認するメールをタップ

EMnetメール詳細画面

お知らせ

- EMnetメールを受信すると、ステータスバーに が表示されます。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。

EMnetメール一覧画面のメニュー

EMnetメール一覧画面で ≡ をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
MMS作成		EMnetメールを作成します。
SMS作成		SMSを作成します。
新着確認		メールサーバに新着メールの問い合わせをします。新着メールがあるときは、通知が送信されます。
絞込み		絞込み条件を設定してメールを検索します。
全て選択		一覧画面のメールをすべて選択します。 • 未読にする／メッセージを保護／削除／移動を選択できます。
その他	全て削除	一覧のメールをすべて削除します。
	全て移動	一覧のメールをすべて移動します。
	検索	メールを検索します。
	フォルダを表示	フォルダ一覧が表示され、選択したフォルダに移動できます。

EMnetメール一覧画面でメールをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
編集	選択したメールを編集します。
返信	選択したメールの送信者を宛先にして返信します。
全員に返信	選択したメールの送受信者全員を宛先にして返信します。
転送	選択したメールを転送します。

6

項目	説明
メッセージを削除	選択したメールを削除します。
メッセージを移動	選択したメールを別のフォルダに移動します。
未読／既読にする	選択したメールの未読／既読を設定します。
メッセージを保護／保護解除	選択したメールを保護／保護解除します。
メッセージの詳細を表示	選択したメールのヘッダ情報を表示します。

6

EMnetメール詳細画面のメニュー

EMnetメール詳細画面で ≡ をタップすると、次のメニューが表示されます。

• 内容によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
メッセージを保護／保護を解除		メールを保護／保護解除します。
返信		選択したメールの送信者を宛先にして返信します。
全員に返信		選択したメールの送受信者全員を宛先にして返信します。
転送		選択したメールを転送します。
メッセージを削除		選択したメールを削除します。
その他	メッセージの詳細を表示	選択したメールのヘッダ情報を表示します。
	添付ファイルをSDカードにコピー	選択したメールの添付ファイルをmicroSDカードに保存します。
	フォルダを表示	フォルダ一覧が表示され、選択したフォルダに移動できます。
	XXXXXXXXXXXさんにメールを送信	メールを作成して送信します。
	連絡先にXXXXXXXXXXXさんを追加	連絡先に登録します。

EMnetメールに返信する

1 メール詳細画面で ≡→「返信」／「全員に返信」

2 原文の引用を選択→「OK」

• 「今後は表示しない」にチェックを付けると、次回以降は表示されません。
• 「EMnetメールを作成／送信する」（P.6-3）の操作2に進みます。

EMnetメールを転送する

1 **EMnetメール詳細画面で ≡→「転送」**

- 「EMnetメールを作成／送信する」（P.6-3）の操作2に進みます。

EMnetメールを削除する

1 **EMnetメール詳細画面で「削除」**

送受信したEMnetメールを管理する

フォルダを作成したり、振り分け設定をしたりして、送受信したメールを管理します。

1 **を押す→「EMnetメール」**

メールボックス画面

メールボックス画面のメニュー

メールボックス画面で ≡ をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
MMS作成		EMnetメールを作成します。
SMS作成		SMSを作成します。
フォルダ作成		フォルダを作成します。
新着確認		新着メールを確認します。
設定		EMnetメール設定を行います。
その他	**振り分け設定**	メール振り分けを設定します。
	ヘルプ	EMnetメールのモバイルヘルプに接続します。
	検索	文章を入力してメールを検索します。

フォルダを作成する

1 **メールボックス画面で ≡→「フォルダ作成」→フォルダ名を入力→「OK」**

メールボックス画面に追加したフォルダが表示されます。

■ フォルダ名を変更する場合

1 メールボックス画面で変更するフォルダを長押し→フォルダ名を入力→「OK」

■ フォルダの位置を変更する場合

1 メールボックス画面で変更するフォルダを長押し→「1つ上へ」／「1つ下へ」

6

■ フォルダを削除する場合

1 メールボックス画面で削除するフォルダを長押し→「フォルダ削除」→「削除」をタップします。
- メールが保存されているフォルダを選択するとメールも削除されます。

お知らせ

- お買い上げ時に作成されているフォルダは、フォルダ名変更や削除はできません。

メール振り分けを設定する

6

メール振り分けを設定すると、送受信メールを設定した条件でフォルダに振り分けされます。

1 メールボックス画面で ≡ →「その他」→「振り分け設定」

メール振り分け設定画面が表示されます。

2 「新規振り分けを追加する」→振り分け名を入力→目的の振り分け条件を設定→「OK」

■ 振り分け名を変更する場合

1 振り分け名を変更するフォルダをタップ→振り分け名を変更→「OK」

■ 振り分け条件を削除する場合

1 振り分けを削除するフォルダをロングタッチ→「振り分け削除」→「削除」

EMnetメールの各種設定を行う

1 を押す→「EMnetメール」

2 ≡ →「設定」

3 項目を設定

項目		説明
ソフトウェアのバージョン		EMnetメールのバージョンを表示します。
表示の設定	スレッド表示	メール／SMSの表示をスレッド表示にするかどうかを設定します。
	メッセージ作成を表示	メールボックス画面に「MMS作成」「SMS作成」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信・保存・破棄を表示	メール／SMS作成画面に「送信」「保存」「破棄」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信確認	送信時に送信確認を表示させるかどうかを設定します。
	文字サイズ	文字サイズを設定します。
フォルダ設定	メール振り分け	メール振り分け頻度を設定します。
	ごみ箱自動削除	破棄したメールをごみ箱から削除する日数を設定します。

項目		説明
MMS設定	原文の引用	返信するときに、メールの文章を引用するかどうかを設定します。
	自動で取得	EMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。
	ローミング時に自動取得	海外でEMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。
	Wi-Fiテザリング時に取得	Pocket Wi-Fi設定中にEMnetメールを自動取得するかどうかを設定します。
通知設定	通知	メール／SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。
	着信音を選択	メール／SMSを受信したときの通知音を設定します。
	バイブレーション	メール／SMS受信時のバイブレーション動作を設定します。 • バイブレーションを「使用しない」以外に設定する場合は、「バイブ」（P.1-27）も合わせて設定する必要があります。
通知設定	バイブレーションパターン	メール／SMS受信時のバイブレーションのパターンを設定します。

項目		説明
その他の設定	SDカードに保存	microSDカードに保存するかどうかを設定します。
	メッセージをインポート	microSDカードからメールをインポートします。
	メッセージをエクスポート	microSDカードにメールをエクスポートします。
	送受信履歴を削除	送受信履歴を削除します。
	WEB設定	メールサーバに接続して、WEB設定を行います（P.6-10）。

6

WEB設定を行う

メールサーバに接続して、EMnetメールのメールアドレスを変更したり、メール設定の情報を確認したりできます。

1 を押す→「EMnetメール」

2 ≡→「設定」

3 「WEB設定」→ネットワーク暗証番号を入力→「ログイン」

4 目的の設定を行う

- 項目選択後の操作については、画面の指示に従ってください。

項目	説明
メールアドレス変更	EMnetメールの初期設定を行うと自動でメールアドレスが決定されますが、メールアドレスの@より前の部分は文字列を組み合わせて変更できます。
メールフィルタ	指定したメールアドレスについて、受信拒否／許可を設定します。
メールヘッダ閲覧	受信メールのヘッダ情報（宛先、差出人、日付、件名など）を確認します。
EMnetメール設定確認	EMnetメールの設定情報を確認します。

6

SMSを利用する

通話履歴や連絡先から、SMSを作成／送信することもできます（P.2-6、P.3-7）。

SMSの表示を切り替える

SMSの設定で「スレッド表示」にチェックを付けると、メール／SMS は送受信した相手ごとにスレッド表示されます。スレッド表示に設定するとSMSがより見やすくなります。

- お買い上げ時の状態では、一覧表示画面が表示されたり、一覧表示画面のメニューが表示されたりします。詳細については、「送受信したEMnetメールを確認／利用する」（P.6-4）をご参照ください。

1 を押す→「EMnetメール」

2 ≡→「設定」→「スレッド表示」にチェックを付ける

スレッド一覧画面が表示されます。

- スレッド一覧画面ではEMnetメール／SMSがすべてスレッド表示されます。

SMSを作成／送信する

1 を押す→「EMnetメール」

2 「SMS作成」

SMS作成画面が表示されます。

3 「To」欄をタップ→携帯電話番号を入力

■ 連絡先／送信履歴／受信履歴から宛先を選択する場合

1 ◎→「連絡先から選択」／「送信履歴から選択」／「受信履歴から選択」→送信する連絡先をタップ

4 メッセージ欄に本文を入力

■ 絵文字を挿入する場合

1 ☰→「絵文字を挿入」→絵文字を選択

■ 作成を中止する場合

1 ☰→「破棄」

5 「送信」

受信したSMSを確認する

1 ⊞ を押す→「EMnetメール」

2 スレッド一覧画面で確認するスレッドをタップ

選択した相手ごとのスレッド詳細画面が表示されます。

■ スレッド一覧に戻る場合

1 スレッド詳細画面で ☰→「スレッド一覧」

■お知らせ

- SMS を受信すると、SMS を受信した旨のメッセージが表示され、ステータスバーに m が表示されます。

スレッド一覧画面のメニュー

スレッド一覧画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
MMS作成		EMnetメールを作成します。
SMS作成		SMSを作成します。
新着確認		新着メールを確認します。
設定		EMnetメール設定を行います。
ヘルプ		EMnetメールのモバイルヘルプに接続します。
その他	スレッドを削除	スレッドを削除します。
	検索	文章を入力してメールを検索します。

スレッド詳細画面のメニュー

SMSのスレッド詳細画面で☰をタップすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
発信	SMSの相手に電話をかけます。
絵文字を挿入	SMSに絵文字を挿入します。
スレッドを削除	スレッド全体を削除します。
スレッド一覧	スレッド一覧画面を表示します。
連絡先を追加	SMSの相手を連絡先に追加します。

SMS のスレッド詳細画面でSMS をロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- 内容によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
メッセージを保護／保護を解除		SMSを保護／保護解除します。
返信		選択したSMSの送信者を宛先にして返信します。
全員に返信		選択したSMSの送受信者全員を宛先にして返信します。
転送		選択したSMSを転送します。
メッセージを削除		選択したSMSを削除します。
その他	**メッセージの詳細を表示**	やり取りしている相手の宛先や送受信日時などを表示します。
	メッセージテキストをコピー	メッセージの本文すべてをコピーします。
	フォルダを表示	フォルダ一覧が表示され、選択したフォルダに移動できます。
	XXXXXXXXXXXに発信	XXXXXXXXXXXに電話をかけます。
	連絡先にXXXXXXXXXXXさんを追加	XXXXXXXXXXXを連絡先に登録します。

6

SMSを設定する

1 を押す→「EMnetメール」

2 ≡→「設定」

3 項目を設定

項目		説明
表示の設定※	**スレッド表示**	メール／SMSの表示をスレッド表示にするかどうかを設定します。
	メッセージ作成を表示	メールボックス画面に「MMS作成」「SMS作成」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信・保存・破棄を表示	メール／SMS作成画面に「送信」「保存」「破棄」のボタンを表示させるかどうかを設定します。
	送信確認	送信時に送信確認を表示させるかどうかを設定します。
	文字サイズ	文字サイズを設定します。
SMS設定	**原文の引用**	返信するときに、SMSの文章を引用するかどうかを設定します。
	受取確認通知	相手がSMSを開封したときに通知されるように設定します。
	SIMカードのメッセージ	EM chipに保存されているSMSを管理します。
通知設定※	**通知**	メール／SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。

項目		説明
通知設定※	着信音を選択	メール／SMSを受信したときの通知音を設定します。
	バイブレーション	メール／SMS受信時のバイブレーション動作を設定します。 • バイブレーションを「使用しない」以外に設定する場合は、「バイブ」（P.1-27）も合わせて設定する必要があります。

※：EMnetメール設定にも反映されます。

Gmailを利用する

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（P.4-2）を行ってください。

1 ホーム画面で→「Gmail」または［ボタン］を押す→「Gmail」

Gmail画面が表示されます。

■お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmail画面で☰→「その他」→「ヘルプ」を選択して、モバイルヘルプをご確認ください。

Eメールを利用する

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得し、簡単に設定できます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウントの設定情報をご確認ください。

1 ［ボタン］を押す→「メール」

2 メールアドレスとパスワードを入力→「次へ」

Eメールアカウントの設定が自動的に取得されます。

- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定してください。

■ 手動で設定する場合

1. メールアドレスとパスワードを入力→「手動セットアップ」
2. 画面の指示に従って設定

3 アカウント名などを入力→「完了」

Eメールアカウントを追加する

1 ■ を押す→「メール」

Eメール一覧画面が表示されます。

- Eメールアカウント一覧画面が表示された場合は、操作3に進みます。

2 ≡→「アカウント」

Eメールアカウント一覧画面が表示されます。

3 ≡→「アカウントを追加」

「Eメールアカウントを設定する」（P.6-13）の操作2に進みます。

Eメールアカウントを管理する

1 ■ を押す→「メール」

Eメール一覧画面が表示されます。

- Eメールアカウント一覧画面が表示された場合は、Eメールアカウントを選択します。

2 ≡→「アカウントの設定」

3 項目を設定

- Eメールアカウントによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
アカウント名	アカウント名を設定します。
名前	ユーザー名を設定します。
署名	署名を登録します。登録すると、Eメール作成時に自動的に追加されます。
受信トレイの確認頻度	新着メールを自動受信する時間の間隔を設定します。
優先アカウントにする	送信時、通常のアカウントとして使用するかどうかを設定します。 • チェックを付けると、Eメールアカウント一覧画面の設定したアカウントにチェックマークが表示されます。
メール着信通知	Eメールを受信したとき、ステータスバーに通知アイコンを表示するなどして通知するかどうかを設定します。
着信音を選択	Eメールを受信したときの通知音を選択します。
バイブレーション	Eメールを受信したときのバイブレーション動作を選択します。 • バイブレーションを「使用しない」以外に設定する場合は、「バイブ」（P.1-27）も合わせて設定する必要があります。
受信設定	受信サーバーの設定を変更します。
送信設定	送信サーバーの設定を変更します。

■お知らせ

- Eメールアカウントを削除する場合は、Eメール一覧画面で☰→「アカウント」→削除するEメールアカウントをロングタッチ→「アカウントを削除」→「OK」を選択します。

Eメールを作成／送信する

1 [キー]を押す→「メール」

Eメール一覧画面が表示されます。

- Eメールアカウント一覧画面が表示された場合は、Eメールアカウントを選択します。

2 ☰→「作成」

Eメール作成画面が表示されます。

3 「To」欄にメールアドレスを入力

- 連絡先に登録している名前やメールアドレスなどの一部を入力すると、一致する連絡先が表示されます。連絡先を選択すると、宛先に追加できます。
- 複数の相手に送信する場合は、カンマ（,）で区切ります。

■ Cc／Bccを追加する場合

1 ☰→「Cc／Bccを追加」

2 「Cc」「Bcc」欄にメールアドレスを入力

4 「件名」欄に件名を入力

5 メッセージ欄に本文を入力

■ ファイルを添付する場合

1 ☰→「添付ファイルを追加」

2 添付するファイルを選択

- 「ギャラリー」で[カメラ]をタップするとカメラが起動し、静止画を撮影できます。

6 「送信」

送信ボタンを押すと送信します。

■お知らせ

- 作成中のEメールを下書き保存する場合は、Eメール作成画面で「下書き保存」を選択します。
- 作成中のEメールを破棄する場合は、Eメール作成画面で「破棄」を選択します。
- 他の携帯電話やパソコンなどとメールを送受信した場合、メールの内容が正しく表示されない場合があります。

受信したEメールを確認する

1 ［アプリ］を押す→「メール」

Eメール一覧画面が表示されます。

- Eメールアカウント一覧画面が表示された場合は、Eメールアカウントを選択します。

Eメール一覧画面

1 **未読メール**
背景が灰色で表示されます。

2 **既読メール**
背景が黒色で表示されます。

3 **チェックボックス**
タップするとチェックが付き、メールオプションが表示されます。

4 **アカウント名**
複数のEメールアカウントが登録されている場合、☰→「アカウント」をタップするとEメールアカウント一覧画面が表示されます。

5 **スター**
☆（グレー）／★（黄色）をタップすると、スターを付ける／外すことができます。Eメールアカウント一覧画面で「スター付き」を選択すると、スターを付けたEメールを確認できます。

6 **メールオプション**
チェックを付けたEメールをまとめて未読／既読にしたり、スターを付けたり、削除したりします。

2 **Eメールを選択**

Eメール詳細画面が表示されます。

■お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーに が表示されます。
- Eメールアカウント一覧画面で「統合受信トレイ」を選択すると、すべてのEメールアカウントの受信メールを一覧で確認できます。
- Eメール詳細画面で →「未読にする」を選択すると、Eメールを未読の状態にできます。
- ファイルが添付されているEメールには、Eメール一覧画面で が表示されます。Eメール詳細画面を表示し、ファイル名の下に表示されている「開く」を選択すると、ファイルを開いて確認できます。「保存」を選択すると、ファイルをmicroSDカードに保存できます※。

  ※：添付ファイルは、microSDカードを取り付けているときのみ保存できます。
- Eメール詳細画面で画面上部の ／ を選択すると、前／次のEメールを表示します。
- Eメール詳細画面で送信者名をタップすると、クイックコンタクトアイコンが表示されます（P.3-3）。連絡先に登録されていない場合は、連絡先に追加できます。

Eメールを削除する

1 Eメール詳細画面で「削除」

Eメールに返信する

1 Eメール詳細画面で「返信」／「全員に返信」

Eメール作成画面が表示されます。

2 メッセージ欄に本文を入力

3 「送信」

Eメールを転送する

1 Eメール詳細画面で →「転送」

Eメール作成画面が表示されます。

2 「宛先」欄にメールアドレスを入力

3 メッセージ欄に本文を入力

4 「送信」

Eメール一覧画面のメニュー

Eメール一覧画面で ☰ を押すと、次のメニューが表示されます。

- Eメールの内容によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
更新	手動で新着メールを受信し、本機のEメールとメールサーバーを同期します。
作成	Eメールを作成します。
選択をすべて解除	チェックボックスのチェックをすべて外します。
フォルダ	Eメールをフォルダ別に表示します。
アカウント	Eメールアカウント一覧画面を表示します。
アカウントの設定	Eメールアカウントを設定します（P.6-13）。

接続

7

インターネットへ接続する

本機では、インターネット接続やテザリング機能が利用できます。

■ 本機からインターネットへ接続する

- 3Gパケット通信接続（P.7-2）
- Wi-Fiネットワーク接続（P.7-4）

■ 本機からローカルネットワークにアクセスする

- VPN（Virtual Private Network）接続（P.7-9）

■ 他の通信機器から本機を経由してインターネットへ接続する

- Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）
- USBテザリング（P.7-8）

7

3Gパケット通信を使って接続する

3Gパケット通信を利用してインターネットへ接続できます。

- お買い上げ時は、次の 6 つのアクセスポイントが設定されています。

EMnet	EMnet契約時に利用できる接続先です。
My EMOBILE	オンラインサポートサイト「My EMOBILE」専用の接続先です。接続にかかる通信料は無料です。
プロトコル制限あり（B）	ファイル交換（P2P）やオンラインゲーム、動画の一部など、一部利用できない通信（プロトコル）があります。
プロトコル制限なし	通信（プロトコル）制限のない接続先です。
プロトコル制限なし（N）	通信（プロトコル）制限のない、スマートフォン用の接続先です。
EMnetメール	EMnetメールアプリ専用の接続先です。

- 「EMnetメール」は、EMnetメールアプリ専用の接続先のため、お客さまは選択できません。

利用するアクセスポイントを切り替える

1 **ホーム画面で☰→「設定」→「無線とネットワーク」**

2 **「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」**

APN画面が表示されます。

3 **利用するAPNを選択**

新しいアクセスポイントを作成する

本機に新しいアクセスポイントを追加します。

1 **APN画面で☰→「新しいAPN」**

2 **APN設定を編集→☰→「保存」**

- 編集を中止する場合は、☰→「破棄」を選択します。

アクセスポイントを編集／削除する

すでに保存されているAPN設定を編集／削除します。

1 **APN画面で編集／削除するAPN設定を選択**

2 **APN設定を編集／削除**

■ 編集する場合

1 APN設定を編集→☰→「保存」

- 編集を中止する場合は、☰→「破棄」を選択します。

■ 削除する場合

1 ☰→「APNを削除」

お知らせ

- APN設定の際に、MCC／MNCを440／00以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、APN画面で☰→「初期設定にリセット」を選択するか、APN画面で☰→「新しいAPN」を選択して、再度APNの設定を行ってください。

アクセスポイントの設定をリセットする

APN設定をお買い上げ時の設定内容に戻します。

1 APN画面で ≡ →「初期設定にリセット」

■ お知らせ

- リセットすると、お客さまが追加したAPN設定は削除されます。

Wi-Fiを使って接続する

Wi-Fiを利用してインターネットへ接続できます。

- 本機で対応している無線LAN規格は次のとおりです。
  IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n
- 本機で対応している暗号化方式は次のとおりです。
  WEP、WPA/WPA2 PSK（TKIP/AES）

■ お知らせ

- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的に3Gネットワーク接続に切り替わります。

Wi-FiをONにして、Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ≡ →「設定」→「無線とネットワーク」

2 「Wi-Fi」にチェックを付ける

利用可能なWi-Fiネットワークを自動でスキャンします。

7

3 「Wi-Fi設定」

Wi-Fi設定画面

1 検出されたアクセスポイントが表示されます。
2 セキュリティで保護されていることを示します。
3 電波強度を示します。

4 接続するWi-Fiネットワークを選択

5 ネットワークに接続

■ オープンネットワークに接続する場合

1 「接続」

■ セキュリティで保護されているネットワークに接続する場合

1 パスワードを入力→「接続」

Wi-Fiネットワークを切断する

1 Wi-Fi設定画面で切断するWi-Fiネットワークを選択

2 「切断」

Wi-Fiネットワークの状況を確認する

現在のWi-Fiの接続状況を確認できます。

- ステータスバー
  本機がWi-Fiネットワークに接続されている場合、ステータスバーに が表示され、電波強度が示されます。
- Wi-Fiネットワーク
  Wi-Fi設定画面で、「Wi-Fiネットワーク」欄に表示されているネットワーク名を選択すると、接続状況、セキュリティ、電波強度などの情報が表示されます。

■お知らせ

- 利用可能なWi-Fiネットワークを手動でスキャンする場合は、Wi-Fi設定画面で☰→「スキャン」を選択します。
- Wi-Fi設定画面の「Wi-Fiネットワーク」欄に接続するネットワークが表示されていない場合は、アクセスポイントを設定してください（P.7-6）。

7

アクセスポイントを設定する

- 設定に必要な情報は、お使いのWi-Fiアクセスポイントの取扱説明書をご参照ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fiネットワークを追加」

2 SSIDを入力し、セキュリティを設定

3 「保存」

Wi-Fiの詳細設定をする

Wi-Fiオープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが検出されたことを通知するように設定できます。

- Wi-FiがONの状態でWi-Fiネットワークに接続していない場合に通知します。

1 Wi-Fi設定画面で「ネットワークの通知」にチェックを付ける

- 利用可能なオープンネットワークが検出されると、ステータスバーに を表示して通知します。

7

Wi-Fiのスリープ設定をする

Wi-FiをONにしている場合、本機の状態に応じて、Wi-FiのON／OFFを一時的に切り替えるように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面で ☰ →「詳細設定」

2 「Wi-Fiのスリープ設定」

3 項目を選択

項目	説明
画面がOFFになったとき	画面がOFFに切り替わったときにWi-FiをOFFにします。
電源接続時はスリープにしない	充電時に常にWi-FiをONにします。
スリープにしない	常にWi-FiをONにします。

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本機を設定できます。

1 Wi-Fi設定画面で ☰ →「詳細設定」

2 「静的IPを使用する」にチェックを付ける

3 必要な項目を選択して入力

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用する

Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用すると、他の通信機器から本機の3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- Pocket WiFiで対応している無線LAN規格は次のとおりです。
  IEEE802.11b、IEEE802.11g
- 他の通信機器から本機に同時に接続できるのは、最大5台までです。

1 ホーム画面で [⁝⁝⁝ ◉] を長押し

ステータスバーに が表示され、Pocket WiFiが有効になります。

■ Pocket WiFiの設定を解除する場合

1 Pocket WiFiが有効である場合、[⁝⁝⁝ ◉] を長押し

■ お知らせ

- Wi-Fiネットワーク接続中にPocket WiFiを有効にすると、3Gパケット通信に切り替わります。
- ホーム画面で ☰ →「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリングとPocket WiFi」→「Pocket WiFi」にチェックを付けても、Pocket WiFiを有効にできます。

SSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する

お買い上げ時は、SSIDは「PocketWiFi」、セキュリティ（パスワード）は「WPA2 PSK」（8桁の数字）が設定されています。

- Pocket WiFiで設定できる暗号化方式はWPA2 PSK（AES）です。

1 Pocket WiFi設定画面で

2 「Pocket WiFiのセキュリティ設定」

3 SSIDおよびセキュリティ（パスワード）を確認する

- 「パスワードを表示」にチェックを付けると、パスワードを表示します。

■ SSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更する場合

1 SSIDおよびセキュリティ（パスワード）を変更→「保存」

■お知らせ

- 「データの初期化」（P.1-45）を行うと、パスワードも初期化されます。

7

USBテザリングを利用する

USBケーブルを使用して、本機と他の通信機器を接続します。設定を行うと、他の通信機器から本機の3Gパケット通信を経由して、インターネットへ接続できるようになります。

- 本機と接続可能なパソコンの動作環境は、「本機とパソコンなどの外部機器を接続する」（P.1-13）をご参照ください。
- Windows Vista、Windows 7をお使いになるときは、そのまま接続して利用できます。Windows XPをお使いになるときは、あらかじめウェブ上から最新のMicrosoft ActiveSyncをダウンロードし、お使いのパソコンにインストールしてください。
- USBテザリングの詳細については、ホーム画面で☰→「設定」→「無線とネットワーク」→「テザリングとPocket WiFi」→「ヘルプ」をご確認ください。

1 本機と通信機器をUSBケーブルで接続

- 「本機とパソコンなどの外部機器を接続する」（P.1-13）をご参照ください。
- パソコンと接続すると「USBマスストレージ」と画面に表示されることがありますが、⮌ を押して、この画面を閉じてください。

2 ホーム画面で ☰→「設定」

3 「無線とネットワーク」→「テザリングとPocket WiFi」

- 「USBテザリング」の下にUSB接続済みであることが表示されていることを確認してください。

4 「USBテザリング」にチェックを付ける

ステータスバーに が表示されます。

■ USBテザリングの設定を解除する場合

1 「USBテザリング」のチェックを外す

お知らせ

- USBテザリングの設定を解除した後、本機をパソコンから取り外すときは、パソコン側のタスクトレイで本機の安全な取り外しを行ってからUSBケーブルを取り外してください。
- USBテザリング設定中は、本機のmicroSDカードをUSBストレージとして利用できません。

VPNに接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本機からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手する必要があります。

- 本機で対応しているVPNプロトコルは次のとおりです。ただし、すべての環境で動作を保証するものではありません。
  PPTP、L2TP、L2TP/IPSec PSK、L2TP/IPSec CRT

7

VPNを追加する

1 ホーム画面で ≡ →「設定」

2 「無線とネットワーク」→「VPN設定」

VPN設定画面が表示されます。

3 「VPNの追加」→追加するVPNの種類を選択

4 ネットワーク管理者の指示に従い、必要な項目を設定

- ≡→「キャンセル」を選択すると、設定を中止します。

5 ≡→「保存」

VPNに接続する

1 VPN設定画面で接続するVPNを選択

2 必要な認証情報を入力→「接続」

VPNに接続するとステータスバーに が表示されます。

7

VPNを切断する

1 VPN設定画面で切断するVPNを選択

VPNが切断されます。

VPN設定画面のメニュー

VPN設定画面でVPNをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
ネットワークに接続	VPNに接続します。
ネットワークから切断	VPNを切断します。
ネットワークの編集	VPN設定の各項目を編集します。
ネットワークを削除	VPNを削除します。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、ウェブページを閲覧できます。
- ウェブページによっては、表示できない場合や正しく表示されない場合があります。

ブラウザを起動する

1 [ブラウザキー] **を押す**

ブラウザ画面が表示されます。
- [アプリケーションキー] を押す→「ブラウザ」を選択しても、ブラウザ画面を表示できます。

ブラウザ画面

1 アドレスバー
選択すると、キーボードが表示されます。表示するウェブページのURLや、検索するキーワードを入力します。

2 ブックマーク／閲覧履歴
ブックマーク一覧画面を表示します。

お知らせ
- アドレスバーを選択した後や、アドレスバーに文字列を入力している途中に、入力履歴や入力候補が表示されることがあります（サジェスト機能）。表示されたウェブページを選択すると、そのウェブページに接続します。

ブラウザ画面表示中の操作

ブラウザ画面では、次の操作ができます。
- 表示中のウェブページによっては、操作できない場合があります。

目的	操作
ページをスクロールする	画面を上／下／左／右にスライドします。[トラックボール]でスクロールすることもできます。
前の画面に戻る	[戻るキー]を押します。
ページを縮小表示／拡大表示する	画面をスライドすると、[縮小][拡大]が表示されます。[縮小]をタップすると縮小表示、[拡大]をタップすると拡大表示します。

7

目的	操作
ページを全体表示する	画面をダブルタップします。 • 全体表示している状態でダブルタップすると、拡大表示します。

ブラウザ画面のメニュー

ブラウザ画面で☰を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
新しいウィンドウ	新しいウィンドウでウェブページを開きます。最大8つまで開くことができます。 • すでに8つのウィンドウを開いている場合は、選択できません。
ブックマーク	ブックマーク一覧画面を表示します。
ウィンドウ	複数のウィンドウを開いている場合、ウィンドウを切り替えてウェブページを表示できます。 • ウィンドウを閉じるには、閉じるウィンドウの☒をタップします。 • 新しいウィンドウを開くには「新しいウィンドウ」を選択します。
再読み込み／停止	ウェブページの情報を更新／更新停止します。
進む	⮌を押してウェブページを表示中の場合に、直前のウェブページに戻ります。

項目		説明
その他	ブックマークを追加	ウェブページをブックマークに追加します（P.7-13）。
	ページ内検索	ウェブページ内のテキストを検索します。検索する文字列を入力すると、一致する文字列が緑色でハイライト表示されます。◀／▶をタップすると、前／後の一致項目に進みます。
	テキストを選択してコピー	ウェブページ内のテキストをコピーします。コピーするテキストの開始位置から終了位置までをドラッグすると、テキストがハイライト表示されます。画面から指を離すとテキストがコピーされます。 • 1回の操作でコピーできる件数は1件のみです。
	ページ情報	ウェブページのURLなどを表示します。
	ページを共有	ウェブページのURLなどを、Bluetooth（P.7-20）やメールなどで送信します。
	ダウンロード履歴	ダウンロード済みやダウンロード中のデータの情報を確認します。
	設定	ブラウザの設定を行います（P.7-15）。

ウェブページのリンクを利用する

1 ブラウザ画面でリンクをロングタッチ

2 項目を選択

- リンクによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新しいウィンドウで開く	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
リンクをブックマーク	ブックマークに追加します。
リンクを保存	ウェブページをmicroSDカードに保存します。 • 保存したウェブページは、ブラウザ画面で☰→「その他」→「ダウンロード履歴」を選択して確認できます。 • microSDカードを取り付けているときのみ保存できます。
リンクを共有	ウェブページのURLなどを、Bluetooth（P.7-20）やメールなどで送信します。
URLをコピー	ウェブページのURLをコピーします。

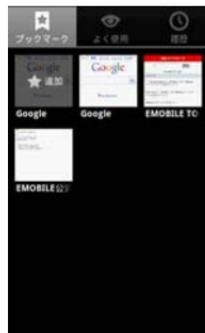
項目	説明
画像を保存	画像をギャラリーに保存します。 • microSDカードを取り付けているときのみ保存できます。
画像を表示	画像を表示します。
壁紙として設定	画像をホーム画面の壁紙に設定します。
メールを送信	メールを作成して送信できます。
コピー	メールアドレスをコピーします。

ブックマークと閲覧履歴を管理する

ブックマークに追加する

1 ブラウザ画面でブックマークに追加するウェブページを表示→

ブックマーク一覧画面

7

2 ★が表示されているウェブページを選択

3 「名前」を入力

4 「OK」

ブックマークが保存されます。

■お知らせ

- □が画面に表示されていない場合は、ブラウザ画面で☰→「ブックマーク」を選択すると、ブックマーク一覧画面が表示されます。

ブックマークからウェブページを開く

1 ブックマーク一覧画面で表示するウェブページを選択

よく閲覧するウェブページから開く

1 ブックマーク一覧画面で「よく使用」タブを選択

よく閲覧する履歴画面が表示されます。

2 表示するウェブページを選択

- ★（グレー）／★（黄色）をタップすると、ブックマークに追加／ブックマークから削除できます。

閲覧履歴からウェブページを開く

1 ブックマーク一覧画面で「履歴」タブを選択

閲覧履歴画面が表示されます。

2 表示するウェブページを選択

- ★（グレー）／★（黄色）をタップすると、ブックマークに追加／ブックマークから削除できます。

ブックマーク一覧画面／よく閲覧する履歴画面／閲覧履歴画面のメニュー

ブックマーク一覧画面／閲覧履歴画面で☰を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
最後に表示したページをブックマークする※1	最後に表示したウェブページをブックマークに追加します。
リスト表示／サムネイル表示※1	一覧の表示方法をリスト表示／サムネイル表示に切り替えます。
履歴消去※2	閲覧履歴をすべて削除します。

※1：ブックマーク一覧画面で表示されます。
※2：閲覧履歴画面で表示されます。

ブックマーク一覧画面／よく閲覧する履歴画面／閲覧履歴画面でウェブページをロングタッチすると、次のメニューが表示されます。

- ウェブページによって、表示される項目は異なります。

項目	説明
開く	表示中のウィンドウでウェブページを開きます。
新しいウィンドウで開く	新しいウィンドウでウェブページを開きます。
編集	ブックマークの名前／URLを編集します。
ショートカットを作成	ブックマークへのショートカットをホーム画面に作成します。
ブックマークを追加	ブックマークに追加します。
ブックマークから削除	ブックマークから削除します。
リンクを共有	ウェブページのURLなどを、Bluetooth（P.7-20）やメールなどで送信します。
URLをコピー	ウェブページのURLをコピーします。
履歴から消去	ウェブページを閲覧履歴から消去します。
削除	ブックマークから削除します。
ホームページとして設定	ウェブページをホームページとして設定します。

ブラウザを設定する

1 **ブラウザ画面で ≡ →「その他」→「設定」**

2 **項目を設定**

項目	説明
テキストサイズ	文字のサイズを設定します。
デフォルトの倍率	ウェブページの表示倍率を設定します。
ページを全体表示で開く	新しく開くウェブページを、全体表示するかどうかを設定します。
テキストエンコード	テキストエンコードを設定します。
ポップアップウィンドウ	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
画像の読み込み	ウェブページの画像を表示するかどうかを設定します。
ページの自動調整	画面に合わせて、ウェブページを調整するかどうかを設定します。
常に横向きに表示	ウェブページの表示方向を常に横向きに表示するかどうかを設定します。
JavaScriptを有効にする	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
プラグインを有効にする	プラグインを有効にするかどうかを設定します。

項目	説明
バックグラウンドで開く	リンクをロングタッチして「新しいウィンドウで開く」（P.7-13）を選択したとき、表示中のウィンドウの後ろに新しいウィンドウを開くかどうかを設定します。
ホームページ設定	ホームページを設定します。
キャッシュを消去	キャッシュデータを消去します。
履歴消去	ウェブページの閲覧履歴を消去します。
Cookieを受け入れる	Cookieの保存・読み取りを許可するかどうかを設定します。
Cookieをすべて消去	保存されているCookieをすべて消去します。
フォームデータを保存	フォームに入力したデータを保存して、後で呼び出せるようにするかどうかを設定します。
フォームデータを消去	保存されているフォームデータをすべて消去します。
位置情報を有効にする	ウェブサイトに、現在地情報へのアクセスを許可するかどうかを設定します。
位置情報アクセスをクリア	位置情報サービスにアクセスした際に収集したデータを消去します。
パスワードを保存	ウェブページに入力したユーザー名・パスワードを記憶するかどうかを設定します。
パスワードを消去	記憶されているユーザー名・パスワードを消去します。
セキュリティ警告	ウェブページの安全性に問題がある場合に、警告を表示するかどうかを設定します。
ウェブサイト設定	位置情報にアクセスしたウェブページなどの詳細設定を行います。
初期設定にリセット	ブラウザの設定を初期設定に戻します。

Bluetooth機能を利用する

本機とBluetooth対応機器とで、無線でデータをやり取りできます。

- 接続する機器の操作については、機器の取扱説明書などをご参照ください。
- 本機による Bluetooth 接続は、市販されているすべての Bluetooth 対応機器との接続を保証するものではありません。
- 本機のBluetooth機能は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなど、さまざまな機器が運用されています。そのため、他の通信機器との干渉により、通信速度が下がったり、通信距離が短くなったりする可能性があります。干渉が発生した場合には、本機の使用場所を変えるか、干渉元の機器を停止してください。
- 本機の Bluetooth 機能と無線 LAN 対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。

主な仕様と機能

対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.1+EDR準拠
出力	Bluetooth標準規格Power Class2
通信距離※	約10m以内
使用周波数帯	2400MHz～2483.5MHz
対応プロファイル	SDP：Service Discovery Profile A2DP：Advanced Audio Distribution Profile HSP：Headset Profile HFP：Hands-Free Profile OPP：Object Push Profile AVRCP：Audio/Video Remote Control Profile

※：壁などの障害物や電波状況などにより変化する可能性があります。

お知らせ

- Bluetoothでは、テザリング機能を利用できません。

7

Bluetooth機能をONにする

1 ホーム画面で ≡→「設定」→「無線とネットワーク」

2 「Bluetooth」にチェックを付ける

ステータスバーに ✱ が表示されます。

本機を検出可能にする

1 ホーム画面で ≡→「設定」→「無線とネットワーク」

7

2 「Bluetooth設定」

Bluetooth設定画面が表示されます。

3 「検出可能」にチェックを付ける

「検出可能」の下に「120秒間検出可能」と表示され、秒数のカウントダウンが開始されます。120秒を経過すると、検出されなくなります。

端末の名前を変更する

端末の名前によって、Bluetoothネットワークで端末が識別されます。

1 Bluetooth設定画面で「端末名」

2 端末名を入力→「OK」

他のBluetooth対応機器とペアリング／接続する

本機と他のBluetooth対応機器でデータのやり取りが行えるように、他の機器とペアリング／接続を行います。

1 Bluetooth設定画面で「デバイスのスキャン」

「Bluetooth端末」欄に、検出されたBluetooth対応機器が一覧表示されます。

2 ペアリング／接続を行う機器を選択

3 **画面の指示に従いペアリング／接続**

「Bluetooth端末」欄のBluetooth機器名称の下に、ペアリングと接続の状態が表示されます。

- 必要に応じてBluetoothパスキー（認証用コード）を入力します。データのやり取りを行う機器どうしが、同じBluetoothパスキーを入力する必要があります。Bluetoothパスキーは、機器の取扱説明書などをご確認ください。

ペアリング／接続を解除する

1 **Bluetooth設定画面の「Bluetooth端末」欄に表示されているペアリング／接続を解除する機器をロングタッチ**

2 **解除操作を行う**

■ Bluetooth対応機器とペアリングのみしている場合

1 「ペアを解除」

■ Bluetooth対応機器とペアリング／接続をしている場合

1 「接続を解除」／「切断してペアを解除」

- 「接続を解除」は、接続のみ解除してペアリングは保持します。「切断してペアを解除」は、接続とペアリングの両方を解除します。

■ お知らせ

- 相手側の機器によっては、操作2でペアリング／接続の設定以外の項目が表示される場合があります。項目を選択して設定操作を行ってください。

Bluetoothでデータを送受信する

- あらかじめ本機のBluetooth機能をONにし、データを送信する相手側の機器とペアリングしておいてください。
- データを受信する場合は、microSDカードを本機に取り付けてください。本機で受信したデータはすべてmicroSDカードに保存されます。microSDカードの取り付けかたは、「microSDカードの取り付けかた／取り外しかた」（P.1-9）をご参照ください。

データを受信する

1 **相手側の機器からデータを送信**

2 **ステータスバーに が表示されたら通知パネルを開く**

7

3 受信するファイルを選択→「承諾」

データの受信が開始されます。

■ 連絡先を受信した場合

1 連絡先に追加するvcfファイルを選択

- vcfファイルの読み取りが完了すると、本機の連絡先に追加されます。

■お知らせ

- 受信した静止画／動画は、[メニューキー]を押し→「ギャラリー」→「bluetooth」フォルダを選択すると確認できます。

データを送信する

連絡先、静止画、動画などのデータを、他のBluetooth対応機器に送信できます。

1 各アプリケーションのメニューから「Bluetooth」

2 データを送信する相手側の機器を選択

データの送信が開始されます。

赤外線を使って送信する

赤外線通信を利用して連絡先を赤外線通信対応機や赤外線通信対応のパソコンなどと、送受信できます。

■お知らせ

- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合がございます。
- ファイルの送受信が完了するまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合がございます。
- 本機と赤外線通信対応機などを約20cm以内に近づけ、両方の赤外線ポートがまっすぐ向き合うようにしてください。また、間にものを置かないようにしてください。
- 本機の赤外線通信は、IrMC1.2に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.2に準拠していても、機器の仕様などにより、送受信できない場合がございます。

赤外線をONにする

1 ホーム画面で ≡→「設定」→「無線とネットワーク」

2 「赤外線」にチェックを付ける

赤外線で連絡先を送受信する

データを受信する

1 相手側の機器からデータを送信

2 「はい」をタップすると、受信が開始

データを送信する

■ 全件送信する場合

1. 連絡先一覧画面で、≡→「赤外線送信」を選択します。
2. 赤外線通信用パスワード（4桁から16桁の数字）を入力し、「OK」をタップします。
3. 受信側の端末も同じ赤外線通信用パスワードを入力し、送信が開始されます。

■ 1件送信する場合

1. 連絡先一覧画面で、送信したい連絡先をタップします。
2. 連絡先の詳細情報画面で、≡→「共有」→「赤外線通信」を選択し、送信が開始されます。

Googleマップ

8

Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地の位置情報を確認したり、興味のある場所を検索したりできます。また、Googleマップを利用して、次のアプリケーションを使用できます。

- Google Latitude（P.8-6）
- Googleマップナビ（P.8-7）
- プレイス（P.8-8）

Googleマップをご利用になる前に

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

GPS機能の利用にあたって

GPS機能は、人工衛星からの電波を利用します。次のような条件下では、電波を受信できなかったり、受信しにくい状況が発生したりしますのでご注意ください。

- 本機の周囲に障害物がある、ビルなど高い建物の近く、住宅密集地
- 建物の中、地下、トンネルの中、自動車・電車内などの室内
- カバンや箱の中
- 樹木の中
- 大雨、雪などの悪天候

8

位置情報を有効にする

Googleマップなどで位置情報を取得する場合は、あらかじめ本機で位置情報を有効にしておく必要があります。

1 **ホーム画面で ≡ →「設定」**

2 **「現在地情報とセキュリティ」**

3 **項目にチェックを付ける**

項目	説明
無線ネットワークを使用	Wi-Fi／モバイルネットワークで位置情報を検出します。 • 位置情報についての同意画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。
GPS機能を使用	GPS機能（高精度測位）を使用します。
GPSアシスト	GPSの位置決定を高速化するため、最新の衛星データを自動ダウンロードします。

お知らせ

- 「GPS機能を使用」にチェックを付けると、電池の消費が早くなります。電池の消費を節約する場合は、チェックを外してください。

Googleマップを表示する

Googleマップを開く

1 **ホーム画面で→「マップ」または を押す→「マップ」**

マップ画面が表示されます。アイコンが表示され、次の操作ができます。

アイコン	説明
地図を検索	文字列を入力して地図上を検索します。
	プレイスを利用します（P.8-8）。
	レイヤ機能を利用します（P.8-4）。
	地図上に現在地を表示します。
	地図を縮小表示します。
	地図を拡大表示します。

- 画面をスライドすると、他のエリアを表示します。
- 画面をロングタッチすると、その場所の情報を表示します。

設定を変更／確認する

1 **マップ画面で ≡→「その他」**

2 **項目を選択**

項目	説明
Labs	新機能の試験運用バージョンを有効／無効に設定します。
ログイン	Googleアカウントにログインします。 • Googleアカウントにログインしていない場合に表示されます。
キャッシュ設定	キャッシュを有効／無効に設定します。
ヘルプ	モバイルヘルプへ接続します。 • ブラウザが起動します。
法的事項	利用規約、プライバシーポリシーなどを表示します。
Googleマップについて	バージョン情報などを表示します。

マップ画面のメニュー

マップ画面で☰を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
検索	興味のある場所を検索します（P.8-5）。
経路	経路を調べます（P.8-5）。
スター付きの場所	「スター付きの場所」として登録している場所を一覧表示します。
地図をクリア	地図を初期表示に戻します。
Latitudeに参加／Latitude	Google Latitudeを利用します（P.8-6）。
その他	設定を変更／確認します（P.8-3）。

お知らせ

- 場所やお店などの情報画面に表示される☆（グレー）を選択すると、「スター付きの場所」として登録できます。

レイヤ機能を利用する

地図表示に情報を追加したり、地図表示のしかたを切り替えたりできます。

1 マップ画面で

2 項目を選択

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
渋滞状況		リアルタイムの渋滞状況を確認できます。 • 渋滞状況が提供されていないエリアがあります。
航空写真		航空写真表示に切り替えます。
地形		地形表示に切り替えます。
Latitude		Google Latitudeに参加します。
地図をクリア		地図を初期表示に戻します。
その他のレイヤ	**マイマップ**	マイマップ（自分で作成した地図）を表示します。
	ウィキペディア	地図上にウィキペディアの情報を表示します。 • Wをタップ→ふきだしをタップすると情報が表示されます。
	路線図	地図上に路線図を表示します。

興味のある場所を検索する

1 **マップ画面で ≡→「検索」**

2 **検索する場所を入力→🔍**

地図上に検索した場所が表示されます。

3 **地図上のふきだしをタップ**

検索した場所の情報画面が表示されます。

- 情報画面のアイコンや項目を選択して、電話をかけたり、Bluetooth（P.7-20）やメールなどで場所の情報を共有したり利用できます。
- 情報画面の☆（グレー）／☆（黄色）を選択すると、「スター付きの場所」として登録／登録解除します。

経路を調べる

出発地と到着地を設定して、その経路を調べます。

1 **マップ画面で ≡→「経路」**

2 **出発地と到着地を設定→到着地までの交通手段を選択**

- をタップすると、「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「スター付きの場所」から出発地・到着地を設定できます。
- ≡→「出発地と到着地を入れ替える」を選択すると、出発地と到着地を入れ替えます。

3 **「経路を検索」**

経路リスト画面が表示されます。

お知らせ

- 経路リスト画面でをタップすると経路地図画面が表示されます。経路地図画面で ／ をタップすると、前／次の地点を表示します。をタップすると、経路リスト画面に戻ります。
- 経路リスト画面で≡を押してメニューが表示される場合は、「反対方向」を選択すると反対の経路を表示します。
- 経路地図画面で≡を押してメニューが表示される場合は、「地図をクリア」を選択すると路線の表示を終了します。

Google Latitudeを利用する

地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送ったりできます。電話をかけたり、友人の現在地への経路を検索したりすることもできます。

- 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。
- Latitudeの詳細については、マップ画面で☰→「その他」→「ヘルプ」を選択して、モバイルヘルプの「Latitude」をご確認ください。

1 **[アプリ]を押す→「Latitude」**

Latitude画面が表示されます。

初回利用時は、現在地の共有を許可するかどうかのメッセージが表示されます。「許可および共有」を選択すると、利用を開始します。

- マップ画面表示中は☰→「Latitudeに参加」／「Latitude」を選択します。

お知らせ

- Latitudeの使用には、Wi-Fiが有効になっている場所、特に室内が適しています。
- Latitude画面に「Wi-Fiが無効になっています」と表示されているときは、表示を選択→「Wi-Fi設定」を選択すると、Wi-Fi設定画面が表示されます。

Latitude画面のメニュー

Latitude画面で☰を押すと、次のメニューが表示されます。

- 利用状況によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
友だちを更新		友だちの情報を更新します。
チェックイン		場所を選択してチェックインします。
地図を表示		Googleマップを開いて、友人の位置情報を確認できます。
友だちを追加		連絡先、メールアドレスから友だちを追加します。
設定	現在地を検出	現在地が自動的に更新されます。
	現在地を設定	任意の場所を現在地として設定します。
	現在地を更新しない	現在地を共有しないように設定します。
	ロケーション履歴を有効にする	過去の位置情報を保存します。
	自動チェックインを有効にする	指定した場所にチェックインします。
	チェックイン通知を有効にする	チェックインをおすすめする場所の通知を有効にします。
	場所の管理	自動チェックインや非通知の設定を確認／変更します。
	Latitudeからログアウト	Latitudeからログアウトします。

8

Googleマップナビを利用する

Googleマップを利用して、目的地までの経路を確認できます。

1 **（アプリ一覧アイコン）を押す→「ナビ」**

Googleマップナビ画面が表示されます。

- 初回利用時はメッセージが表示されます。内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。

Googleマップナビ画面

1 目的地または目的地のキーワードを音声で入力します。本機に向かって発声してください。
2 目的地または目的地のキーワードを文字で入力します。
3 連絡先に登録されている住所から目的地を選択します。
4 「スター付きの場所」として登録されている場所から目的地を選択します。
5 最近使用した目的地から選択します。
6 経路オプションを設定します。
7 地図を表示します。

お知らせ

- Googleマップナビの詳細については、地図表示画面で☰→「その他」→「ヘルプ」を選択して、モバイルヘルプをご確認ください。

8

プレイスを利用する

Googleマップを利用して、レストランやホテルなど現在地の周辺情報を調べることができます。

1 ［アプリ］を押す→「プレイス」

- マップ画面表示中は、［ピン］をタップします。

2 カテゴリを選択

情報の一覧画面が表示されます。

- 検索ボックスにキーワードを入力して検索することもできます。

■ カテゴリを追加する場合

1 「追加」→カテゴリ名を入力→「追加」

- カテゴリ名には、検索するキーワードを設定します（例：役所、薬局、スーパーマーケット、公園など）。
- 追加したカテゴリを削除するには、カテゴリをロングタッチ→「削除」を選択します。

3 確認する情報を選択

お店などの情報画面が表示されます。

- 情報画面のアイコンや項目を選択して、電話をかけたり、Bluetooth（P.7-20）やメールなどで場所の情報を共有したり利用できます。
- 情報画面の☆（グレー）／☆（黄色）を選択すると、「スター付きの場所」として登録／登録解除します。

■ お知らせ

- 情報の一覧画面で［メニュー］→「地図を表示」を選択すると、地図上に情報を表示します。［リスト］をタップすると情報の一覧画面に戻ります。
- 情報画面で左／右にスワイプすると、前後の情報に画面が切り替わります。

8

カメラとマルチメディア

9

カメラを利用する

本機に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

カメラをご利用になる前に

- 撮影前にmicroSDカードを本機に取り付けてください。本機で撮影した静止画または動画はすべてmicroSDカードに保存されます。microSDカードの取り付けかたは、「microSDカードの取り付けかた／取り外しかた」（P.1-9）をご参照ください。
- microSDカードのメモリの空き容量がない場合は撮影できません。不要なデータを削除するか、microSDカードを取り替えてください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付いていると、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布できれいに拭いてください。
- 撮影時に本機を動かすと、画像が乱れます。本機を動かさないようにしてください。
- 本機を日の当たる所や高温の所に放置すると、画質が劣化することがあります。

9

- 本機で撮影できる静止画／動画のサイズ（解像度）は次のとおりです。

静止画撮影	5メガピクセル：2592×1944
	3メガピクセル：2048×1536
	1メガピクセル：1024×768
	QVGA：320×240
動画撮影	High(30m)：640×480 QCIF：176×144

■お知らせ

- 動画の撮影可能時間は、microSDカードのメモリの空き容量によって異なります。

カメラを起動する

1 **[カメラキー]を長押し**

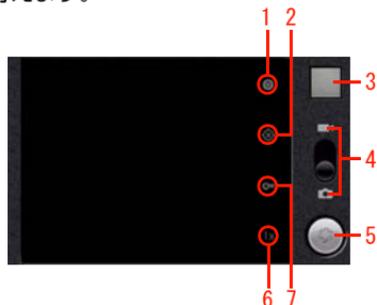
撮影画面が表示されます。

- [メニューキー]を押す→「カメラ」を選択しても、撮影画面を表示できます。
- 静止画撮影画面では、画面に表示されているアイコンが本機の向きに合わせて回転します。

カメラを終了する

1 **撮影画面で⌂／⮌／[終話キー]**

撮影画面の見かた

撮影画面に表示されているアイコンをタップして次の設定や操作が行えます。

静止画撮影画面

動画撮影画面

1 **カメラ設定**
「露出」「表示サイズ」「写真の画質」「色効果」を設定します。設定を初期設定に戻す場合は、「初期設定に戻す」をタップします。

2 **位置情報の記録**
撮影データに位置情報を記録するかどうかを設定します。

3 **サムネイル**
ギャラリーを開き、撮影したデータを確認できます。
⮌を押すと撮影画面に戻ります。

4 **撮影モード**
スライダーを上／下にドラッグして撮影モード（動画撮影／静止画撮影）を切り替えます。

5 **シャッター**
静止画撮影の場合は撮影、動画撮影の場合は撮影を開始／停止します。

6 **ズーム**
スライダーをドラッグしてズーム倍率を設定します。

7 **ホワイトバランス**
「ホワイトバランス」を設定します。

8 **動画の撮影時間**
撮影時間を表示します。

9

9　動画の画質

次の項目から動画の画質を設定します。

項目	説明
高（30m）	高画質で最大30分間、動画撮影できます。
低（30m）	低画質で最大30分間、動画撮影できます。
MMS（低、30m）	MMSの添付ファイルに適した画質で、動画撮影できます。
YouTube（高、10m）	YouTubeに投稿するのに適した画質で、動画撮影できます。

お知らせ

- 静止画撮影画面では、画面をダブルタップするたびに、ズームイン／ズームアウトします。
- 撮影モードによって、設定できる項目は異なります。

静止画を撮影する

1 静止画撮影画面で被写体を画面に表示

2 必要に応じて「カメラ設定」「位置情報の記録」「ホワイトバランス」「ズーム」を設定

3 シャッターをタップ

ギャラリーに撮影データが保存されます。

- を半押しすることで、フォーカスを合わせることが出来ます。
- または を押しても撮影できます。

動画を撮影する

1 動画撮影画面で被写体を画面に表示

2 必要に応じて「カメラ設定」「ホワイトバランス」「動画の画質」を設定

3 シャッターをタップ（撮影開始）

シャッターがになります。

- または を押しても撮影開始できます。

4 シャッターをタップ（撮影停止）

ギャラリーに撮影データが保存されます。

- または を押しても撮影停止できます。

撮影画面のメニュー

撮影画面で ☰を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
写真に切替	静止画撮影モードに切り替えます。
ムービーに切替	動画撮影モードに切り替えます。
ギャラリー	静止画撮影画面の場合、静止画を表示します。 動画撮影画面の場合、動画を表示します。

ギャラリーを利用する

ギャラリーを利用して、静止画や動画などのデータを再生できます。また、データの編集、壁紙や連絡先のアイコン（画像）に設定、友人と共有などができます。

ギャラリーをご利用になる前に

- microSDカードを本機に取り付けてください。本機で保存したデータはすべてmicroSDカードに保存されます。microSDカードの取り付けかたは、「microSDカードの取り付けかた／取り外しかた」（P.1-9）をご参照ください。
- 本機で対応しているファイル（拡張子）は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。

種類	ファイル（拡張子）
静止画	jpg、png、bmp、wbmp、gif
動画	3gp、mp4

ギャラリーを開く

1 **[メニューキー] を押す→「ギャラリー」**

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 **フォルダを選択**

データ一覧画面が表示されます。

フォルダ一覧画面／データ一覧画面のメニュー

フォルダ一覧画面／データ一覧画面で ☰ を押すと、次のメニューが表示されます。

- データの種類によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
すべて選択	すべて選択して、データの共有や削除が行えます。
XXアイテム※	選択されているアイテム数が表示されます。
選択をすべて解除	選択されているアイテムの選択を全て解除します。
共有	データをBluetooth（P.7-20）やメールで送信したり、Facebook、Picasa、Twitterへアップロードしたりできます。
削除	データを削除します。
その他	ギャラリーの詳細情報などを表示します。

※：XXには、選択されているアイテム数が表示されます。

お知らせ

- フォルダ一覧画面でフォルダ／データをロングタッチすると、フォルダ／データが選択されます。

静止画を利用する

1 データ一覧画面で静止画を選択

アイコンが表示され、次の操作ができます。

アイコン	説明
(アイコン)	ギャラリー画面を表示します。
(アイコン)	データフォルダを表示します。
(縮小)／(拡大)	画像を縮小表示／拡大表示します。
スライドショー	フォルダ内の画像をスライドショーで表示します。画面をタップすると、スライドショーが停止します。
メニュー	メニューを表示します。

お知らせ

- 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示されます。

静止画表示中のメニュー

静止画表示中に☰を押すと、次のメニューが表示されます。

- データの種類によって、表示される項目は異なります。

項目		説明
共有		画像をBluetooth（P.7-20）やメールで送信したり、Facebook、Picasa、Twitterへアップロードしたりできます。
削除		画像を削除します。
その他	**詳細情報**	画像の詳細情報を表示します。
	登録	画像を壁紙や連絡先のアイコン（画像）に設定します。
	トリミング	画像をトリミングします。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。

動画を利用する

1 データ一覧画面で動画を選択

アイコンが表示され、次の操作ができます。

アイコン	説明
⏸／▶	一時停止／再生します。
◀◀	巻き戻しします。
▶▶	早送りします。
（スライダー）	スライダーを左／右にドラッグして巻き戻し／早送りします。

お知らせ

- 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示されます。

YouTubeを利用する

YouTubeはオンライン動画ストリーミングサービスです。動画を再生したり投稿したりできます。

動画を再生する

1 ホーム画面で→「YouTube」または ⠿ を押す→「YouTube」

YouTubeのホーム画面が表示されます。

- 初回利用時は、利用規約が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 再生する動画を選択

動画再生画面が表示されます。

- 動画再生画面をタップすると停止／再生します。

お知らせ

- 本機を横向きにすると、動画が全画面で横向きに表示されます。
- 本機で利用できる機能はパソコン版のYouTube と異なる場合があります。

YouTubeのホーム画面のメニュー

YouTubeのホーム画面／動画再生画面で ≡ をタップすると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
ホーム		YouTubeホームページが表示されます。
ブラウズ		再生する動画のカテゴリを選択します。
検索		動画を検索します。
マイチャンネル		YouTubeのマイチャンネルを表示します。 • GoogleアカウントまたはYouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。
アップロード		動画を投稿します（P.9-8）。
設定	携帯端末で高画質動画を表示	常に高画質の動画を表示するかどうかを設定します。
	キャプションのフォントサイズ	字幕の文字サイズを設定します。
	検索履歴を消去	検索ボックスでの検索履歴を消去します。
	セーフサーチフィルタ	制限付きコンテンツを含む動画が検索結果に表示されないように設定します。
	ヘルプ	YouTubeのオンラインヘルプに接続します。
	ご意見ご感想	YouTubeの利用について、意見や感想を記入します（任意）。
	Googleモバイル利用規約	Googleモバイル利用規約を確認します。
	Youtube利用規約	Youtubeの利用規約を確認します。
	モバイルプライバシーポリシー	Googleモバイルプライバシーポリシーを表示します。
	Youtubeプライバシーポリシー	Youtubeのプライバシーポリシーを表示します。
	アプリケーションのバージョン	アプリケーションのバージョンを表示します。

動画を投稿する

本機からYouTubeに動画を投稿します。

• YouTubeに動画を投稿するには、GoogleアカウントまたはYouTubeアカウントでYouTubeにログインする必要があります。

1 **YouTubeのホーム画面／動画再生画面で ≡ →「アップロード」**

ギャラリーが開き、動画の一覧画面が表示されます。

2 **投稿する動画をタップ**

• ログイン画面が表示されたときは、画面の指示に従ってログインしてください。

3 **必要な項目を入力／設定→「アップロード」**

アップロードを開始します。

• 通知パネルを開いて、アップロードの状況を確認できます。

音楽を利用する

microSDカードに保存された音楽を再生します。

- あらかじめコンピュータからmicroSDカードに音楽ファイルをコピーしてください。
- 本機で対応している音楽ファイル（拡張子）は次のとおりです。ただし、ファイルによっては利用できない場合があります。
  mp3、aac、mid、wma、3gp、wav、m4a、mp4

お知らせ

- 本機はVBR（可変ビットレート）方式／CBR（固定ビットレート）方式の音楽ファイルに対応しています。
- 本機で再生できる音楽ファイルの最大ビットレートは320kbpsです。

本機のmicroSDカードに音楽ファイルを保存する

本機を使用してmicroSDカードに音楽ファイルを保存する場合は、次の操作を行います。

1 本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定

- 「本機のmicroSDカードを外部メモリとして利用する」（P.9-13）をご参照ください。

2 コンピュータでUSBストレージを開く

3 USBストレージのルートフォルダに音楽ファイルをコピー

- 必要に応じてルートフォルダにフォルダを作成して、そのフォルダ内に音楽ファイルをコピーしてください。

4 コピー完了後、本機をコンピュータから安全に取り外す

- コンピュータ側で本機の安全な取り外しを行ってから、本機の画面に表示されている「USBストレージをOFFにする」を選択し、USBストレージの設定を解除してください。

音楽を再生する

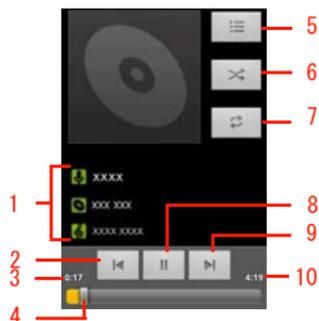
1 [ボタン] **を押す→「音楽」**

ライブラリ画面が表示されます。

- 画面上部のタブを選択すると、カテゴリが切り替わります。

2 **再生する音楽を選択**

音楽再生画面が表示されます。

音楽再生画面の見かた

音楽再生画面

1 音楽の情報が表示されます。ロングタッチすると、検索ができます。

2 タップすると、曲の先頭にジャンプします。ロングタッチすると巻き戻しします。曲の先頭でタップすると、前の曲を再生します。

3 再生中の音楽の経過時間を表示します。

4 左/右にドラッグすると、巻き戻し/早送りします。

5 タップすると、現在のプレイリストを表示します。

6 タップすると、シャッフルのON/OFFを切り替えます。

7 タップすると、リピートモードを切り替えます。

8 タップすると、一時停止/再生します。

9 タップすると、次の曲を再生します。ロングタッチすると早送りします。

10 再生中の音楽の総再生時間を表示します。

お知らせ

- 音楽再生中に別の画面を表示しても、音楽の再生は続きます。再生を停止するには、音楽再生画面で [II] をタップしてください。

9

ライブラリ画面のメニュー

ライブラリ画面で☰を押すと、次のメニューが表示されます。

- カテゴリ（画面上部のタブ）によって、表示される項目は異なります。

項目	説明
すべて再生	ライブラリ内にある曲をすべて再生します。
パーティシャッフル／パーティシャッフルOFF	ライブラリ内にある曲から自動でプレイリストを作成して再生します。ONにすると、プレイリストを再生します。
すべてシャッフル	ライブラリ内にあるすべての曲をランダムに再生します。ONにすると、曲を再生します。

音楽再生画面のメニュー

音楽再生画面で☰を押すと、次のメニューが表示されます。

項目	説明
ライブラリ	ライブラリ画面を表示します。
パーティシャッフル／パーティシャッフルOFF	ライブラリ内にある曲から自動でプレイリストを作成して再生します。ONにすると、プレイリストを再生します。
プレイリストに追加	プレイリストを作成します（P.9-11）。
着信音に設定	着信音に設定します。
削除	microSDカード内から曲を削除します。

プレイリストを利用する

プレイリストを作成する

1 ライブラリ画面でプレイリストに追加するアーティスト／アルバム／曲をロングタッチ

2 「プレイリストに追加」→「新規」

■ 再生中のプレイリストに追加する場合

1 「現在のプレイリスト」

■ すでに保存されているプレイリストに追加する場合

1 追加するプレイリスト名を選択

3 プレイリスト名を入力→「保存」

プレイリストを管理する

1 ライブラリ画面で「プレイリスト」タブを選択

2 目的の操作を行う

■ プレイリストを再生する場合

1 再生するプレイリストをロングタッチ→「再生」

■ プレイリストを削除する場合

1 削除するプレイリストをロングタッチ→「削除」

■ プレイリスト名を変更する場合

1 変更するプレイリストをロングタッチ→「名前を変更」
2 プレイリスト名を入力→「保存」

■ プレイリストから曲を削除する場合

1 削除する曲があるプレイリストを選択→削除する曲をロングタッチ→「プレイリストから削除」

■ プレイリスト内の曲順を変更する場合

1 曲順を変更するプレイリストを選択→移動する曲の▦をドラッグして移動先で指を離す

■「最近追加したアイテム」を編集する場合

1「最近追加したアイテム」をロングタッチ→「編集」
2 保存期間を設定→「完了」

お知らせ

- プレイリスト内を表示中に☰→「プレイリストとして保存」を選択すると、プレイリストを別名保存できます。
- 「最近追加したアイテム」内を表示中に☰→「プレイリストとして保存」を選択すると、「最近追加したアイテム」をプレイリストとして保存できます。
- 「最近追加したアイテム」は、削除または名前の変更はできません。

着信音として曲を設定する

1 ライブラリ画面で着信音として設定する曲をロングタッチ

2 「着信音に設定」

曲が着信音に設定されます。

追加した着信音を確認する

1 ホーム画面で ☰→「設定」

2 「音」→「着信音」

着信音として追加した曲が確認できます。

microSDカードから音楽ファイルを削除する

microSDカード内から音楽ファイルを削除します。

1 ライブラリ画面で削除するアーティスト/アルバム/曲をロングタッチ

2 「削除」→「OK」

お知らせ

- プレイリスト内を表示中に、曲をロングタッチ→「削除」→「OK」を選択しても、microSDカードから音楽ファイルを削除できます。

本機のmicroSDカードを外部メモリとして利用する

本機のmicroSDカードを外部メモリとして利用できます。

- あらかじめ本機にmicroSDカードを取り付けておいてください。
- 本機と接続可能なパソコンの動作環境は、「本機とパソコンなどの外部機器を接続する」(P.1-13)をご参照ください。
- 本機とコンピュータの接続/取り外しについては、次の操作説明とお使いのコンピュータの指示に従ってください。

本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定する

USBストレージとして設定することで、音楽、画像などのファイルをコンピュータから本機のmicroSDカードへ移して利用できるようになります。

- USBストレージの設定中は、本機内でmicroSDカードを使用できなくなるため、カメラやギャラリー、音楽など一部のアプリケーションが利用できません。利用する場合は、USBストレージの設定を解除してください。

1 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続

ステータスバーに が表示されます。

- 「本機とパソコンなどの外部機器を接続する」（P.1-13）をご参照ください。

2 通知パネルを開く→「USB接続」

3 「USBストレージをONにする」→「OK」

コンピュータが本機のmicroSDカードをUSBストレージとして認識します。

■ USBストレージの設定を解除する場合

1 コンピュータ側で本機の安全な取り外しを行う
2 本機側で「USBストレージをOFFにする」

■お知らせ

- USBテザリング設定中は、本機のmicroSDカードをUSBストレージとして利用できません。

9

microSDカードのマウントを解除する

- microSDカードのマウントを解除すると、カメラやギャラリー、音楽など一部のアプリケーションが使用できなくなります。使用する場合はmicroSDカードをマウント状態にしてください。

1 ホーム画面で ☰→「設定」

2 「ストレージ」→「SDカードのマウント解除」

ステータスバーに が表示されます。

- 初回利用時はメッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、「OK」をタップしてください。

microSDカードをマウントする

microSDカードをマウント状態にします。

1 ホーム画面で ☰→「設定」

2 「ストレージ」→「SDカードをマウント」

microSDカードをフォーマットする

- フォーマットを行うとmicroSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 **ホーム画面で ≡ →「設定」**

2 **「ストレージ」→「SDカードのマウント解除」**

「SDカード内データを消去」が有効になります。

3 **「SDカード内データを消去」→「SDカード内データを消去」**

4 **「すべて消去」**

- 消去されたデータは元に戻せません。

9

10

その他のアプリケーション

カレンダーを利用する

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。また、本機のカレンダーをウェブ上のGoogleカレンダーなどと同期させることができます（P.4-3）。

- ここでは、Googleアカウントでログインしてカレンダーを利用する手順を説明します。
- カレンダーを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」（P.4-2）を行ってください。

カレンダーを表示する

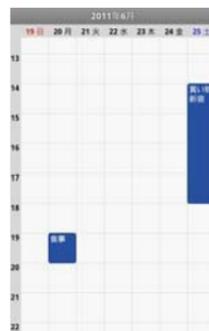
カレンダーを日表示、週表示、月表示、予定リストで表示できます。

1 **[ⅲ ◉] を押す→「カレンダー」**

カレンダー画面が表示されます。

2 **≡→「日」／「週」／「月」／「予定リスト」**

次の画面が表示されます。

日表示

週表示

月表示

予定リスト

■お知らせ

- 日表示で左／右にスワイプすると、次の日／前の日を表示できます。
- 週表示で左／右にスワイプすると、次の週／前の週を表示できます。
- 月表示で上／下にスワイプすると、次の月／前の月を表示できます。
- 今日以外の日を表示している場合に、今日を含む表示に切り替えるときは☰→「今日」を選択します。

カレンダーの予定を作成する

1 **カレンダー画面で☰→「その他」→「予定を作成」**

予定作成画面が表示されます。

2 **必要な項目を設定**

項目	説明
タイトル	予定のタイトルを入力します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
タイムゾーン	自宅タイムゾーンを設定します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
場所	予定の場所を入力します。
内容	予定の内容を入力します。
カレンダー	同期するカレンダーを設定します。
ゲスト	ゲストを予定に招待します。入力したメールアドレスに招待メールを送ります。
繰り返し	予定を定期的に繰り返すかどうかを設定します。
通知	予定の通知を設定します。通知時間になると、「通知方法」（P.10-5）で設定した内容でお知らせします。

3 **「完了」**

■お知らせ

- カレンダー画面によっては、設定する日や時間帯を選択、またはロングタッチして、予定を作成できます。
- 日表示／週表示のカレンダー画面では、設定した予定をロングタッチすると、予定の表示、編集、削除などができます。
- 予定作成画面で☰→「詳細項目を表示」を選択すると、外部向け表示などの設定が行えます。

10

予定の通知を確認／スヌーズ／消去する

予定の通知を設定した場合、その通知時間になると、ステータスバーに[icon]が表示されます。

1 通知パネルを開く

2 確認／スヌーズ／消去する通知を選択

3 通知を確認／スヌーズ／消去

■ 通知を確認する場合

1 確認する通知を選択

■ 通知をスヌーズする場合

1 「すべてスヌーズ」

すべての通知がスヌーズされ、5分後に再度通知します。

■ 通知を消去する場合

1 「通知を消去」

■ お知らせ

- 「通知方法」（P.10-5）を「アラート」に設定している場合は、画面にアラートが表示され、通知を確認／スヌーズ／消去できます。

予定の同期／表示を設定する

本機のカレンダーの予定とウェブ上のGoogleカレンダーなどの予定を同期／表示します。

1 カレンダー画面で ≡→「その他」→「カレンダー」

2 項目を設定

- 選択するたびに、アイコンの表示が変わります。

項目（アイコン）	説明
[icon]	予定を同期、表示するように設定します。
[icon]	予定を同期するように設定します（予定の表示はしません）。
[icon]	予定を同期、表示しないように設定します。

3 「OK」

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で ≡ →「その他」→「設定」

2 項目を設定

項目	説明
辞退した予定を非表示	招待を辞退した予定をカレンダーに表示するかどうかを設定します。
自宅タイムゾーン	旅行中に接続先モバイルネットワークのローカルタイムゾーンの代わりに自宅タイムゾーンでカレンダーや予定時間を表示します。
自宅タイムゾーン	自宅のタイムゾーンを選択します。
通知方法	予定の通知方法を設定します。
着信音を選択	予定通知時の通知音を設定します。
バイブレーション	予定通知時のバイブレーション動作を設定します。 • バイブレーションを「使用しない」以外に設定する場合は、「バイブ」（P.1-27）も合わせて設定する必要があります。
デフォルトの通知時間	予定の通知時間の初期値を設定します。
ビルドバージョン	2.3.4

ニュースと天気を調べる

現在地の天気情報やニュースを確認できます。

• 現在地の天気情報は、初期設定でGoogle位置情報サービスの利用を許可するか、ホーム画面で≡→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」→「無線ネットワークを使用」にチェックを付ける→「同意する」を選択すると取得できます。

ニュース／天気を確認する

1 [アプリキー] を押す→「ニュースと天気」

ニュース／天気画面が表示されます。

• 左／右にスワイプすると、天気画面とニュース画面が切り替わります。
• 天気画面をタップすると、降水確率などの詳細情報を確認できます。
• ニュース画面で確認するニュース項目を選択すると、ウェブサイトに接続され、詳細情報を確認できます。

■お知らせ

- ニュース／天気画面で☰→「設定」を選択すると、天気を表示する位置の情報や、情報の更新間隔などを設定できます。
- ニュース／天気画面で☰→「設定」→「天気予報の設定」→「位置情報の設定」で都市を検索する場合、都市名はアルファベットで入力してください。
- ニュース／天気の情報を手動で更新するには、ニュース／天気画面で☰→「更新」を選択します。
- ニュース／天気画面で☰→「設定」→「ニュースの設定」→「ニューストピックの選択」を選択して、表示するニュースのトピックを設定できます。

時計機能を利用する

画面の輝度を落として時刻を確認したり、アラームの設定、ギャラリーや音楽などの機能を呼び出したりすることができます。

1 ［⠿］を押す→「時計」

時計画面が表示されます。

時計画面の見かた

時計画面

1 アラームを設定している場合、アラームの時刻が表示されます。

2 現在日時が表示されます。

10

3 位置情報を設定している場合、設定した地域の天気が表示されます。
4 選択すると、ギャラリーを開きます（P.9-5）
5 選択すると、アラーム設定画面を表示します。
6 選択すると、画面の輝度を落とします。ロングタッチすると、画面がスクリーンセーバーモードに切り替わります。
7 充電中の場合、充電の状態が表示されます。
8 選択すると、音楽のライブラリ画面を表示します（P.9-10）
9 ホーム画面に戻ります。

アラームを設定する

1 時計画面で

アラーム設定画面が表示されます。

2 「アラームの設定」→時刻を設定→「設定」

3 必要な項目を設定

項目	説明
アラームをオンにする	アラームのON／OFFを設定します。
時刻	時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	バイブレーションのON／OFFを設定します。
ラベル	アラーム動作時に表示するメッセージを入力します。

4 「完了」

アラーム設定画面に、設定したアラームが追加されます。

お知らせ

- 時計画面で → 「アラームの設定」を選択してもアラームを設定できます。
- アラーム設定画面で各アラーム設定の左側にある をタップしても、アラームのON／OFFを設定できます。
- アラーム設定画面で → 「卓上時計」、または を選択すると、時計画面に戻ります。

アラームが鳴ったときは

画面に「スヌーズ」「停止」の選択画面が表示されます。「スヌーズ」を選択すると、アラームを停止した後で再度アラームが鳴るように設定します。「停止」を選択すると、アラームを停止します（スヌーズしません）。

お知らせ

- アラームが鳴ったときに、▲（音量上）／▼（音量下）を押してもスヌーズまたは停止ができるように設定できます（P.10-8）。

アラームの設定を変更／削除する

1 アラーム設定画面で変更／削除するアラームを選択

2 アラームの設定を変更／削除

■ 設定を変更する場合

1 設定を変更→「完了」

■ 設定を削除する場合

1 「削除」→「OK」

アラームの基本設定をする

1 アラーム設定画面で ≡→「設定」

2 必要な項目を設定

項目	説明
マナーモード中のアラーム	マナーモード中もアラームを鳴らすかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
音量とカメラ	アラーム鳴動中に ▲（音量上）／▼（音量下）またはカメラキーを押したときの動作を設定します。

電卓機能を利用する

四則演算（＋、－、×、÷）や関数計算などができます。

1 [アプリ] を押す→「電卓」

電卓画面が表示されます。

電卓画面について

電卓画面で左／右にスワイプすると、「標準機能」と「関数機能」に画面が切り替わります。

- 電卓画面で ≡ →「標準機能」／「関数機能」を選択しても、画面を切り替えられます。

■お知らせ

- 電卓画面で [□] を押すと、上下の入力欄に計算の履歴が表示され、確認や再計算などに利用できます。
- ≡ →「履歴消去」を選択すると、履歴を消去します。

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットで公開されているアプリケーションを本機にインストールして利用できます。

- Androidマーケットを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合は、「Googleアカウントを設定する」(P.4-2)を行ってください。
- アプリケーションによっては、本機で正常に動作しない場合があります。
- Androidマーケットでは、本機で動作しない仕様のアプリケーションについてはダウンロードできない場合があります。

アプリケーションをインストールする

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任で行ってください。
- 万が一、お客さまがインストールを行ったアプリケーションにより自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。
- アプリケーションの購入は自己責任で行ってください。アプリケーションの購入に際して自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

1 ホーム画面で→「マーケット」または [キー] を押す→「マーケット」

初回利用時は利用規約が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。

2 インストールしたいアプリケーション名をタップし、詳細画面で機能やユーザーコメントなどを確認する

3 「無料」→「OK」

有料の場合、金額表示欄をタップして、「OK」をタップします。

4 インストールをタップ

5 ダウンロード状況を確認する

インストールが完了すると、ステータスバーの通知領域に が表示されます。

- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。この画面で「OK」を選択すると、本機でこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
- インストールしたアプリケーションは、アプリケーション画面に追加されます。

■お知らせ

- Androidマーケットの詳細については、ホーム画面で「マーケット」→ ≡→「ヘルプ」をタップして、マーケットヘルプをご確認ください。

アプリケーションを更新／削除する

1 ホーム画面で→「マーケット」または を押す→「マーケット」

2 「マイアプリ」を選択

過去にダウンロードしたアプリケーションが一覧表示されます。

3 更新／削除するアプリケーションを選択

4 アプリケーションを更新／削除

■ 更新する場合

1 「アップデート」

■ 削除する場合

1 「アンインストール」

5 「OK」

■お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、アンインストールできません。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する

サードパーティのアプリケーションなど、提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可します。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「アプリケーション」

3 「提供元不明のアプリ」にチェックを付ける

4 注意内容を確認→「OK」

アプリケーションを確認／操作する

本機にインストール済みのアプリケーションの情報を確認したり、アプリケーションを強制停止、データ消去、アンインストールしたりできます。

1 ホーム画面で ≡→「設定」

2 「アプリケーション」→「アプリケーションの管理」

3 確認するタブを選択

- ≡→「サイズ順」／「名前順に表示する」を選択すると表示順を変更できます。

4 アプリケーションを選択

- アプリケーション情報を確認したり、「強制停止」「アンインストール」「データを消去」など画面に表示されている項目を選択したりして操作します。

■お知らせ

- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションは、アンインストールできません。

10

ダウンロード

本機にダウンロードされたアプリケーションをインストールしたり、削除したりできます。

1 [key] を押す→「ダウンロード」

2 インストールするアプリケーションを選択

- ☰→「サイズ順」／「時間順」を選択すると表示順を変更できます。

アプリケーションを削除する

1 [key] を押す→「ダウンロード」

2 削除するアプリケーションにチェックを付ける

3 「削除」をタップ

その他のアプリケーション

Mobage

ゲームやコミュニティなどを楽しめるソーシャルネットワーキングサービス「mobage」（モバゲー）を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。

GREE

ゲームやコミュニティなどを楽しめるソーシャルネットワーキングサービス「GREE」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。

ハンゲーム

ゲームサイト「ハンゲーム」のアプリ紹介サイトにアクセスします。

芸能ニュース

芸能ニュースサイト「オリコン芸能ニュース」にアクセスします。

BookLive! Reader for EM

総合電子書籍ストア「BookLive!」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。

ビデオマーケット

モバイル動画サービス「VideoMarket」を本機で利用するためのアプリケーションをインストールします。

Refills試用版

スマートフォン用カレンダーアプリケーション「Refill」を利用できます。

- 本機に搭載されているアプリケーションは試用版です。試用期間終了後もお使いいただく場合は製品版をご利用ください。

アプリ

Androidマーケットの中から人気・話題のアプリケーションを紹介します。

お知らせ

- アプリケーションやサービスによっては、個人情報の登録や料金の支払いが必要になる場合があります。ご利用になる場合は、各アプリケーションの注意事項をよくご確認ください。

11 本機の設定と管理

本機の設定を変更／確認する

本機の設定を変更したり、確認したりできます。

- 本機の設定の状態によっては、項目が表示／選択できない場合があります。

1 **ホーム画面で ≡→「設定」**

設定画面が表示されます。

ワイヤレスとネットワークの設定

ワイヤレスネットワーク接続の設定をします。設定画面で「無線とネットワーク」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
機内モード		電話、Bluetoothなどの無線通信をOFFにします。
赤外線		赤外線通信を利用して連絡先などを送受信できます。
Wi-Fi		「Wi-FiをONにして、Wi-Fiネットワークに接続する」（P.7-4）
Wi-Fi設定		「Wi-FiをONにして、Wi-Fiネットワークに接続する」（P.7-4）
Bluetooth		「Bluetooth機能をONにする」（P.7-18）
Bluetooth設定	**Bluetooth**	「Bluetooth機能をONにする」（P.7-18）
	端末名	「端末の名前を変更する」（P.7-18）
	検出可能	「本機を検出可能にする」（P.7-18）
	デバイスのスキャン	「他のBluetooth対応機器とペアリング／接続する」（P.7-18）
テザリングとPocket WiFi		「Pocket WiFi（Wi-Fiテザリング）を利用する」（P.7-7）、「USBテザリングを利用する」（P.7-8）
VPN設定		「VPNに接続する」（P.7-9）
モバイルネットワーク	**データ通信を有効にする**	モバイルネットワーク経由のデータアクセスを有効／無効にします。
	データローミング	「データローミングを設定する」（P.12-10）
	アクセスポイント名	「3Gパケット通信を使って接続する」（P.7-2）
	2Gネットワークのみ使用	GSMネットワークのみに接続するように設定します。
	通信事業者	「ネットワークを設定する」（P.12-10）

11

通話設定

通話機能に関する設定をします。設定画面で「通話設定」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
発信番号制限		この機能は利用できません。ご了承ください。
ボイスメールサービス		ボイスメールサービスを設定します。
ボイスメールの設定		留守番電話の番号を設定します。 • 留守番電話センターの番号「1416」は、当社から番号変更のお願いを行わない限り、変更しないでください。
着信転送		「転送電話」（P.12-3）、 「留守番電話」（P.12-4）
その他の設定	**発信者番号**	「発信者番号通知」（P.12-8）
	通話中着信	「割込通話」（P.12-6）
アカウント		インターネット通話サービスのアカウントを設定します。
インターネット通話を使用		インターネット通話を使用する通話を設定します。

音の設定

音量や着信音など、音に関する設定をします。設定画面で「音」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
マナーモード	「マナーモードを設定する」（P.1-27）
バイブ	「バイブレーションを設定する」（P.1-27）
音量	「音量を調節する」（P.1-26）
着信音	「着信音／通知音を設定する」（P.1-26）
通知音	「着信音／通知音を設定する」（P.1-26）
タッチ操作音	電話番号を入力するときの音をON／OFFします。
選択時の操作音	アプリケーションやメニューを選択したときの操作音をON／OFFします。
画面ロックの音	画面ロック／ロック解除時の通知音をON／OFFします。
入力時バイブレーション	⮌／≡／⌂／🔍などのキーを押したり、特定の操作をしたりした場合のバイブレーション動作をON／OFFします。

11

画面設定

画面の明るさや表示方法など、画面に関する設定をします。設定画面で「表示」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
画面の明るさ	「画面の明るさを調整する」(P.1-28)
画面の自動回転	本機の縦／横の向きを感知して、自動的にディスプレイの表示方向を切り替えるかどうかを設定します。 • カメラの静止画撮影画面は、本設定にかかわらず自動的にディスプレイの表示方向を切り替えます。
アニメーション表示	画面切り替え時のアニメーション効果を設定します。
バックライト消灯	バックライトが消灯するまでの時間を設定します。

位置情報とセキュリティの設定

位置情報やセキュリティに関する設定をします。設定画面で「現在地情報とセキュリティ」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
無線ネットワークを使用	「位置情報を有効にする」(P.8-2)
GPS機能を使用	「位置情報を有効にする」(P.8-2)
GPSアシスト	GPSアシストデータをカメラに取り込むことによって、位置情報を取得するまでの時間を短くすることができます。
画面ロックの設定／画面ロックの変更	「画面ロックの解除方法を設定する」(P.1-43)
SIMカードロック設定	「EM chipロックを設定する」(P.1-44)
パスワードを表示	パスワード入力時に、文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	デバイス管理者を追加または削除します。
安全な認証情報の使用	証明書やその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージ（VPN接続に使用する認証情報データ）のパスワードを設定します。
ストレージの消去	認証情報ストレージ（VPN接続時に使用する認証情報データ）のすべての証明書（コンテンツ）を消去して、パスワードをリセットします。

アプリケーション設定

アプリケーションに関する設定をします。設定画面で「アプリケーション」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
提供元不明のアプリ	「提供元不明のアプリケーションのインストールを許可する」(P.10-11)
アプリケーションの管理	「アプリケーションを確認/操作する」(P.10-11)
実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示/管理します。
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。
電池使用量	電池の使用状況を表示します。
開発	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。
メールキーの設定	メールキーに割り当てるアプリケーションを設定します。
ブラウザキーの設定	ブラウザキーに割り当てるアプリケーション及びURLを設定します。

アカウントと同期の設定

アプリケーションやオンラインサービスとの同期に関する設定をします。設定画面で「アカウントと同期」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
バックグラウンドデータ	「アカウントと同期の設定をする」(P.4-3)
自動同期	「アカウントと同期の設定をする」(P.4-3)

プライバシーの設定

アプリケーションのバックアップ設定や、本機のリセットを行います。設定画面で「プライバシー」を選択すると、次のメニューが表示されます。

- データの初期化を行う前に、重要なデータはバックアップしてください。

項目	説明
データのバックアップ	Googleが提供する各種サービス、またサードパーティのアプリケーションの設定やデータなどを、クラウドにバックアップすることができます。ただし、バックアップ機能については、各アプリケーションの開発元にお問い合わせください。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元します。
データの初期化	「本機をリセットする」(P.1-45) • microSDカード内のデータは消去されません。

SDカードと端末容量の設定

microSDカードや本機の容量の確認、microSDカードの初期化などを行います。設定画面で「ストレージ」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
合計容量	microSDカードの合計データ容量を表示します。
空き容量	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	「microSDカードのマウントを解除する」(P.9-14)
SDカード内データを消去	「microSDカードをフォーマットする」(P.9-15)
空き容量	本機内のメモリの空き容量を表示します。

お知らせ

- 本機内のメモリの空き容量が10%以下になると、本機の動作が不安定になることがあります。空き容量が少なくなった場合は、不要なデータやアプリケーションを削除してください。

言語とキーボードの設定

使用する言語とキーボードの設定をします。設定画面で「言語とキーボード」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
言語を選択	使用する言語を設定します。
ユーザー辞書	「ユーザー辞書（Androidキーボード）を利用する」（P.1-36）
Androidキーボード	「キーボードの設定を変更する」（P.1-38）
FSKAREN	「キーボードの設定を変更する」（P.1-38）

音声入出力の設定

Google音声検索や、テキストから音声への変換機能に関する設定をします。設定画面で「音声入出力」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
音声認識装置の設定	**言語**	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
	セーフサーチ	Google音声検索時に、画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	Google音声検索時に、不適切な語句の検索結果を非表示にします。
テキスト読み上げの設定※	**サンプルを再生**	音声合成のサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	常に「音声の速度」「言語」で設定した内容で、アプリケーションが動作するように設定します。

項目		説明
テキスト読み上げの設定※	既定のエンジン	テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンを設定します。お買い上げ時は、Pico TTSが設定されています。
	音声データをインストール	音声データがインストールされていない場合、Androidマーケットに接続し、音声データを検索します。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
	Pico TTS	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。

※：日本語には対応しておりません。

ユーザー補助の設定

ユーザーの操作を補助するアプリケーションや機能についての設定をします。

1 **ホーム画面で ≡ →「設定」→「ユーザー補助」**

次のメニューが表示されます。

項目	説明
ユーザー補助	ユーザー補助を有効／無効にします。 • ユーザー補助アプリケーションがインストールされていない場合は、有効に設定できません。
電源ボタンで通話を終了する	通話の終了を、 を押して行えるようにするかどうかを設定します。

■ お知らせ

- お買い上げ時は、ユーザー補助アプリケーションがインストールされていません。インストールされていない場合は、操作1の後にその旨のメッセージが表示され、「OK」をタップするとAndroidマーケットに接続し、ユーザー補助アプリケーションを表示します。

日付と時刻の設定

日付と時刻に関する設定をします。設定画面で「日付と時刻」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目	説明
自動	ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正するかどうかを設定します。
日付設定	年月日を設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを設定します。
時刻設定	時刻を設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	年月日の表示形式を切り替えます。

端末情報

電話番号や電池使用量など、本機の情報を確認できます。設定画面で「端末情報」を選択すると、次のメニューが表示されます。

項目		説明
端末の状態		電池の状態や電池残量、電話番号などを表示します。
電池使用量		アプリケーションごとの電池使用の割合を表示します。各項目を選択すると詳細情報が表示され、項目によっては電池消費を節約するための設定変更ができます。
法的情報	**オープンソースライセンス**	オープンソースの使用許諾条件（英語）を確認します。
	Google利用規約	Googleの利用規約を確認します。
モデル番号、Androidバージョン、ベースバンドバージョン、カーネルバージョン、ビルド番号、認証情報、バージョン		

オプションサービス

12

オプションサービスの概要

イー・モバイルでは、次のようなオプションサービスを提供しています。
オプションサービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

- オプションサービスは、電波の届かない場所では本機から操作できません。

サービス名	概要	申込み	月額基本料
転送電話	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送するサービスです。	不要	無料
留守番電話	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、相手のメッセージを留守番電話センターでお預かりするサービスです。 留守番電話センターでメッセージをお預かりすると、SMSでお知らせします。	不要	無料
割込通話	現在の通話を保留にして、かかってきた電話を受けることができるようにするサービスです。また、通話相手を切り替えることもできます。	必要	有料
発信者番号通知	自分の電話番号を相手に通知したり、非通知にしたりするサービスです。	不要	無料
電話番号リクエスト	発信者番号（自分の電話番号）を通知に設定している発信者からの電話のみ着信させるサービスです。	不要	無料
発信番号制限	この機能は利用できません。ご了承ください。	不要	無料
国際電話	日本国内から海外へ電話をかけることができるサービスです。	不要	無料
国際ローミング	国際ローミング対応携帯電話で、現在ご利用の携帯電話番号を海外でもそのままご利用できるサービスです。	不要	無料

転送電話

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、かかってきた電話を指定した電話番号に転送します。

転送電話を設定／開始する

転送条件ごとに転送先の電話番号を設定できます。
転送条件は次のメニューから選択します。

項目	説明
常に転送	かかってきた電話を本機に着信させずに転送します。
通話中の着信時に転送※	通話中にかかってきた電話を転送します。
不在着信時に転送※	転送開始時間内に電話に出なかったときに、かかってきた電話を転送します。 • 転送開始までの時間は、設定できません。
着信不能時に転送※	電波の届かない場所にいるときに、かかってきた電話を転送します。

※：お買い上げ時は、転送先の電話番号は留守番電話センターに設定されています。

1 **ホーム画面で☰→「設定」→「通話設定」→「着信転送」**

2 **「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不能時に転送」**

3 **転送先の電話番号を入力→「有効にする」／「更新」**

- を選択すると、連絡先から電話番号を選択できます。

転送電話を停止する

1 **ホーム画面で☰→「設定」→「通話設定」→「着信転送」**

2 **「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不能時に転送」**

3 **「無効にする」**

お知らせ

- 転送電話の開始中でも、着信音が鳴っている間はを右方向にドラッグして通話できます。ただし、「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、通話はできません。

留守番電話

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、相手のメッセージを留守番電話センターでお預かりします。
留守番電話センターでメッセージをお預かりすると、SMSでお知らせします。

留守番電話を設定／開始する

転送条件ごとに留守番電話センターへの転送を設定できます。
転送条件は、「常に転送」「通話中の着信時に転送」「不在着信時に転送」「着信不能時に転送」から選択できます（P.12-3）。

1 ホーム画面で ≡ → 「設定」 → 「通話設定」 → 「着信転送」

2 「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不能時に転送」

3 「080-7001-7000」（留守番電話センターの電話番号）を入力→「有効にする」／「更新」

留守番電話を停止する

1 ホーム画面で ≡ → 「設定」 → 「通話設定」 → 「着信転送」

2 「常に転送」／「通話中の着信時に転送」／「不在着信時に転送」／「着信不能時に転送」

3 「無効にする」

お知らせ

- 留守番電話の開始中でも、着信音が鳴っている間は を右方向にドラッグして通話できます。ただし、「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、通話はできません。
- 1つの転送条件に、転送電話と留守番電話を同時に設定できません。

伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに録音されている伝言メッセージを聞くことができます。

1 **電話番号入力画面で [ボイスメール]**

- [1] をロングタッチ、または [1] [4 GHI] [1] [6 MNO] [発信] を選択しても、留守番電話センターに接続できます。

お知らせ

- 伝言メッセージが録音されると、ステータスバーに [ボイスメール] が表示されます。通知パネルを開いて「新しいボイスメール」を選択しても、メッセージを確認できます。
- お買い上げ時は、本機には留守番電話センターの番号「1416」が登録されています。

@ **留守番電話の機能**

留守番電話には、伝言メッセージをお預かりする他に、次のような機能もあります。
詳細は、イー・モバイルのホームページでご確認ください。

- 留守番電話の各種設定
  応答メッセージや不在メッセージの録音、応答メッセージの切り替えなどを設定します。
  携帯電話から「1417」に電話をかけて設定します。
- ダイレクトメッセージの録音
  相手先を呼び出さずに直接留守番電話に音声メッセージを残すことができます。
  携帯電話から「1418」に電話をかけて設定します。

12

割込通話

割込通話を利用すると、通話中にかかってきた電話を受けることができます。

- 割込通話をご利用するには、別途お申し込みが必要です。
- 割込通話と合わせて転送電話または留守番電話を開始しているときに、通話中にかかってきた電話に応答しなかった場合は、かかってきた電話は設定に応じて転送先または留守番電話センターに接続されます。
- 転送電話または留守番電話の「常に転送」に設定している場合は、着信しないため、割込通話をご利用できません。

割込通話を設定する

1 **ホーム画面で ≡→「設定」→「通話設定」→「その他の設定」**

2 **「通話中着信」にチェックを付ける**

割込通話を停止する

1 **ホーム画面で ≡→「設定」→「通話設定」→「その他の設定」**

2 **「通話中着信」のチェックを外す**

通話中にかかってきた電話を受ける

最初に話していた相手を保留にして、かかってきた相手の着信に応答します。

1 **通話中に割込通話を着信したら、 を右方向にドラッグ**

- 割込通話を着信すると、着信を知らせる「プー、プー」という音が受話口から鳴ります。

■ お知らせ

- 通話中、画面には2人の電話番号または名前と通話時間が表示されます。通話中の相手は中央に、保留中の相手はその後ろ側に表示されます。
- 割込通話の着信を拒否する場合は、 を左方向にドラッグします（P.2-4）。

通話の相手を切り替える

通話の相手を切り替えて、保留中の相手と通話します。

1 **割込通話中に→ をタップ**

■お知らせ

- 割込通話中に をタップするたびに、通話の相手を切り替えることができます。
- 割込通話中に通話中の相手が電話を切った場合、保留中の相手と通話するには、 を押します。

通話を保留にして別の相手に電話をかける

1 **通話中に をタップ**

2 **電話番号を入力**

- 「通話履歴」タブ／「連絡先」タブを選択し、通話履歴や連絡先から電話番号を選択することもできます。

3

通話中の相手は自動的に保留になり、新しくかけた相手に電話がかかります。

12

発信者番号通知

発信の際に、自分の電話番号を通知するか、非通知にするかを設定します。

1 ホーム画面で ☰ →「設定」→「通話設定」→「その他の設定」→「発信者番号」

2 項目を選択

項目	説明
ネットワーク既定	電話番号の通知／非通知は、使用しているネットワークにより決定されます。
番号を非通知	自分の電話番号を非通知にします。
番号を通知	相手に自分の電話番号を通知します。

■お知らせ

- 発信者番号を非通知に設定した場合、電話をかけた相手には「非通知」など通知しない理由が表示されます。
- 非通知設定で電話をかけたときに、相手より番号通知を要請された場合は、発信者番号を通知に設定にするか、相手の電話番号の前に「186」を付けて電話をかけ直します。
- 電話番号の前に「184」を付けても、自分の電話番号を非通知にして電話をかけることができます。

電話番号リクエスト

電話をかけてきた相手が電話番号を通知している場合のみ着信するように設定します。

- 公衆電話や海外からの電話など発信者側の意思にかかわらず電話番号の通知ができない場合は、正常に動作しない場合があります。

電話番号リクエストを開始する

1 電話番号入力画面で # 2 5 4 #

2 📞

設定完了のメッセージが表示されますので、「OK」を選択します。

電話番号リクエストを停止する

1 電話番号入力画面で # 2 5 4 #

2 📞

設定完了のメッセージが表示されますので、「OK」を選択します。

発信番号制限

この機能は利用できません。ご了承ください。

国際電話

本機で日本国内から海外へ電話をかけたり、海外からかかってきた電話を受けたりすることができます。

- 日本国内からイー・モバイル国際電話をかける方法については、「日本国内から国際電話をかける」（P.2-3）をご参照ください。
- イー・モバイル国際電話を利用できる国や地域など、サービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

@ **日本以外の国の一般電話や携帯電話から日本国内のイー・モバイル携帯電話へ電話をかけるには**

「発信国の国際電話アクセス番号」－「日本の国番号（81）」－「携帯電話番号（先頭の「0」を除く）」の順に入力し、 を選択します。

国際ローミング

国際ローミングの概要

国際ローミングは、提携する海外の通信事業者のネットワークを利用して、現在ご使用の携帯電話番号やメールアドレスを海外でもそのまま利用できるサービスです。

日本国内にいるときと同様に、電話、メール、SMS、インターネット、データ通信、留守番電話などが利用できます。

国際ローミングを利用できる国や地域など、サービスの詳細については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

- 滞在先で接続する通信事業者やネットワークによっては、利用できないサービスがあります。

■お知らせ

- 別途、お申し込みの必要はありません。
- 本機はGSM、および3Gの1.7GHz（Band 9）、2.1GHz（Band 1）に対応しているサービスエリアでご利用できます。

ネットワークを設定する

国際ローミングをご利用する国や地域の通信事業者に対応したネットワークを設定します。

通信事業者を自動で設定する

最適な通信事業者を自動的に設定します。

1 **ホーム画面で ≡→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」**

2 **「通信事業者」→「自動選択」**

通信事業者を手動で設定する

接続する通信事業者を手動で設定します。

1 **ホーム画面で ≡→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」**

2 **「通信事業者」**

検索された通信事業社名の一覧が表示されます。

- 「ネットワークを検索」を選択して、再検索することもできます。

3 **接続する通信事業社名を選択**

■お知らせ

- ホーム画面で ≡→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「2Gネットワークのみ使用」にチェックを付けると、GSMネットワークのみに接続するように設定できます。GSMネットワークで本機が使用できる場合のみ有効です。

データローミングを設定する

ローミング時にデータ通信を許可するかどうかを設定します。

1 **ホーム画面で ≡→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」**

2 **「データローミング」にチェックを付ける→注意内容を確認→「OK」**

■ データローミングを許可しない場合

1 「データローミング」のチェックを外す

■お知らせ

- データローミングを許可すると、ローミング料金が発生する場合があります。

12

滞在先で電話をかける／受ける

国際ローミングを利用して、海外から電話をかけたり、海外で電話を受けたりできます。
海外でのご利用料金については、イー・モバイルのホームページにてご確認ください。

滞在国内の一般電話や携帯電話に電話をかける

日本国内にいるときと同様の操作で一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 **電話番号入力画面で相手先電話番号を入力**

2

電話がかかります。相手が電話に出ると、通話できます。

3 **通話が終わったら**

日本を含む滞在国外の一般電話や携帯電話に電話をかける

滞在国から日本または他の国の一般電話や携帯電話に電話をかけます。

- 相手先電話番号が「0」から始まる場合は、先頭の「0」を除いて入力します（一部の国・地域を除く）。

1 **電話番号入力画面で「＋」（0 + をロングタッチ）－「相手先の国番号」－「相手先電話番号」の順に入力**

2

電話がかかります。相手が電話に出ると、通話できます。

3 **通話が終わったら**

12

滞在先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます（P.2-4）。

@ **滞在先に電話をかけてもらう**

日本からイー・モバイル携帯電話に電話をかけてもらう場合

日本国内にいるときと同様にお客さまの電話番号のみを入力し、電話をかけてもらいます。

日本以外の国からイー・モバイル携帯電話に電話をかけてもらう場合

滞在先にかかわらず日本への国際電話として電話をかけてもらいます。

「発信国の国際電話アクセス番号」－「日本の国番号（81）」－「お客さまの携帯電話番号（先頭の「0」を除く）」を入力し、電話をかけてもらいます。

12

付録 13

初期値一覧

設定メニュー

ホーム画面で ☰→「設定」を選択して表示される項目の初期値は、次のとおりです。

項目			初期値
無線とネットワーク	機内モード		OFF
	赤外線		OFF
	Wi-Fi		OFF
	Wi-Fi設定	Wi-Fi	OFF
		ネットワークの通知	ON
		Wi-Fiネットワークを追加	－
	Bluetooth		OFF
	Bluetooth設定	Bluetooth	OFF
		端末名	S42HW
		検出可能	OFF
		デバイスのスキャン	－
	テザリングとPocket WiFi	USBテザリング	OFF
		Pocket WiFi	OFF
		Pocket WiFi設定	Pocket WiFi：OFF PocketWiFiのセキュリティ設定：－
		ヘルプ	－
	VPN設定	VPNの追加	－
	モバイルネットワーク	データ通信を有効にする	ON
		データローミング	OFF
		アクセスポイント名	プロトコル制限なし（N）
		2Gネットワークのみ使用	OFF
		通信事業者	－
通話設定	発信番号制限		この機能は利用できません。ご了承ください。
	ボイスメールサービス		携帯通信会社
	ボイスメールの設定	ボイスメールの番号	1416

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td rowspan="9">通話設定</td><td rowspan="4">着信転送</td><td>常に転送</td><td>－</td></tr>
<tr><td>通話中の着信時に転送</td><td>－</td></tr>
<tr><td>不在着信時に転送</td><td>－</td></tr>
<tr><td>着信不能時に転送</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他の設定</td><td>発信者番号</td><td>ネットワーク既定</td></tr>
<tr><td>通話中着信</td><td>－</td></tr>
<tr><td>アカウント</td><td>着信を許可</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターネット通話を使用</td><td>インターネット通話のみ</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="6">音</td><td colspan="2">マナーモード</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td colspan="2">バイブ</td><td>マナーモードでのみ</td></tr>
<tr><td colspan="2">音量</td><td>着信音：5（0～7）※、メディア：11（0～15）※、アラーム：6（0～7）※、通知音にも着信音量を適用：ON</td></tr>
<tr><td colspan="2">着信音</td><td>Digital Phone</td></tr>
<tr><td colspan="2">通知音</td><td>On The Hunt</td></tr>
<tr><td colspan="2">タッチ操作音</td><td>ON</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td rowspan="3">音</td><td colspan="2">選択時の操作音</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td colspan="2">画面ロックの音</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力時バイブレーション</td><td>ON</td></tr>
<tr><td rowspan="4">表示</td><td colspan="2">画面の明るさ</td><td>5（0～21）※</td></tr>
<tr><td colspan="2">画面の自動回転</td><td>ON</td></tr>
<tr><td colspan="2">アニメーション表示</td><td>すべてのアニメーション</td></tr>
<tr><td colspan="2">バックライト消灯</td><td>1分</td></tr>
<tr><td rowspan="12">現在地情報とセキュリティ</td><td colspan="2">無線ネットワークを使用</td><td>ON</td></tr>
<tr><td colspan="2">GPS機能を使用</td><td>ON</td></tr>
<tr><td colspan="2">GPSアシスト</td><td>ON</td></tr>
<tr><td colspan="2">画面ロックの設定／画面ロックの変更</td><td>なし</td></tr>
<tr><td rowspan="2">SIMカードロック設定</td><td>SIMカードをロック</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>SIM PINの変更</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスワードを表示</td><td>ON</td></tr>
<tr><td colspan="2">デバイス管理者を選択</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">安全な認証情報の使用</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td colspan="2">SDカードからインストール</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスワードの設定</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ストレージの消去</td><td>－</td></tr>
</table>

項目			初期値
アプリケーション	提供元不明のアプリ		OFF
	アプリケーションの管理		ー
	実行中のサービス		ー
	ストレージ使用状況		ー
	電池使用量		ー
	開発	USBデバッグ	OFF
		スリープモードにしない	OFF
		擬似ロケーションを許可	OFF
	メールキーの設定		ー
	ブラウザキーの設定		ー
アカウントと同期	バックグラウンドデータ		ON
	自動同期		ON
プライバシー	データのバックアップ		ON
	自動復元		ON
	データの初期化		ー
ストレージ	合計容量		ー
	空き容量		ー
	SDカードのマウント解除／SDカードをマウント		ー
	SDカード内データを消去		ー
	空き容量		ー

項目			初期値
言語とキーボード	言語を選択		日本語
	ユーザー辞書		ー
	Androidキーボード	キー操作バイブ	OFF
		キー操作音	OFF
		キー押下時ポップアップ	ON
		タップして語句を修正	ON
		自動大文字変換	ON
		設定キーを表示	自動
		音声入力	メインキーボード上
		入力言語	ー
		入力候補を表示	ON
		オートコンプリート	ON
	FSKAREN	キーボード設定	テーマ：Default
			キーボードタイプ：ハードキー
			変換候補の行数：2
			キーボードタイプ：縦画面と同じ
			10キー入力方式：フリック入力

項目			初期値
言語とキーボード	FSKAREN	キーボード設定	フリック入力設定： トグル入力：ON フリック感度：20
			トグル入力設定： オートカーソル：ON オートカーソル時間：1000ms
			画面タイプ：シングル
			自動確定：OFF
			自動確定時間 :1000ms
		キー操作設定	バイブレーション：OFF
			効果音：OFF
			キーポップアップ：ON
			Enterキーで改行：ON
			Spaceキーで候補選択：OFF
		変換設定	近似予測：－
			英語予測：ON
			連携予測：ON
			顔文字連携：ON
			英語連携：ON
			1文字学習：OFF
		辞書設定	ユーザー辞書：－
			ユーザー変換辞書：－
			定型文：－

項目			初期値
言語とキーボード	FSKAREN	リセット	学習リセット :－
			設定リセット :－
音声入出力	音声認識装置の設定	言語	既定－日本語（日本）
		セーフサーチ	中
		不適切な語句をブロック	ON
	テキスト読み上げの設定	サンプルを再生	－
		常に自分の設定を使用	OFF
		既定のエンジン	Pico TTS
		音声データをインストール	－
		音声の速度	標準
		言語	英語（アメリカ合衆国）
		Pico TTS	－
ユーザー補助	ユーザー補助		OFF
	電源ボタンで通話を終了する		OFF

項目		初期値
日付と時刻	自動	ON
	日付設定	－
	タイムゾーンの選択	GMT+09:00, 日本標準時
	時刻設定	－
	24時間表示	ON
	日付形式	標準
端末情報	端末の状態	－
	電池使用量	－
	法的情報	－
	モデル番号	S42HW
	Androidバージョン	2.3.4
	ベースバンドバージョン	1.00
	カーネルバージョン	2.6.35.7
	ビルド番号	GINGERBREAD
	認証情報	－

※：スライダーを選択した状態で ▣ を1回押すことを1とした場合の数値です。

アラームの設定

アラーム設定画面で ☰ →「設定」を選択して表示される項目の初期値は、次のとおりです。

項目	初期値
マナーモード中のアラーム	ON
アラームの音量	6（0～7）※
スヌーズ間隔	10分
音量とカメラ	解除

※：スライダーを選択した状態で ▣ を1回押すことを1とした場合の数値です。

EMnetメールの設定

メールボックス画面で ☰→「設定」を選択して表示される項目の初期値は、次のとおりです。

項目	初期値
ソフトウェアのバージョン	1.2
スレッド表示	OFF
メッセージ作成を表示	ON
送信・保存・破棄を表示	ON
送信確認	ON
文字サイズ	標準
メール振り分け	－
ごみ箱自動削除	30日後

項目	初期値
原文の引用	常に確認する
受取確認通知	OFF
SIMカードのメッセージ	－
原文の引用	常に確認する
自動で取得	ON
ローミング時に自動取得	OFF
Wi-Fiテザリング時に取得	OFF
通知	ON
着信音を選択	プリセット着信音
バイブレーション	マナーモード時のみ
バイブレーションパターン	短い
SDカードに保存	OFF
メッセージをインポート	－
メッセージをエクスポート	－
送受信履歴を削除	－
WEB設定	－

ブラウザの設定

ブラウザ画面で☰→「その他」→「設定」を選択して表示される項目の初期値は、次のとおりです。

項目	初期値
テキストサイズ	中
デフォルトの倍率	中
ページを全体表示で開く	OFF
テキストエンコード	日本語（SHIFT_JIS）
ポップアップウィンドウをブロック	ON
画像の読み込み	ON
ページの自動調整	ON
常に横向きに表示	OFF
JavaScriptを有効にする	ON
プラグインを有効にする	常にON
バックグラウンドで開く	OFF

項目	初期値
ホームページ設定	http://open.emnet.ne.jp/
キャッシュを消去	−
履歴消去	−
Cookieを受け入れる	ON
Cookieをすべて消去	−
フォームデータを保存	ON
フォームデータを消去	−
位置情報を有効にする	ON
位置情報アクセスをクリア	−
パスワードを保存	ON
パスワードを消去	−
セキュリティ警告	ON
ウェブサイト設定	−
初期設定にリセット	−

カレンダーの設定

カレンダー画面で ☰→「その他」→「設定」を選択して表示される項目の初期値は、次のとおりです。

項目	初期値
辞退した予定を非表示	OFF
自宅タイムゾーン	OFF
自宅タイムゾーン	(GMT+9:00)東京、大阪
通知方法	ステータスバー
着信音を選択	プリセット着信音
バイブレーション	使用しない
デフォルトの通知時間	10分

故障かな？と思ったら

現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	• 電池パックは正しく取り付けられていますか？（P.1-11） • 電池切れになっていませんか？（P.1-10） • を押しましたか？
電池パックを充電できない	• 付属のACアダプタをご使用の場合、USBケーブルが本機とACアダプタにしっかりと接続されていることを確認してください（P.1-12）。 • ACアダプタのプラグがしっかりと家庭用コンセントに差し込まれていることを確認してください（P.1-12）。 • 電池パックは正しく取り付けられていますか？（P.1-11） • 本機、電池パックおよびACアダプタの端子が清潔であることを確認してください。 • 電池パックは0～45℃の範囲を超えると充電できない可能性があります。 • 電池パックが劣化している可能性がありますので、新しい電池パックをお買い求めください。
電源を入れた後、通常の操作ができない	• 画面ロックがかかっていませんか？ を右方向にドラッグして、ロックを解除してください。画面が消灯している場合は、または を押して画面を点灯させてからロックを解除してください。 • パターン入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除方法が「パターン」に設定されています。パターンを入力してロックを解除してください（P.1-43）。 • 暗証番号入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除方法が「暗証番号」に設定されています。暗証番号を入力してロックを解除してください（P.1-43）。 • パスワード（英数字／記号）入力画面が表示されていませんか？ 画面ロックの解除方法が「パスワード」に設定されています。パスワード（英数字／記号）を入力してロックを解除してください（P.1-43）。 • ステータスバーに が表示されていませんか？ 電源を切り、EM chipが正しく取り付けられていることを確認してください（P.1-7）。

現象	確認すること／対処方法
電話がつながらない、またはメールやインターネットが利用できない	• ステータスバーに が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 • 電源を切り、EM chipが正しく取り付けられていることを確認してください（P.1-7）。 • ネットワークに正しく接続されていることを確認してください（P.7-2）。 • 機内モードが設定されていませんか？ 機内モード設定中に を長押し→「機内モード」を選択して、設定を解除してください。
電話がかけられない	• 市外局番を含んだ電話番号全桁を入力してかけていますか？
電話が着信しない	• 転送電話サービス（P.12-3）や留守番電話サービス（P.12-4）を「常に転送」に設定していませんか？
メールが受信できない	• ステータスバーに が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。 • 電源を切り、EM chipが正しく取り付けられていることを確認してください（P.1-7）。 • ネットワークに正しく接続されていることを確認してください（P.7-2）。
通話の途中に途切れたり、切れたりする	• ステータスバーに が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。
キーやディスプレイに触れても、何も反応しない	• 画面ロックがかかっていませんか？ を右方向にドラッグして、ロックを解除してください。画面が消灯している場合は、 または を押して画面を点灯させてからロックを解除してください。
電話を着信したとき、名前が表示されない	• 電話番号は連絡先に登録されていますか？ 連絡先を確認してください（P.3-3）。

現象	確認すること／対処方法
電話を着信したときに、画像および名前などの登録されている内容が表示されない	• 電源を入れた直後に発生することがあります。電源を入れてしばらく時間が経過すると、正しく表示されます。
USBテザリングができない	• 本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定していませんか？ USBストレージの設定を解除してください（P.9-14）。
カメラが使用できない、またはBluetoothでデータを受信できない	• microSDカードを本機に取り付けていますか？ 電源を切り、microSDカードが正しく取り付けられていることを確認してください（P.1-9）。本機で撮影した静止画または動画、受信したデータはすべてmicroSDカードに保存されます。 • ステータスバーに が表示されていませんか？ microSDカードのマウントが解除されています。マウント状態にしてください（P.9-14）。 • microSDカードのメモリがいっぱいではありませんか？ microSDカードのメモリの空き容量を確認して、いっぱいであれば不要なデータを削除するか、microSDカードを取り替えてください。 • 本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定していませんか？ USBストレージの設定を解除してください（P.9-14）。
静止画、動画、音楽ファイルなどが表示されない	• microSDカードを本機に取り付けていますか？ 電源を切り、microSDカードが正しく取り付けられていることを確認してください（P.1-9）。 • microSDカードに音楽ファイルが保存されていますか？ あらかじめコンピュータからmicroSDカードに音楽ファイルをコピーしてください（P.9-9）。 • ステータスバーに が表示されていませんか？ microSDカードのマウントが解除されています。マウント状態にしてください（P.9-14）。 • 本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定していませんか？ USBストレージの設定を解除してください（P.9-14）。
音楽ファイルを再生中にキーを押しても応答しない	• 画面ロックがかかっていませんか？ を右方向にドラッグして、ロックを解除してください。画面が消灯している場合は、 または を押して画面を点灯させてからロックを解除してください。

13

現象	確認すること／対処方法
本機のmicroSDカードをUSBストレージとして設定できない	• ステータスバーにが表示されていませんか？ USBテザリング設定中です。USBテザリングの設定を解除してください（P.7-9）。
本機／アクセサリーが温かい	• 充電中は本機およびACアダプタが温かくなる可能性がありますが、手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
本機の待受時間および通話／通信時間が短い	• 気温、充電条件、電波の強さ、設定などにより異なります。

■お知らせ

• 問題が解決できない場合は、お問い合わせ先（P.13-20）までご連絡ください。

主な仕様

■ S42HW

項目	仕様
サイズ（W×H×D）	約51mm×約133mm×約10.5mm
重量	約115g（電池パックを含む）
連続待受時間	3Gモード：約400時間
連続動作時間	Pocket WiFiモード：約7時間
連続通話時間	3Gモード：約320分
連続通信時間	Pocket WiFiモード：約210分
充電時間	ACアダプタ充電：約130分 USB充電：約220分

※ 電池パック装着時の数値です。

■お知らせ

- 連続動作時間、連続通話時間、連続通信時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に送受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- 連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（ローミングサービス利用中、充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社の計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
- 画面の照明が点灯している状態でのご利用（インターネットご利用時など）が多い場合は、連続待受時間、連続動作時間、連続通話時間、連続通信時間は短くなります。
- 液晶ディスプレイは、ドット落ち（画素欠け）や常時点灯する画素がある場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■ 電池パック

項目	仕様
電圧	3.7V
電池パック	リチウムイオン
容量	1100mAh
サイズ（W×H×D）	約44.2mm×約37.4mm×約6.4mm

■ ACアダプタ

項目	仕様
電源	AC100V～240V
入力電流	最大0.15A
出力電圧／電流	5.0V／1.0A
サイズ（W×H×D）	約51mm×約17mm×約56mm

GPL書面によるオファー

本機はGNU Lesser General Public Licenseが適用されたフリーソフトウェア（Linux kernel、dnsmasq、BlueZ、Webkit、iptables）を使用しています
http://www.gnu.org/licenses/lgpl.html

■ 著作権情報

Linux kernel: Copyright.The Kernel.Org Organization,Inc.
version:2.6.35.7
(http://www.kernel.org)

dnsmasq: Copyright © 2000-2009 Simon Kelley
version: 2.51

BlueZ: Copyright © 2004-2009 Marcel Holtmann
<marcel@holtmann.org>
version:4.69

Webkit:
GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE:
Copyright © 2005 Apple Computer, Inc.
BSD License:
Copyright © 2009 Apple Inc. All rights reserved.

iptables: Copyright 2000-2004 netfilter project
(http://www.netfilter.org).

■ 書面によるオファー

本機に含まれるGPLソースコード入りCDの送付をご希望の場合、20ユーロ（CD、送料含む）でご提供いたします。Mobile@huawei.comまでお問い合わせください。

索　引

英数字

あ

か

さ

た

13

保証とアフターサービス

保証について

お買い上げいただくと、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「販売店」の記載がされているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。「お買い上げ日」や「販売店」の記載がない場合や、改ざんのある場合には保証対象外となりますのでご注意ください。
保証内容については、保証書に記載されています。

お知らせ

- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客さままたは第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理について

本書の「故障かな？と思ったら」（P.13-9）をお読みになり、もう一度お調べください。それでも正常に戻らない場合には、お問い合わせ先（P.13-20）までご連絡ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の記載内容に基づいて修理致します。
- 保証期間経過後の修理
  修理によって使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。

お知らせ

- 本機は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、連絡先など大切なデータは控えを取っておかれることをお勧めします。
- 故障または修理の際に、本機に登録した情報内容または設定した内容が消失・変化した場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解・改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な場合は、お問い合わせ先（P.13-20）までご連絡ください。

修理用部品について

本機および周辺機器の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。電話番号はお間違いのないようおかけください。

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から：157（無料）
一般電話から：0120-736-157（無料）
※他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。
海外から：＋81-3-6831-3333（有料）
受付時間9：00～21：00（日本時間／年中無休）
※間違い電話が多くなっております。
　番号をよくお確かめの上、おかけください。
※一部の光電話、IP電話等からは
　ご利用いただけない場合があります。
ホームページ　http://emobile.jp/